

# 2012年（第62回）学生生活実態調査の結果報告書

東京大学学生委員会  
学生生活調査室



## 目 次

調査の概要……………	1	第2部 学生生活の背景	
報告について……………	1	1 家庭の状況……………	28
第1部 学生生活の評価と将来の選択		2 生活費の状況……………	32
1 入学・進学・学業……………	4	3 通学・住居……………	36
2 就職……………	18	4 生活時間……………	38
3 不安・悩み……………	21	5 奨学金……………	41
4 大学への要望……………	24	6 アルバイト……………	45
5 秋季入学……………	26	総合分析の試み……………	49
		資料1（調査票及び単純集計結果）……………	53
		資料2（クロス集計表）……………	71

## 調査の概要

### 1. 調査票の作成

2012年（平成24年）5月から10月にかけて、学生委員会学生生活調査室で調査内容の企画立案を行った。

### 2. 調査の期間

2012年（平成24年）11月下旬～12月下旬。

### 3. 調査の対象及び抽出率

学部男子・女子学生。学部・科類別無作為抽出法で、在籍者数の1/4を抽出。

### 4. 調査の方法

郵送調査で行い、対象者自身が記入する（自記式）方法。

### 5. 調査の内容

I. 基本的事項、II. 入学・進学・学業、III. 就職、IV. 不安・悩み、V. 大学への要望、VI. 家庭の状況、VII. 生活費の状況、VIII. 通学・住居、IX. 奨学金、X. アルバイト、XI. 具体的記述

## 報告について

- 今回は、2010年（第60回）と同様に、学部男子・女子学生を対象として学生生活実態調査を行った。集計結果の分析に当たっては、学部学科間・年度間・男女間などの相違に注目し、特異な数値傾向の把握に努めた。
- 学内広報掲載の報告については、調査票、単純集計表、及びクロス集計表を省略した。省略した表等については、ホームページ掲載の報告を参照されたい。
- 2009年度までは、2分の1程度の具体的記述を原文のまま報告書に記載していたが、読む人によって個人が特定できる可能性があること、さらに、報告書掲載の基準が恣意的になりやすいこともあり、2009年調査より具体的記述は報告書に掲載しないこととした。ただ、このことは具体的記述を無視するとか軽視することを意味しているわけではなく、それぞれの具体的記述は学生生活調査室で検討するとともに、担当理事によっても検討され、大学の施策の改善に役立てられている。
- 複数回答の百分率（パーセント）は、非該当及び無回答を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。また、本文中の「ポイント」とは、総数の百分率（パーセンテージ・ポイント）を表す。
- 今回の単純集計表及びクロス集計表は、大学総合教育研究センターの作成による。

## グラフと表について

1. 今回、本文に掲載した経年変化のグラフと表については、1986年調査までさかのぼって取り上げた項目がいくつかあり、「表1」に1986年以降の調査の実施状況を表示した。
2. 文中に掲げたグラフと表については、それぞれの年の比較を見やすくするため「無回答」及び「非該当」を除いた比率で作成している。ただし、時系列の場合には、2007年までは無回答を含んでいる。また、個々の数値を四捨五入しているため、合計が100%に満たないものと100%を超えるものがある。
3. 複数回答の設問については、断りのない場合を除いて、非該当を除く総回答数に対するもので、合計が100パーセントとなる。
4. 平均値の算出は、無回答のものを除く該当者平均を求めた。
5. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。  
「全体」……………回答者全員の比率を示す。  
「文科系」「理科系」……………在籍する学部により二つの系に区分したものを示す。

表1 学生生活実態調査実施状況一覧表

回数	調査年月	対象学生	抽出率	対象者数 人	回収率 %	調査方法
第36回	1986年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,385	72.6	郵送自記式
第37回	1987年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,432	73.9	〃
第38回	1988年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,459	70.9	〃
第39回	1989年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,480	78.5	〃
第40回	1990年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,504	63.1	〃
第41回	1991年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,530	62.2	〃
第43回	1993年11月	学部男子・女子	男・女 1/10	1,593	64.8	〃
第44回	1994年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,005	60.6	〃
第45回	1995年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,011	64.0	〃
第46回	1996年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	2,004	60.9	〃
第47回	1997年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,990	60.2	〃
第48回	1998年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,964	60.3	〃
第50回	2000年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,917	54.4	〃
第51回	2001年11月	学部男子・女子	男・女 1/8	1,900	49.6	〃
第52回	2002年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,749	37.2	〃
第53回	2003年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,700	40.6	〃
第55回	2005年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,534	38.7	〃
第56回	2006年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,455	32.8	〃
第57回	2007年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,406	43.0	〃
第58回	2008年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,506	45.2	〃
第60回	2010年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,419	42.6	〃
第62回	2012年11月	学部男子・女子	男・女 1/4	3,346	45.3	〃

(注)「休学者」「外国人留学生」は、対象学生から除かれている。1992年調査は「外国人留学生」を含む。

表2 2012年(第62回) 学生生活実態調査回収状況一覽

学 部	男 子			女 子			全 体		
	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率
男女別	人	人	%	人	人	%	人	人	%
教養学部(前期)	1,320	575	43.6	274	159	58.0	1,594	734	46.0
文科 小計	500	219	43.8	159	93	58.5	659	312	47.3
文科一類	179	78	43.6	46	25	54.3	225	103	45.8
文科二類	159	71	44.7	25	13	52.0	184	84	45.7
文科三類	162	70	43.2	88	55	62.5	250	125	50.0
理科 小計	820	356	43.4	115	66	57.4	935	422	45.1
理科一類	557	243	43.6	38	21	55.3	595	264	44.4
理科二類	220	97	44.1	70	42	60.0	290	139	47.9
理科三類	43	16	37.2	7	3	42.9	50	19	38.0
法 学 部	196	87	44.4	48	22	45.8	244	109	44.7
経 済 学 部	150	66	44.0	30	15	50.0	180	81	45.0
文 学 部	153	64	41.8	50	24	48.0	203	88	43.3
教 育 学 部	36	16	44.4	19	10	52.6	55	26	47.3
理 学 部	131	65	49.6	16	8	50.0	147	73	49.7
工 学 部	460	191	41.5	46	28	60.9	506	219	43.3
農 学 部	113	36	31.9	45	26	57.8	158	62	39.2
薬 学 部	34	20	58.8	11	5	45.5	45	25	55.6
医 学 部	92	37	40.2	25	14	56.0	117	51	43.6
教養学部(後期)	66	30	45.5	31	17	54.8	97	47	48.5
合 計	2,751	1,187	43.1	595	328	55.1	3,346	1,515	45.3
2010年(第60回) 調 査	2,791	1,133	40.6	628	322	51.3	3,419	1,455	42.6

## 第 1 部 学生生活の評価と将来の選択

### 1-1. 入学・進学・学業

#### 1-1-1. 入学について

入学の希望は「浪人しても東大に入りたかった」60.0%  
 入学の動機は「社会的評価が高いから」51.9%  
 入学時に進学希望学部あるいは学科を決めていたのは53.7%

「東大を受験する際に東大に入学することをどの程度希望していましたか」への回答結果は、「浪人しても東大に入りたいと思っていた」が60.0%、「東大がダメなら他大学でもよいと思っていた」が39.2%、「他大学がダメなら東大でもよいと思っていた」が0.8%であった。時系列での変化をみると、前々回までの選択肢は「どうしても入りたかった」で、若干異なることに留意する必要があるが、東大への強い入学希望をもっている学生の割合は2005年（第55回）を境に大きく上昇し（2003年48.6%→2005年59.0%）、その後も常に6割近くを維持している。今回の調査では、さらにその傾向が強まったが、大きく見れば前回とほぼ同じような傾向であると言える（図1）。

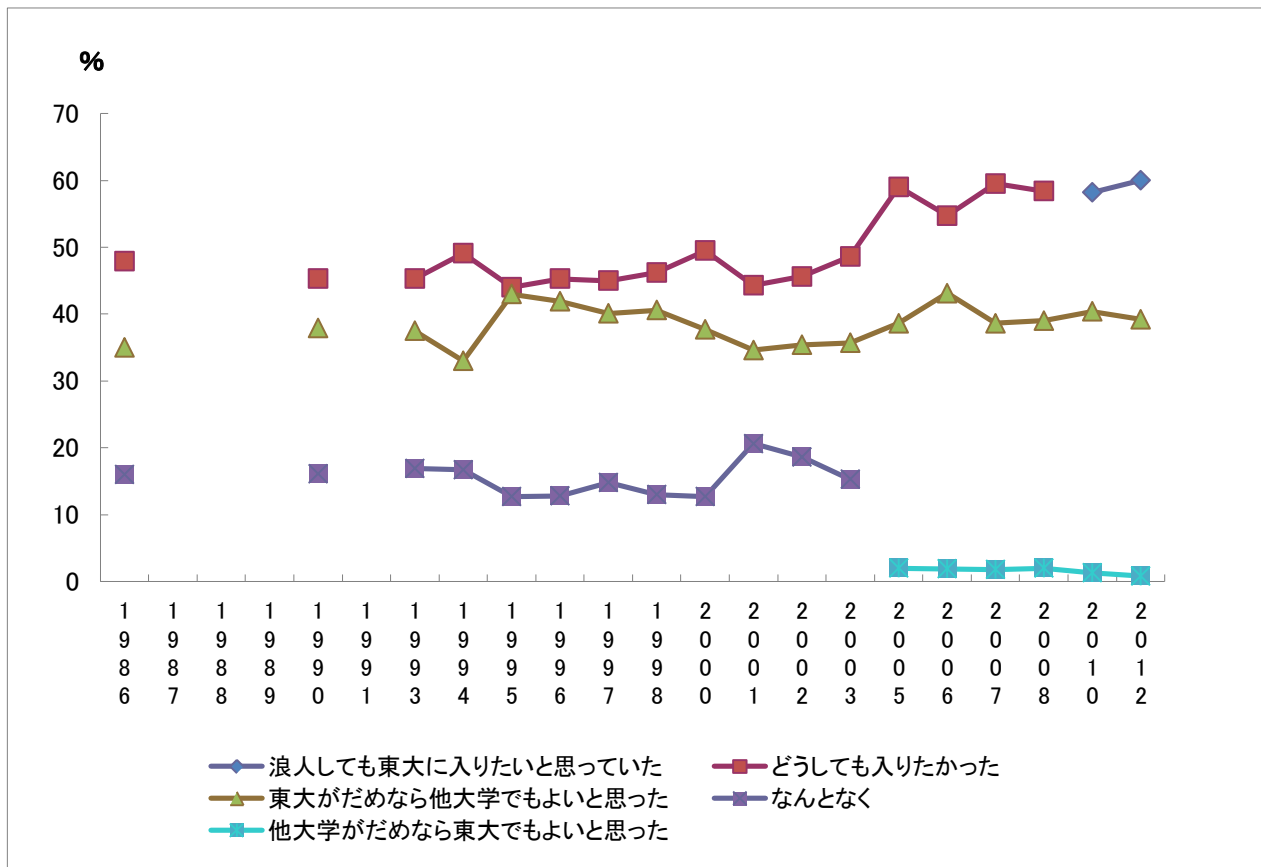


図 1 東大に入学することをどの程度希望していましたか

「東大入学の動機は、どれにあたりますか」(3つまで選択)への回答では、「社会的評価が高いから」が51.9%、「入学後に学部の選択が可能だから」が41.6%、「私大に比べて授業料が安いから」が38.4%で上位3つを占めており、前回と同順であり、傾向はほとんど変わっていない(図2)。

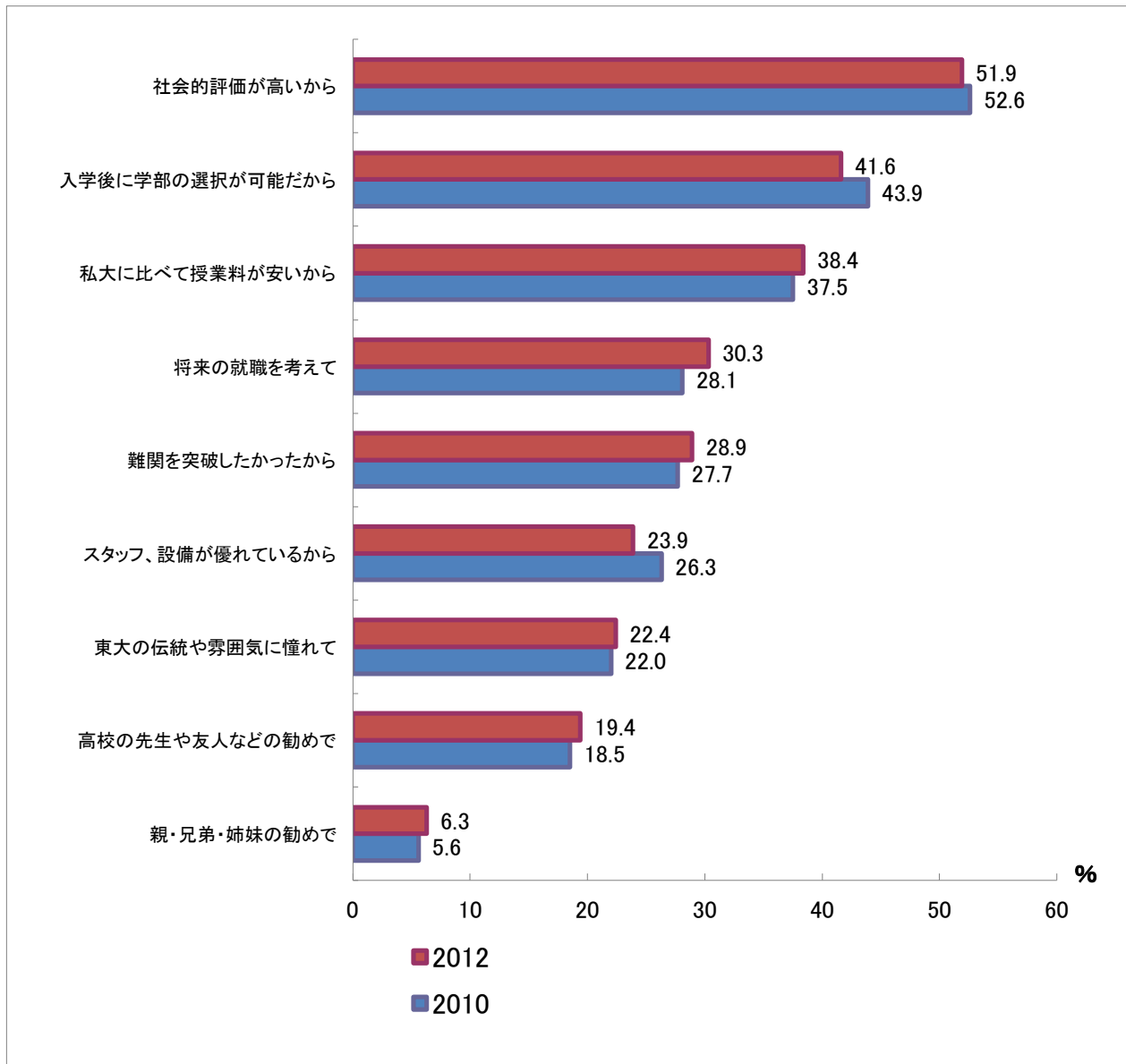


図 2 東大入学の動機は、どれにあたりますか(複数回答、回答者数を分母)

「入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか」への回答では、「学部のみ決めていた」が33.1%、「学科等まで決めていた」が20.6%、「学部、学科は決めていなかった」が46.3%であった。時系列での変化をみると、学部あるいは学科等を決めている学生が減り、決めていない学生が増えている傾向がみられる。2001年以降、学部あるいは学科を決めずに入学する学生は3分の1を超え、年々微増している。東大の大きな特徴である進学振分けやlate specializationに学生の志向も適合してきているとみられる（図3）。

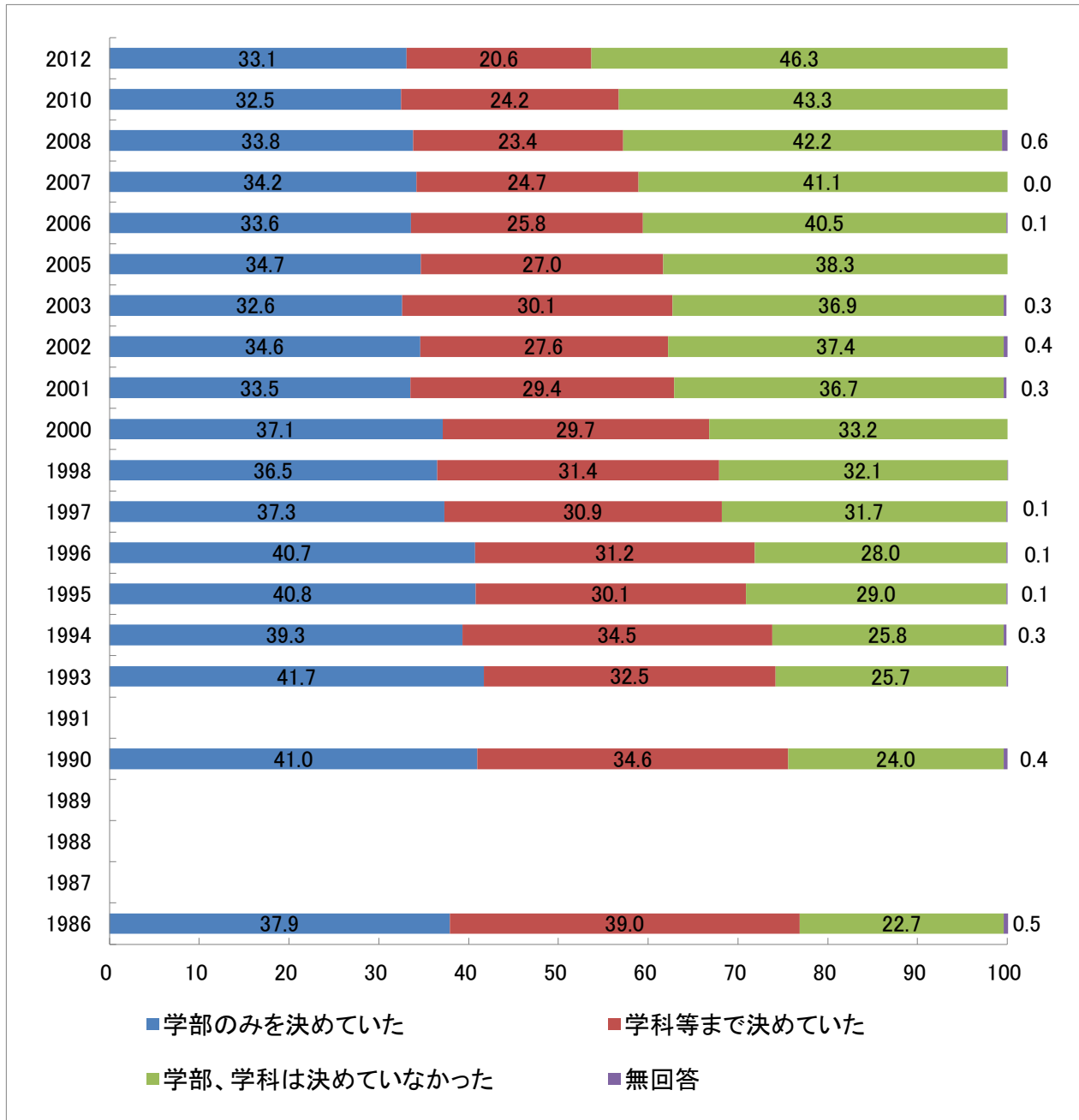


図 3 入学時に進学する学部・学科等を決めていましたか



## 1-1-2. 進学について

「希望通り・ほぼ希望通り」進学決定（内定）したのは95.0%  
 在籍学部・学科等に「満足・まあ満足」している学生は77.9%  
 進学振分け制度「現行のままでよい」は34.8%と減少傾向

進学内定者及び後期課程学生のみが回答する「進学の決定（内定）は希望通りでしたか」の回答では、「希望通り決定（内定）した」が83.2%、「ほぼ希望通り決定（内定）した」が11.8%、「希望通りでなかった」が5.0%で、ほとんどの人が希望通りに進学が決まっている。時系列でも、近年大きな変動はみられていない（図4）。

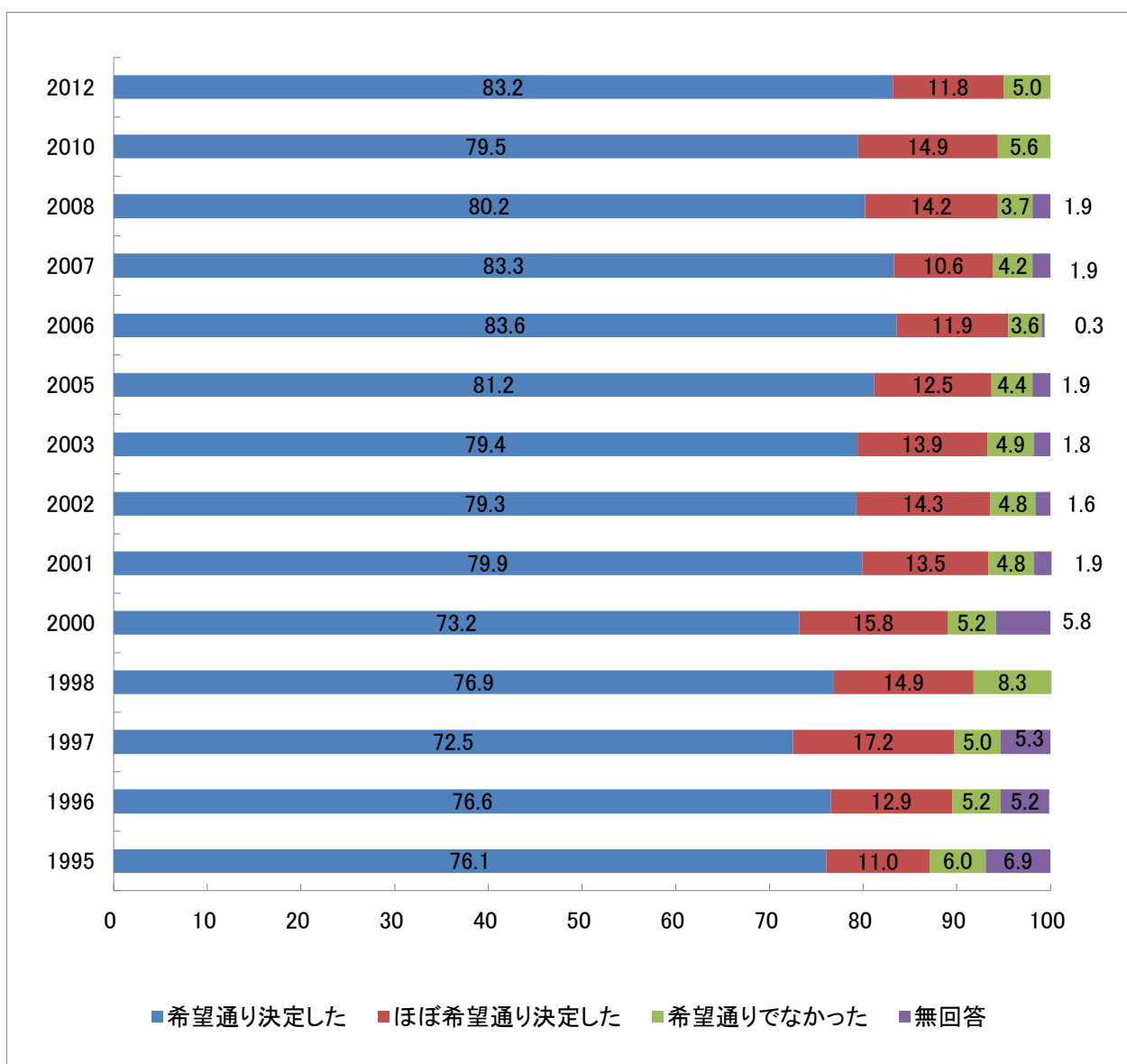


図 4 進学の決定（内定）は希望通りでしたか（進学内定者、後期課程学生のみ）

「現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか」では、「満足している」が35.0%、「まあ満足している」が42.9%、「どちらとも言えない」が12.2%、「やや不満である」が6.2%、「不満である」3.7%であった。時系列でみると、前回（2010年）以降、「満足している」が0.9ポイント、「まあ満足している」が0.3ポイント増加しており、満足度は1.2ポイント増加しているが、全体の傾向としては、7割以上の者が満足しており大きな変化は見られない（図5）。

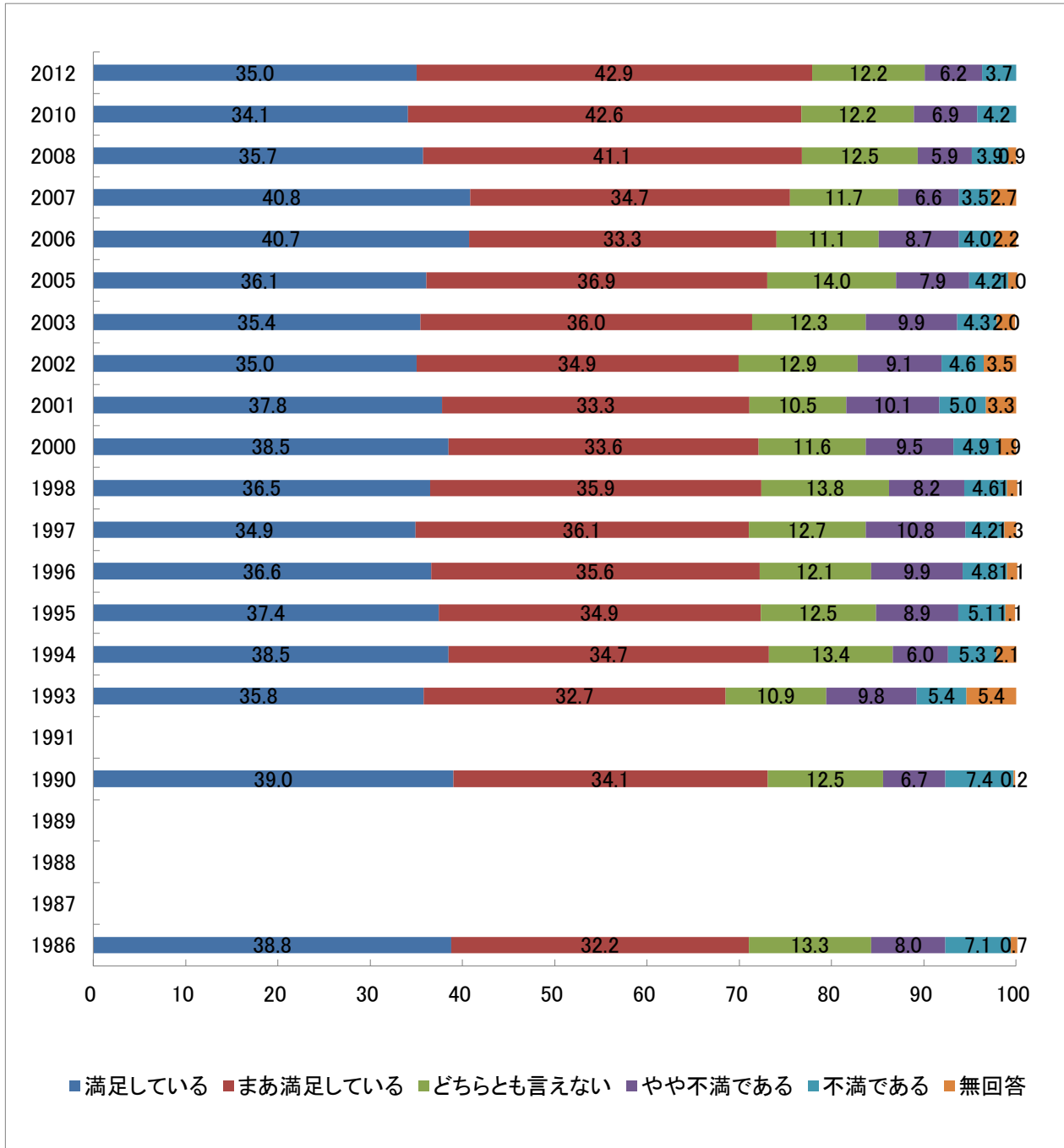


図 5 現在在籍している学部・学科等（科類）に満足していますか

「進学振分け制度についてどのように考えていますか」では、「現行のままでよい」が34.8%、「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」が30.4%、「入学時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい」が15.8%、「特に考えていることはない」が19.0%で、前回と比べると「点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい」が8.6ポイント高くなっている。2008年までは、「現行のままでよい」が増える傾向にあったが、2008年41.2%、2010年39.9%、2012年34.8%と前々回、前回より減少している（図6）。

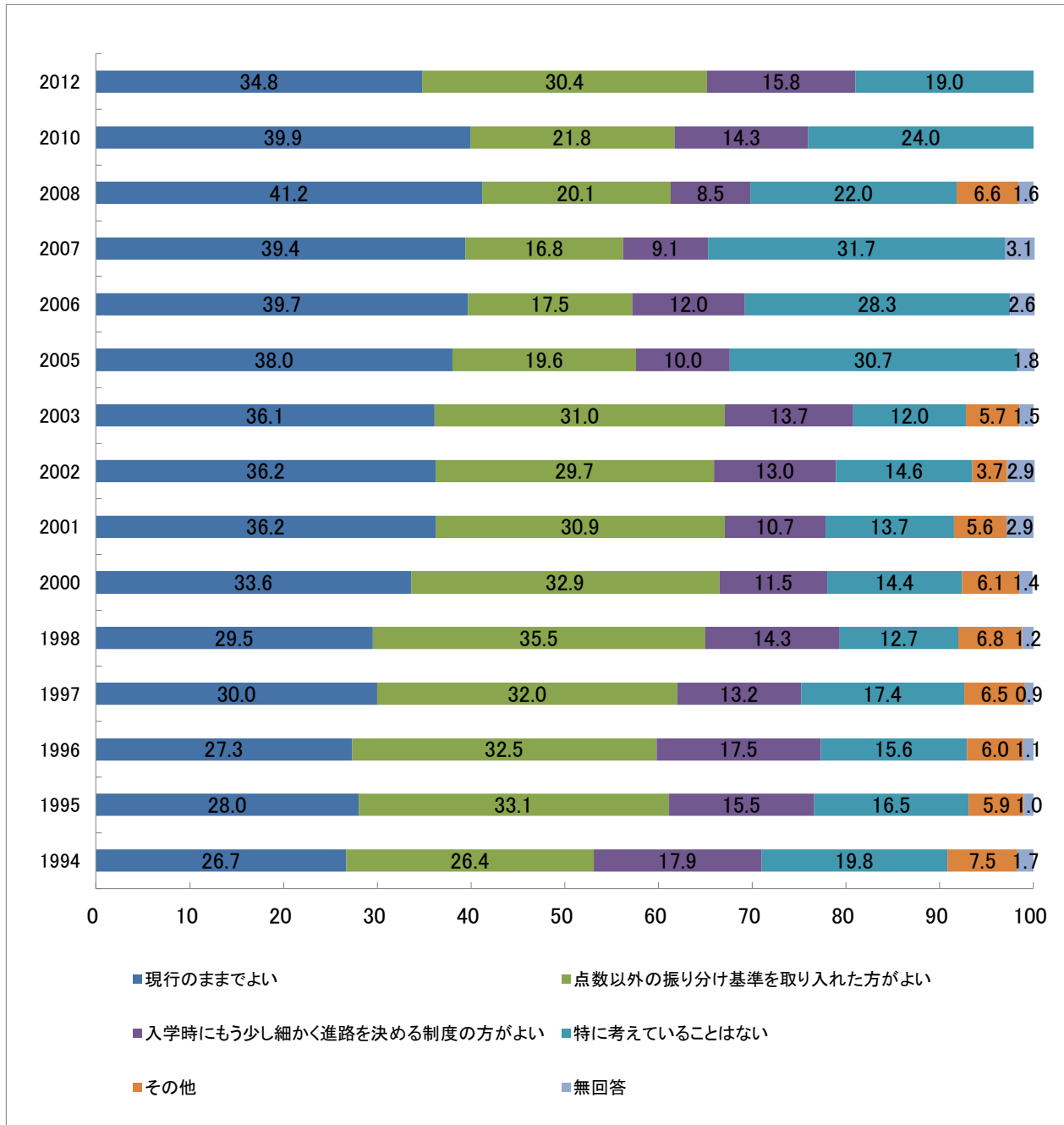


図 6 進学振分け制度についてどのように考えていますか(時系列)

学部別では、学部による差異がみられ、「現行のままでよい」は、薬学部54.2%、理学部47.9%、工学部44.9%、農学部42.6%と理科系学部でやや高く、次いで教養学部（文系）41.2%となっている（図7）。

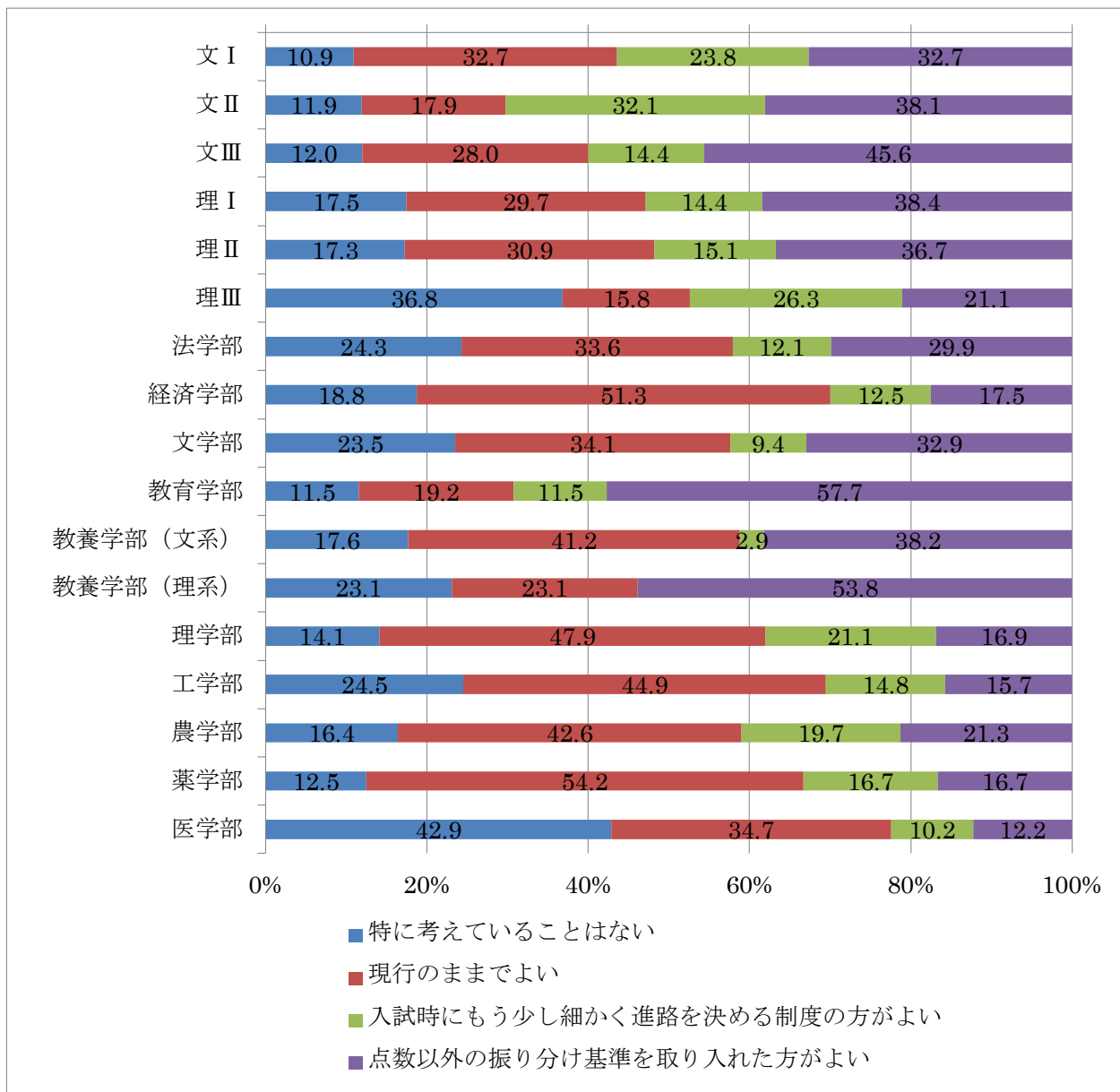


図 7 進学振分けについてどのように考えていますか（学部別）

### 1-1-3. カリキュラムについて

カリキュラムに「満足・まあ満足している」は60.9%  
カリキュラムの消化が「できる・まあできる」は80.5%

「現在のカリキュラムに満足していますか」では、「満足している」12.2%、「まあ満足している」48.7%となっており、満足している者は60.9%と6割を超えている。時系列でみると、2005年の第55回以降、過半数の者がカリキュラムに満足しており、満足している学生の比率は次第に高くなっている（図8）。

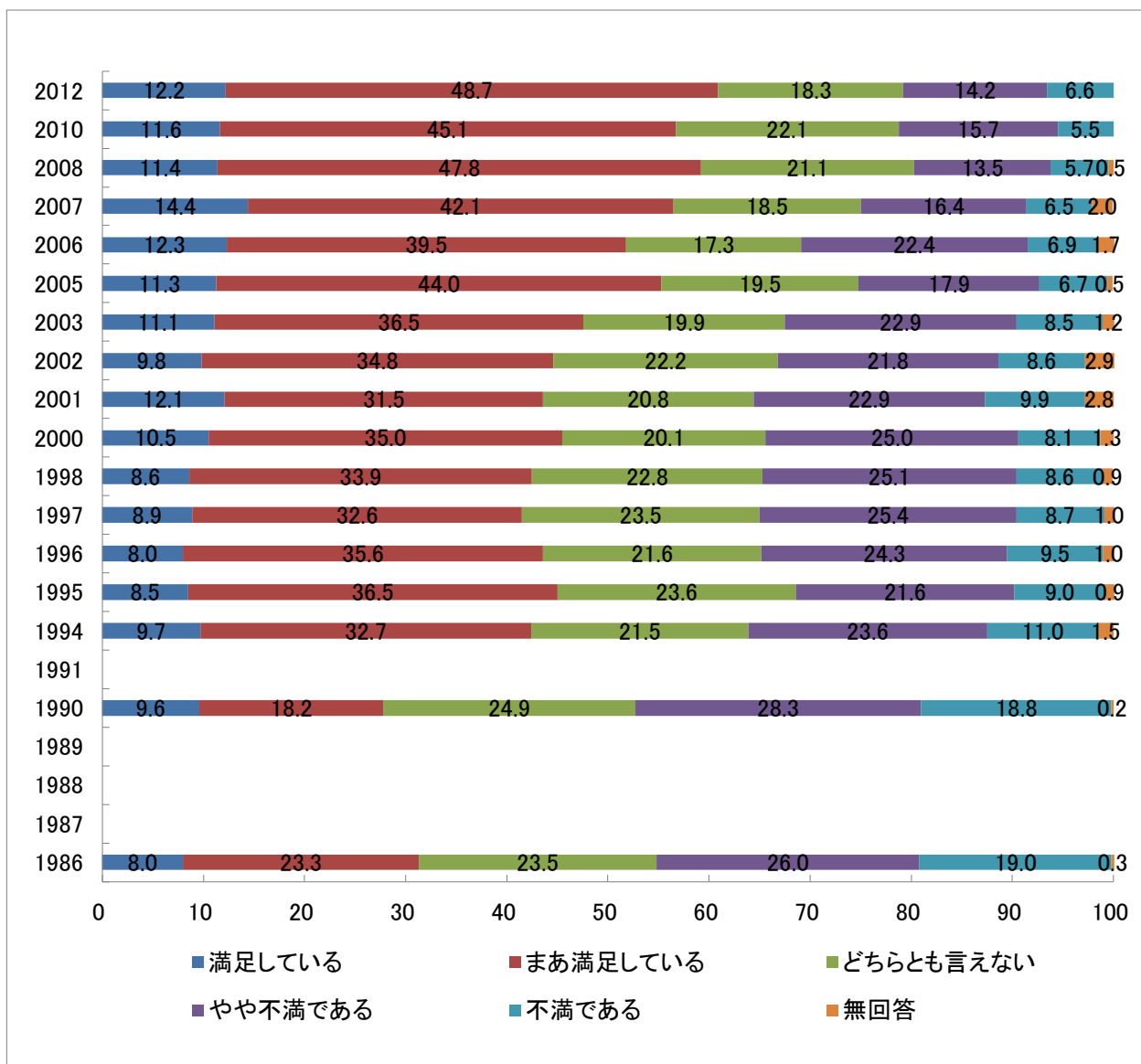


図 8 現在のカリキュラムに満足していますか（時系列）

学部別では、学部による満足度の違いがみられ、「満足している」と「まあ満足している」を合わせて、経済学部 75.0%、文学部 72.4%、薬学部 72.0%、工学部 71.1%、理学部 69.9%、教育学部 69.2%、教養学部（理系） 69.2%、農学部 67.8%では、7割近くが満足している（図9）。ただし、「満足している」のみでは、理学部 28.8%、医学部 20.8%、文学部 19.5%が高くなっている。

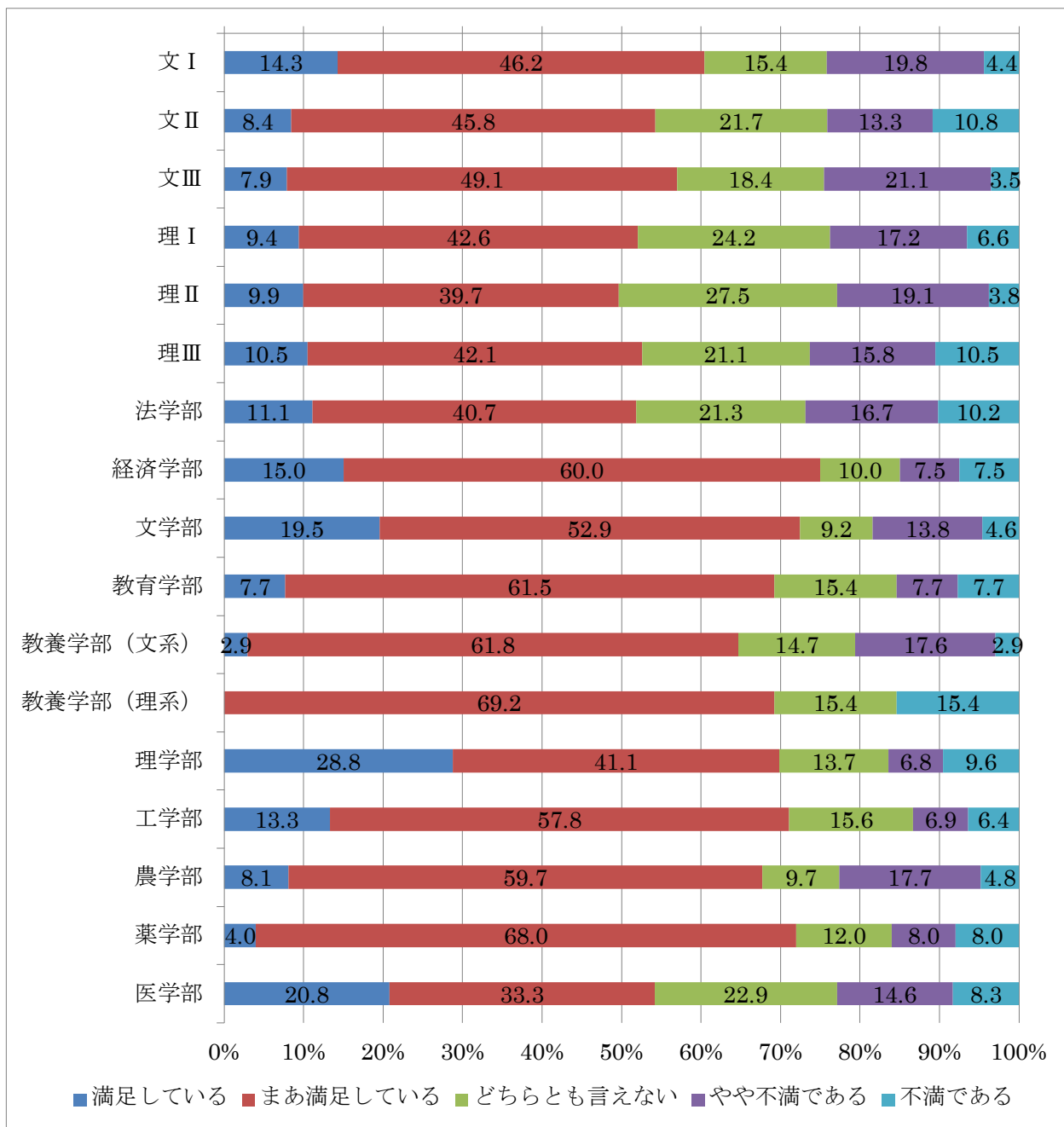


図 9 現在のカリキュラムに満足していますか（学部別）

「現在のカリキュラムを消化できますか」への回答では、「できる」が33.5%、「まあできる」が47.0%で消化できると答えた者は80.5%であった。時系列でみると、前回（2010年・第60回）とほぼ同様の結果となっているが、2007年・第57回以前と比較すると、「できる」が10ポイント程度減少し、「まあできる」が10ポイント弱増加する傾向が続いている。「できる」と「まあできる」を合わせた比率は、2008年からやや増加傾向にある（図10）。

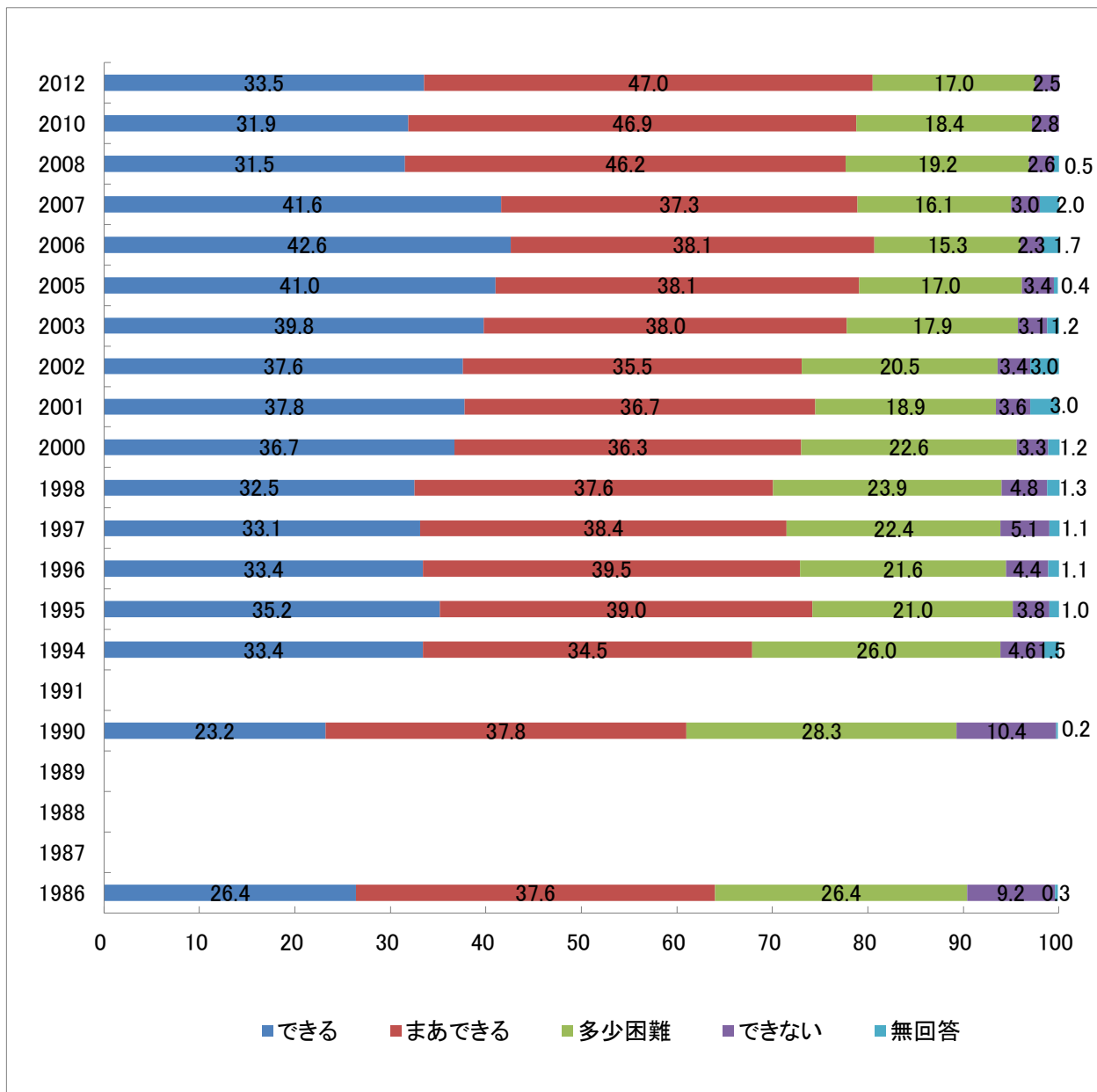


図 10 現在のカリキュラムは消化できますか（時系列）

学部別では、学部によってカリキュラム消化に違いがみられる。教養学部（文系）では、「できる」と「まあできる」を合わせて94.1%、文学部では93.1%、教養学部（理系）及び教育学部では92.3%と9割を超えている。ただし、「できる」のみでは、教養学部（文系）58.8%、文学部52.9%が5割を超えている（図11）。

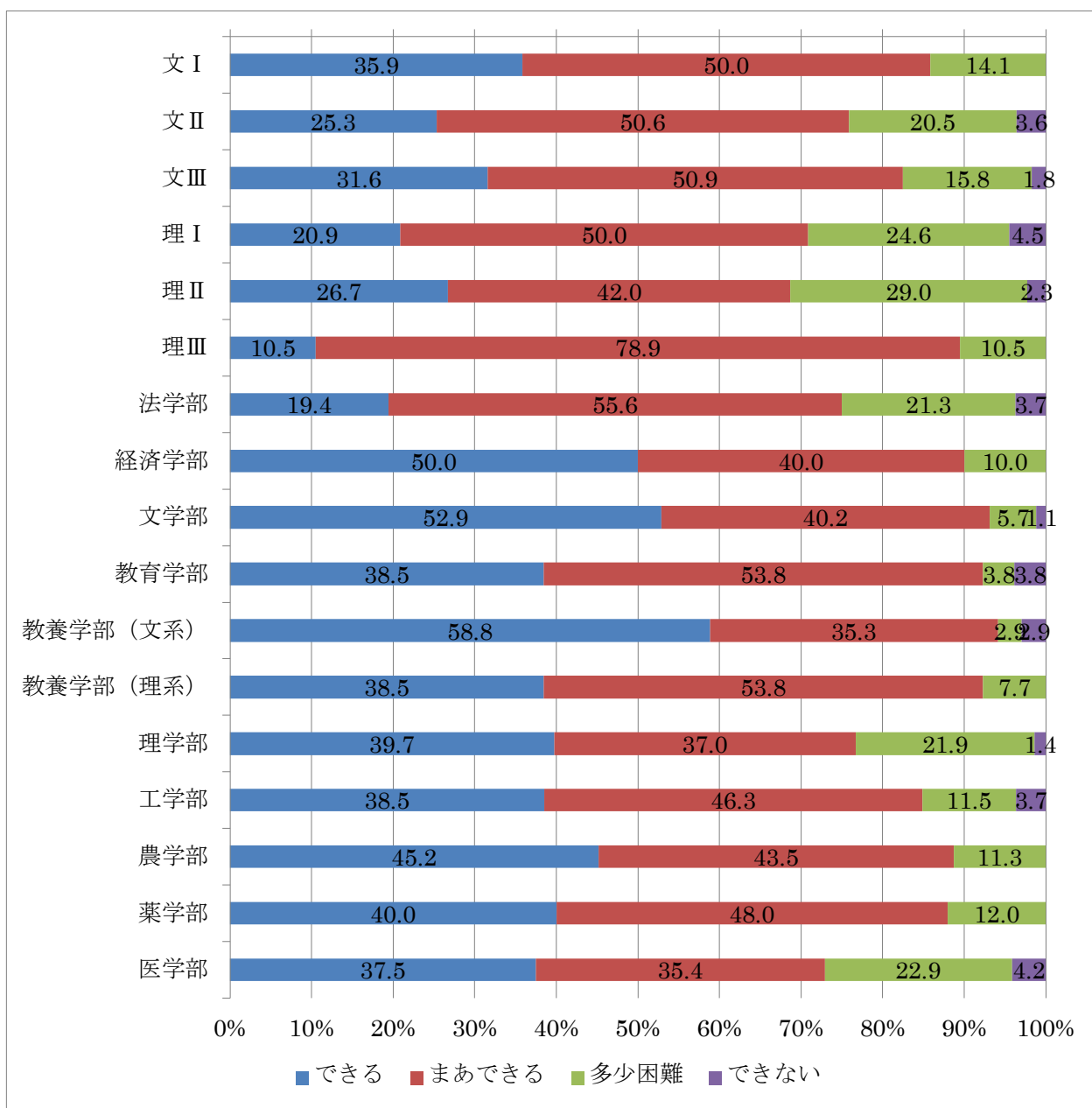


図 11 現在のカリキュラムは消化できますか（学部別）



#### 1-1-4. キャンパスにいる時間

「夜9時以降キャンパスにいることはある」学生は、60.2%  
 「土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいる」者の割合は、79.2%

前回の調査では、初めて学生がキャンパスにいつまで、どの程度いるのか尋ねた。その結果は、「夜9時過ぎまでキャンパスにいることはない」は39.8%と約4割だが、「夜9時過ぎまでキャンパスにいることはある」が29.6%と約3割、「夜10時過ぎまでキャンパスにいることはある」が14.6%、「夜11時過ぎまでキャンパスにいることはある」が5.7%、「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることはある」が10.3%となっている。この傾向は前回とほとんど変わっていない。なお、文科系より理科系の方がキャンパスにいる者の割合が高く、特に「夜11時過ぎまでキャンパスにいることはある」は文科系1.7%に対して、理科系は8.7%、「深夜12時過ぎまでキャンパスにいることはある」は、文科系4.5%に対して、理科系14.6%とかなりの学生が夜遅くまでキャンパスに残っている（図12）。この傾向も前回と同様である。また、男子と女子では有意な差は見られない。

さらに、キャンパスに残っている者に、その頻度をたずねると、「半年で1、2回」が14.1%、「月に1、2回くらい」が25.7%、「週に1、2回くらい」が34.3%で、合わせて74.1%と約4分の3が多くても週に1、2回程度だが、「週に3、4回くらい」は17.1%、「ほぼ毎日」が8.8%となっており、かなりキャンパスにいる時間が長い学生がいるとみられる。また、文科系理科系別でも、理科系の方が文科系に比べてキャンパスにいる時間が長くなっている。これらも前回と同様の傾向である（クロス集計表1-14表）。

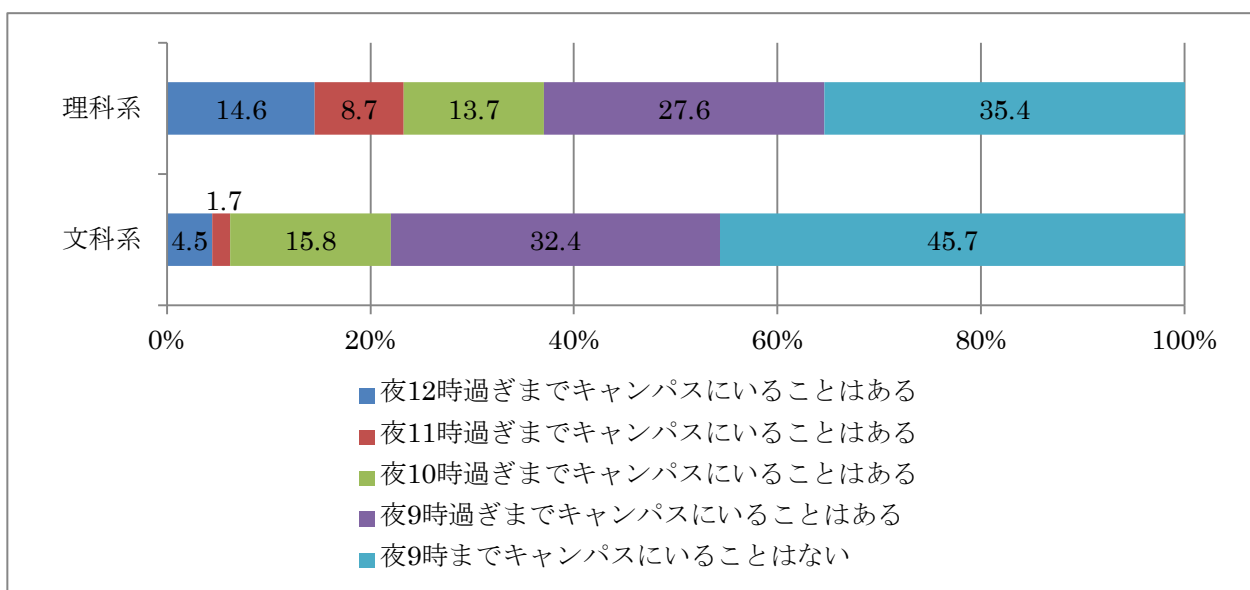


図 12 キャンパスにいる時間(文科系理科系別)

また、「土曜・日曜・祝日にキャンパス内にいたことはある」者の割合は、79.2%と8割に近く、前回より2.5ポイント増加している。文科系理科系別では、前回は有意な差はなかったが、今回は文科系76.1%に対して、理科系81.5%と理科系の方が高くなっている（クロス集計表1-15表）。

### 1-1-5. 学部卒業後の進路予定について

文科系は就職希望者が 63.3%、理科系では進学希望者が 71.7%  
 男子は進学希望者 54.0%、女子は就職希望者が 47.2%  
 主な大学院進学の原因第1位は、「より高度の知識・技術を身に付けるため」で 41.8%

「学部卒業後、どのような進路を予定していますか」では、「進学」（「大学院修士課程に入学する」38.4%、「大学院博士課程まで進学する」10.3%、「専門職課程に進学する」2.4%、「学士入学する」0.5%）が51.6%、「就職」（「就職する」36.4%、「起業する」0.1%）が36.5%、「その他」（「進学も就職もしない」0.5%、「まだ決めていない」10.3%、「その他」1.0%）が11.8%であった。時系列でみると、「進学」は1993年には38.9%であったが、次第に増加し2005年以降は半数を超えている。ただし、近年やや減少傾向もみられる。これに対して、「就職」は増減はあるものの約3分の1となっている。「その他」は、2003年までは、2割を超えていたが、その後減少傾向にある（図13）。

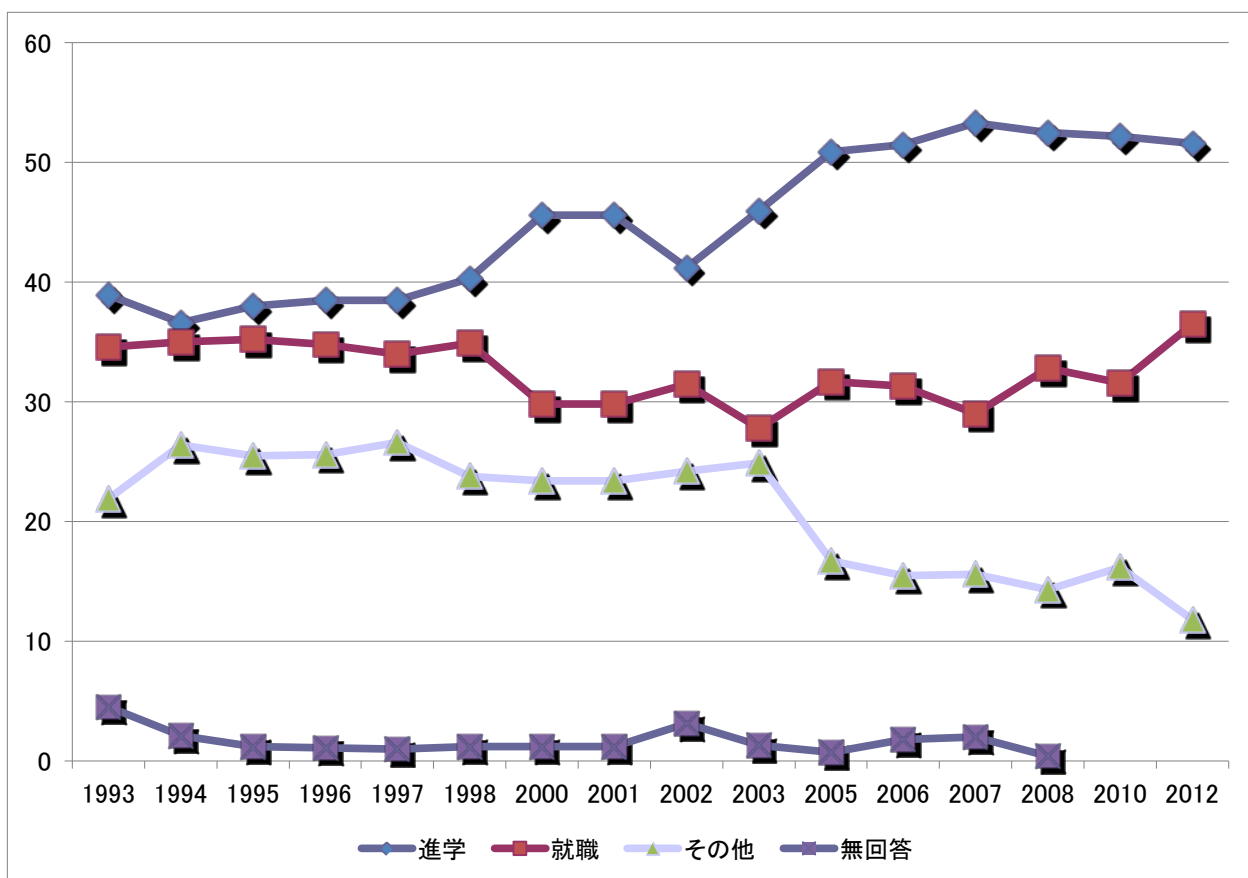


図 13 卒業後の予定進路

男女別でみると、男子は「進学」(男子54.0%、女子38.8%)が女子よりも15.2ポイント高く、女子は「就職」(男子34.5%、女子47.2%)が男子よりも12.7ポイントほど高い。文科系理科系別でみると、理科系は「進学」(理科系71.7%、文科系24.7%)が7割近くを占め、文科系は「就職」(文科系63.3%、理科系16.3%)が理科系の約4倍であることから、文科系理科系で卒業後の進路予定に大きな違いがあることがみてとれる(図14)。この傾向は前回とほとんど変わっていない。

「大学院に進学する」と答えた人に「その理由」を聞いてみたところ(2つだけ選択)、「より高度の知識・技術を身に付けるため」が41.8%と、他の項目と比べて圧倒的に高く、次いで「良い就職先を得るため」が13.6%、「大学で教育・研究職に就くため」が12.0%、「まだ社会に出たくないから」が10.2%という結果となった。男女別では、全体的に大きな差異はみられなかったが、「大学院修了ということでの社会的評価が高いから」(男子3.8%、女子0.5%)で男子が3.3ポイント高く、「大学外で教育・研究職に就くため」(男子7.0%、女子11.4%)で女子が4.4ポイント高いという違いがみられた(クロス集計表1-11表)。

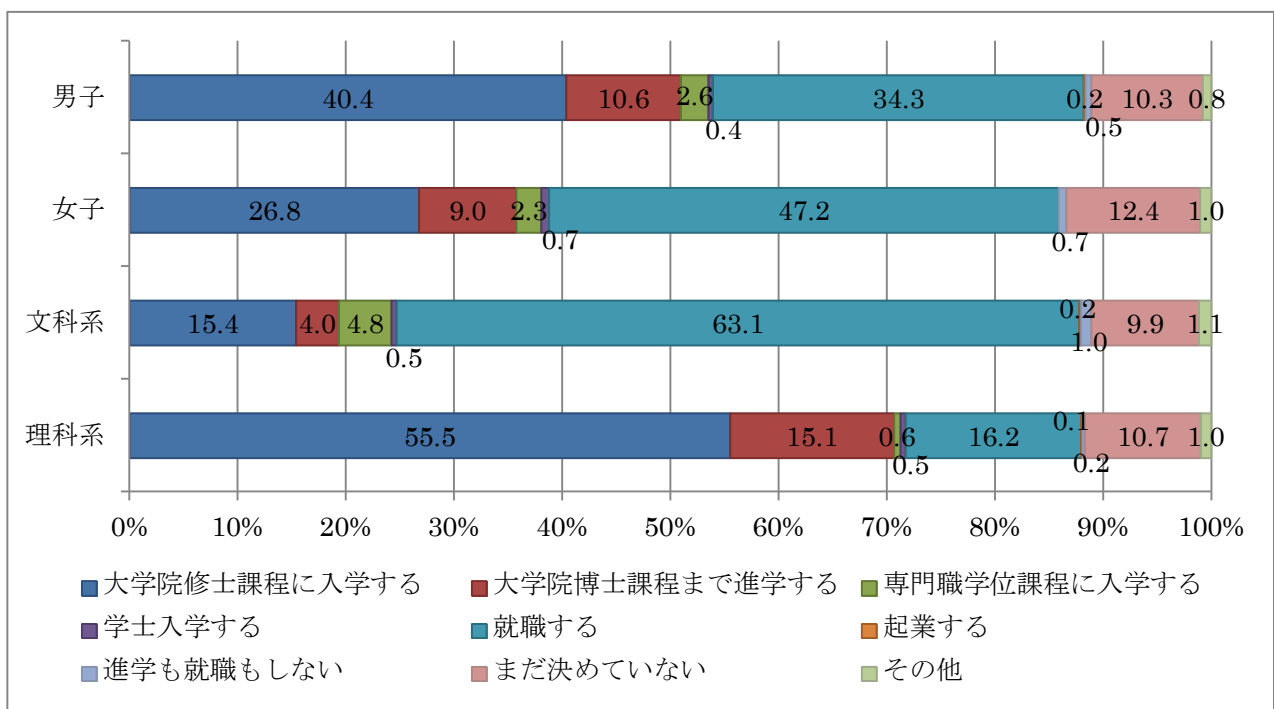


図 14 学部の卒業後、どのような進路を予定していますか



## 1-2. 就職

希望職種は「大学・公的機関の教育・研究職」18.2%「企業等の研究職」16.9%  
 希望職種に就きたい理由は「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」38.1%

「どのような職種に就きたいと思いますか」についての回答をみると、全体では、「大学・公的機関の教育・研究職」が18.2%、「企業等の研究職」の割合が16.9%と高く、「技術職」が13.7%、「専門職（※大学教員や研究職以外：医師、法曹、公認会計士等）」が12.9%と続いている。この質問は前回までは複数回答（3つまで選択）であったが、今回から単数回答（1つだけ選択）になったため、厳密な比較はできないが、前々回の調査（2008年）では「行政職（公務員）」が3番目に高い割合であったが、前回の調査では8.5%で6番目となっており、「技術職」と入れ替わる結果となった。今回は9.2%とやや増加し5番目になっている（図15）。

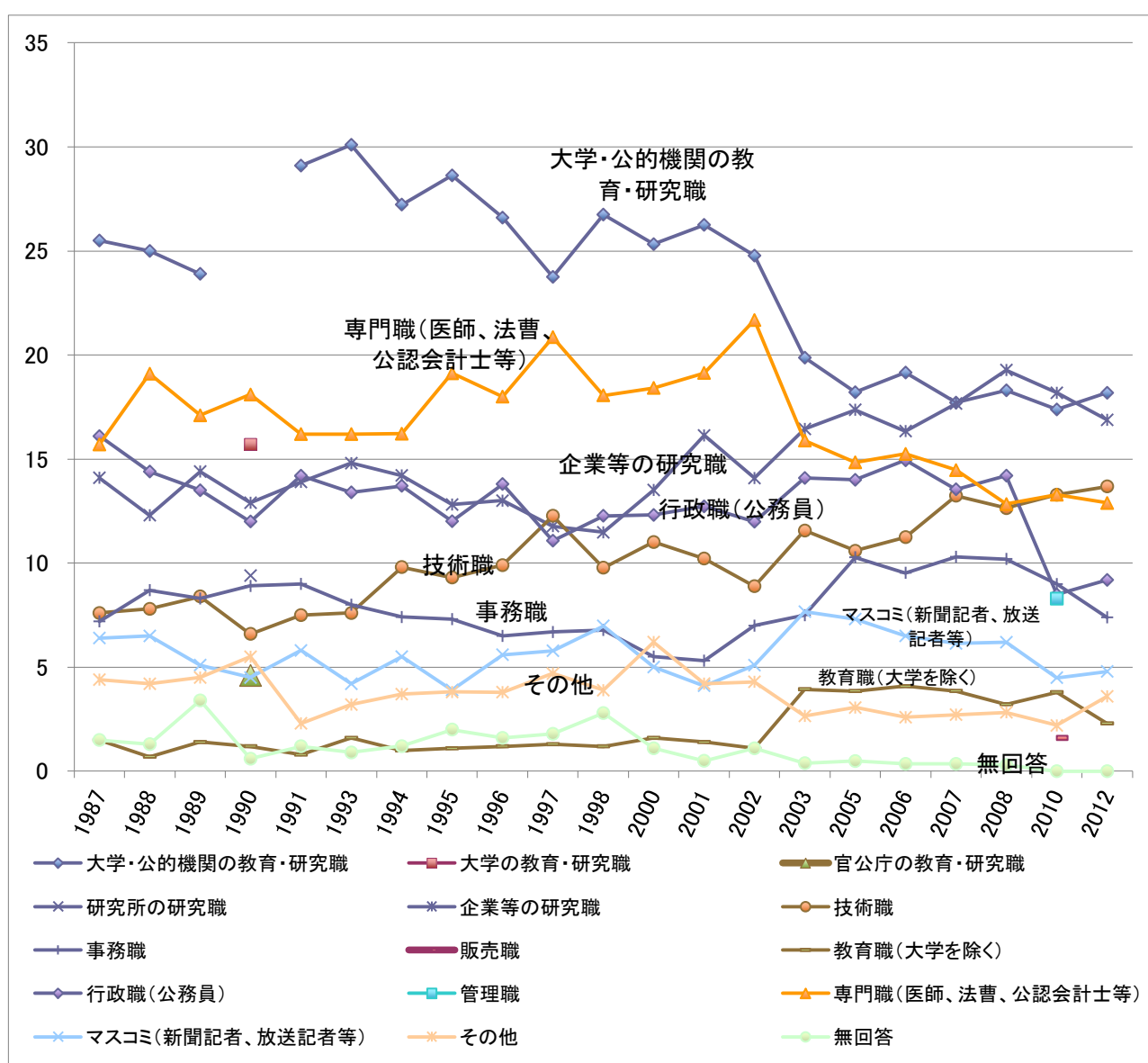


図 15 就職希望職種(時系列)

男女別では、いくつかの項目で男女に差がみられた。「大学・公的機関の教育・研究職」（男子18.4%、女子14.5%）、「技術職」（男子14.2%、女子10.3%）、「企業等の研究職」（男子17.8%、女子14.5%）、「管理職（会社役員等）」（男子10.0%、女子4.8%）の項目において、男子が女子と比べて高く、「マスコミ（新聞記者、放送記者、アナウンサー、プロデューサー等）」（男子3.6%、女子9.4%）、「事務職」（男子6.6%、女子11.3%）、「行政職」（男子8.8%、女子11.3%）では女子の高さが目立っている（クロス集計表2-2表）。

文科系理科系別をみると、全体的に文科系と理科系の間で大きな違いがある。特に顕著な差がみられるものとしては「企業等の研究職」（理科系28.2%、文科系1.9%）、「大学・公的機関の教育・研究職」（理科系23.7%、文科系10.9%）、「技術職」（理科系23.2%、文科系0.9%）で、理科系が大幅に高い。他方、「専門職」（文科系17.1%、理科系9.7%）、「販売職」（文科系5.6%、理科系0.6%）、「事務職」（文科系14.8%、理科系1.9%）、「行政職」（文科系17.2%、理科系3.0%）、「管理職」（文科系15.1%、理科系3.5%）においては、文科系が高くなっている（図16）。これらは前回と同じ傾向である。

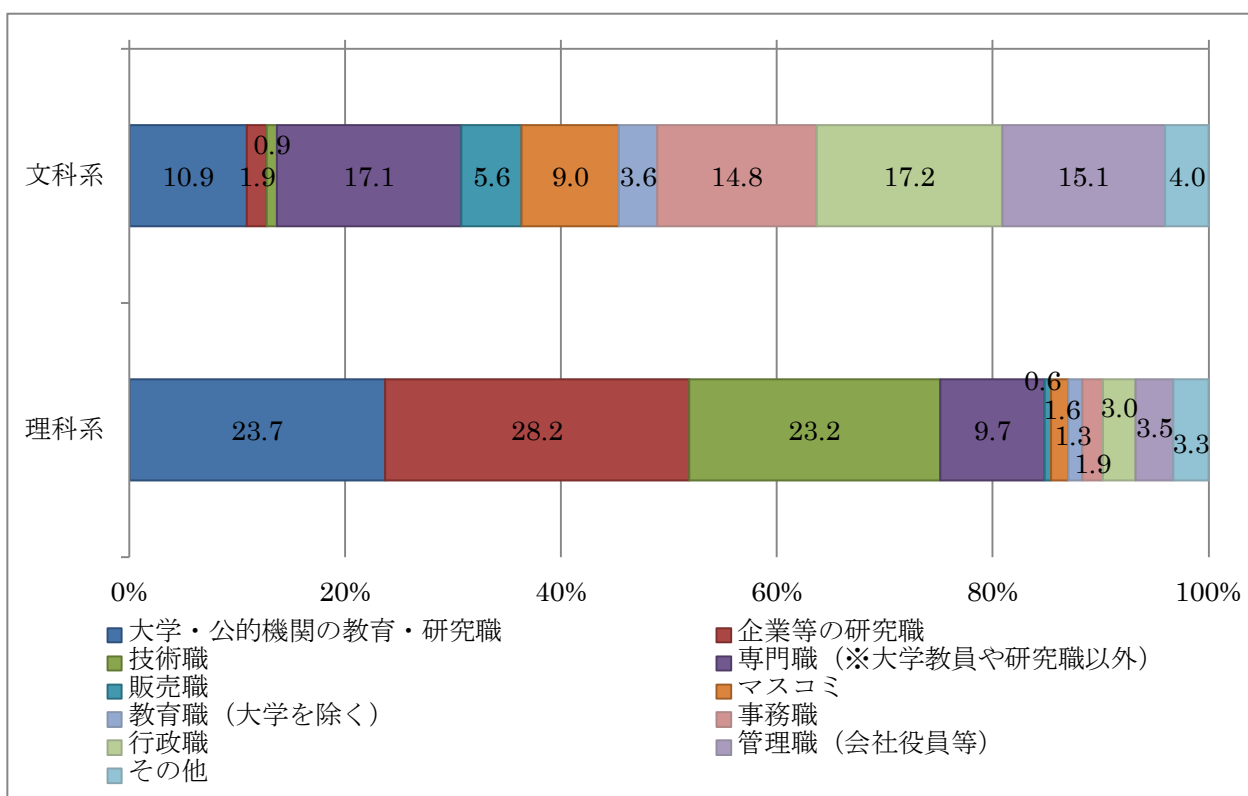


図 16 就職希望職種（文科系理科系別）

「その職業に就きたいと考えるのは、どのような理由からですか」についての回答をみると、全体では「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」が38.1%、「人を助けたり社会に奉仕できる」が20.4%、続いて「安定した生活が保障されている」10.5%、「独創性や創造性を発揮できる」8.0%、「十分な収入が期待できる」7.0%となっている。この質問は前回までは複数回答（3つまで）だったが、今回は単数回答（1つだけ）に変わったため、前回までとの比較はできない。

男女別では、全体的に大きな男女の差はみられず、「人を助けたり社会に奉仕できる」(男子18.8%、女子26.0%)と「十分な収入が期待できる」(男子8.5%、女子3.6%)という2項目のみ差がみられる（クロス集計表2-3表）。

文科系理科系別にみると、「自分の特技・能力や専門知識が活かせる」（理科系49.6%、文科系23.2%）を希望理由にあげる理科系の高さが際だっている。また、「独創性や創造性を発揮できる」（理科系10.2%、文科系5.2%）においても理科系が高い。他方、文科系が高めの項目としては、「人を助けたり社会に奉仕できる」（文科系26.6%、理科系15.6%）、「安定した生活が保障される」（文科系14.1%、理科系7.6%）、「人や組織を動かすことができる」（文科系7.4%、理科系1.7%）、「国際的な仕事ができる」（文科系5.0%、理科系2.2%）があげられる。それ以外の項目では大きな差は見られない（図17）。

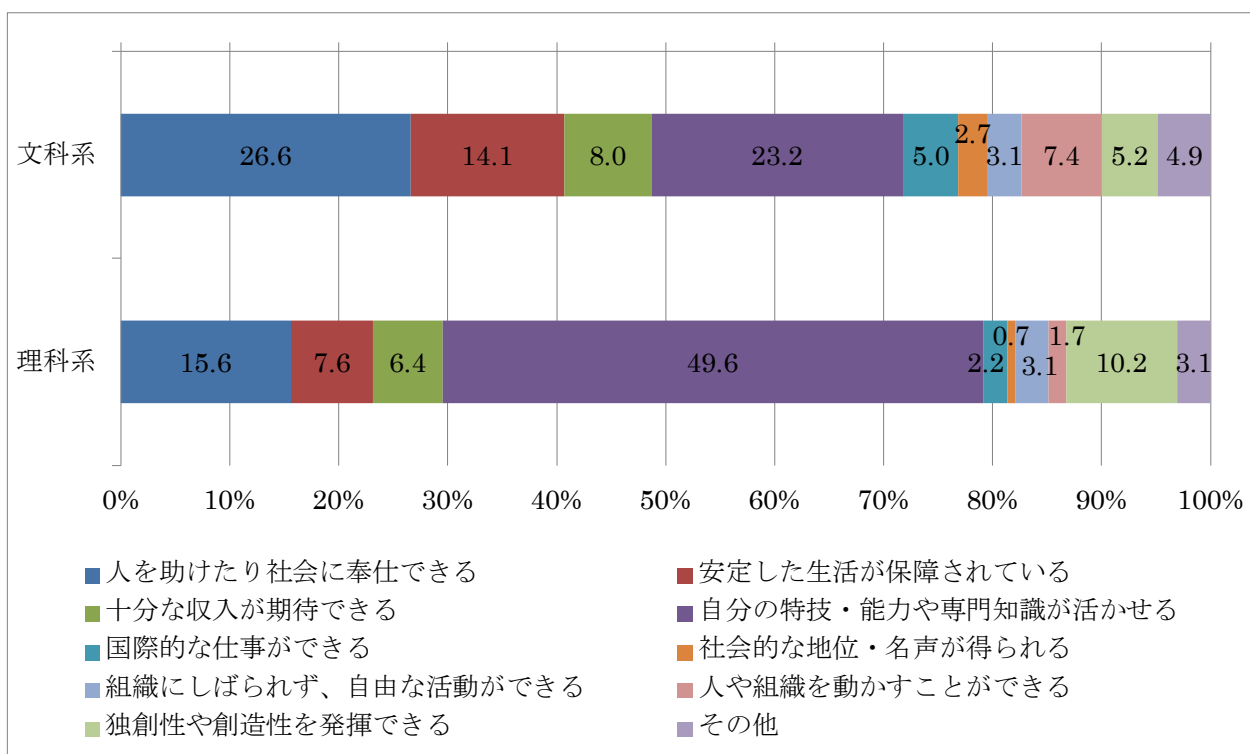


図 17 就職希望職種の原因（文科系理科系別）

### 1-3. 不安・悩み

「将来の進路や生き方」に83.8%の学生が悩みを感じている  
 相談する相手は、父母、大学内のサークルや団体の友人、大学外の友人、大学内の同じ学科や研究室の友人  
 学生の46.5%が過去6か月間で「強い不安に襲われた」

学生が不安や悩みとして最も多くあげた項目は「将来の進路や生き方」で「よく悩む」と「ときに悩む」を合わせて83.8%にのぼる。これに次いで多いのは、「就職」(同68.4%)、「勉学(成績・単位など)」(同67.1%)、「経済的なことや経済的自立」(同64.2%)などとなっている。これらは前回・前々回とほぼ同じ傾向である。具体的記述にも、「大学院に進むか、公務員試験を受けるか、就職するかで迷っている」「一定の収入を得られる専門職に就けるのであれば大学院への道を考えやすいが…」「就職活動がうまくいくか不安がある」「就職活動に関する情報が入らず困る」といった進路や就職活動に関連する不安や悩みについての声が多数寄せられた。逆に、あまり不安や悩みがないのは「教職員との対人関係」(同10.2%)、「自分の体調や健康」(同37.5%)などとなっている(図18)。

多くの項目で女子の方が男子より悩む割合が高い。とくに「自分の性格」で男子が「よく悩む」と「ときに悩む」を合わせて53.0%に対して、女子は63.7%、「就職」は男子66.5%、女子78.1%、「勉学(成績・単位など)」では男子64.9%、女子73.9%、「友人との対人関係」では男子39.6%、女子44.7%、「将来の進路や生き方」では男子82.1%、女子91.9%、「学部進学や大学院進学」では、男子56.4%、女子62.7%となっている。これに対して、「経済的なことや経済的自立」などは男子と女子でほとんど差が見られない(クロス集計表3-1表)。

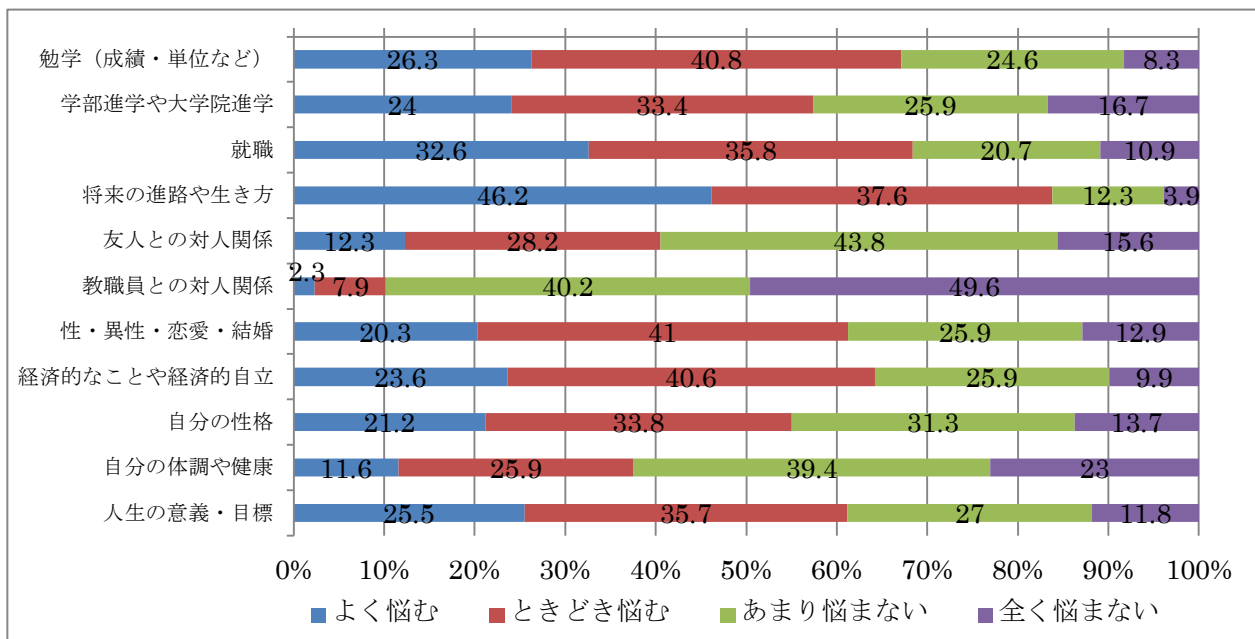


図 18 不安・悩みの程度

そうした不安や悩みの相談相手として最も多くの学生があげたのは、「父・母」で「よく相談する」と「時々相談する」を合わせると41.4%となっている。次いで、「大学内のサークルや団体の友人」(同39.9%)、「大学外の友人」(同35.5%)、「大学内の同じ学科や研究室の友人」(同33.2%)などとなっている。これに対して、学生が相談相手としてあげられることが少なかったのは、「なんでも相談コーナー・学生相談所等」(同2.1%)、「大学の教職員」(同3.6%)、「兄弟・姉妹」(同10.0%)となっている。これらは、前回とほぼ同じ傾向である(図19)。

また、それぞれの相談先に全く相談しないという学生も一定の割合で存在しており、具体的記述にも、「友人がいない」「人間関係を作れない」「異性と出会う機会がない」「友人関係が希薄で、悩みなどを話せず、孤独を感じる」というように、対人関係の希薄さや孤独感を訴える声も多数寄せられた。

なお、相談したり話し合ったりするのも男子より女子の割合の方が高い。たとえば、「父・母」に「よく相談する」と「ときどき相談する」を合わせると、男子は37.0%に対して、女子は56.3%となっている。「兄弟・姉妹」、「大学内の同じ学科や研究室の友人」、「大学内のサークルや団体の友人」、「大学外の友人」、「恋人」のいずれも、男子より女子の方が相談したり話し合ったりする割合が高い（クロス集計表3-2表）。

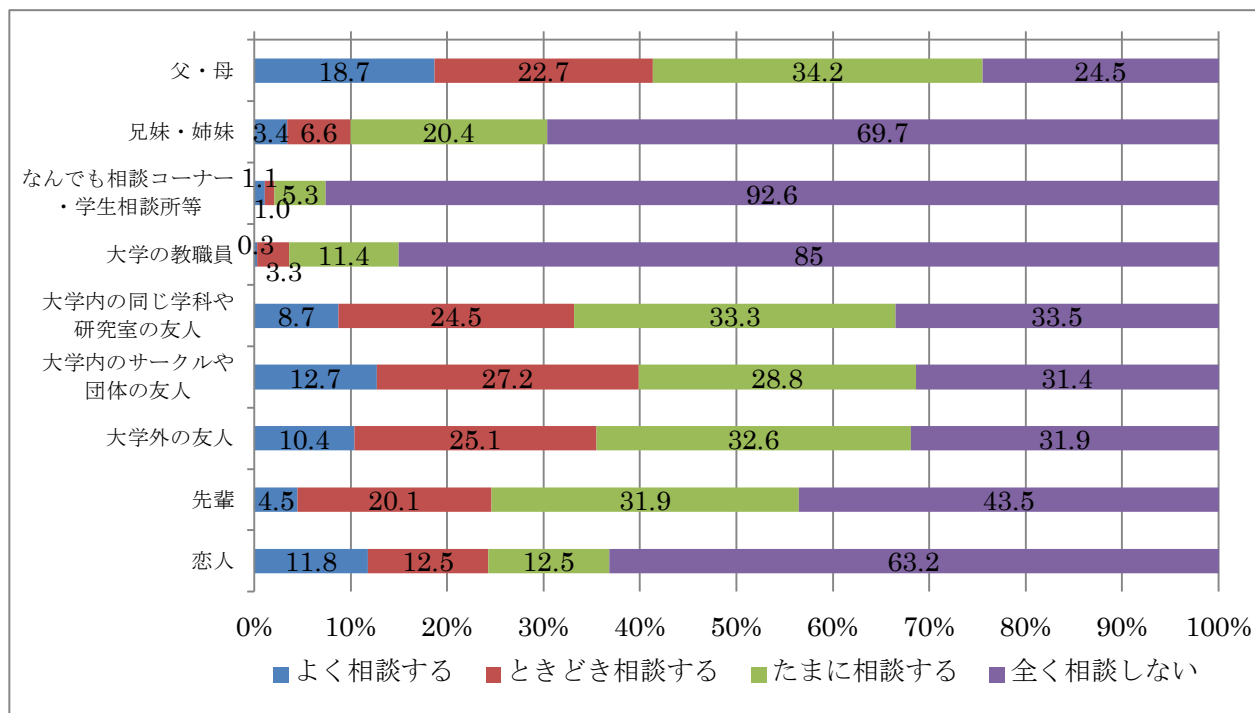


図19 不安や悩みを感じたときの相談先

最近6ヶ月の間に、体験したり悩んだりしたメンタルヘルスに関わる事項については、最も多いのは、「強い不安に襲われた」で「しばしば体験した」と「ときどき体験した」を合わせて46.5%、次いで「人と話してとても緊張したり、不安を感じた」（同34.8%）、「やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった」（同33.2%）、「気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった」（同32.5%）などとなっている。これに対して、体験したり悩んだりしたことで少ないのは「バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのが怖かった」（同4.4%）、「体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした」（同9.8%）、「食欲がなくなり、食べ物を口にしたいと思わなかった」（同12.1%）などとなっている（図20）。これらも前回とほとんど同じ傾向である。

具体的記述にも、「何かに取り組もうという気がわからない」「うつで授業に出るのがつらい」というようにメンタルヘルス上の困難を訴える記述が複数見られた。このような困難は学生生活を送る上での大きな障害となることが考えられる。中には「時折自殺が頭をよぎる」「死にたい」という訴えもあり、困難を抱えた学生が適切な支援を受けられるように、全学的な支援体制の一層の整備が求められよう。

こうした体験や悩んだりしたことについても、多くの項目で男子より女子の方が高い割合になっている。たとえば、「ついつい過食してしまう傾向があった」は、「しばしば体験した」と「ときどき体験した」を合わせて男子20.1%に対して、女子38.7%となっている。また、「食欲がなくなり、食べ物を口にしたいと思わなかった」は男子10.5%、女子19.0%、「体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした」は男子8.9%、女子14.2%、「人と一緒にいてもさびしい感じがした」は男子24.4%、女子38.0%、「強い不安に襲われた」は男子



44.7%に対して、女子55.2%となっている。これに対して、男子の割合の方が高いのは、「他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた」項目のみで、男子13.5%、女子11.9%となっている（クロス集計表3-3表）。

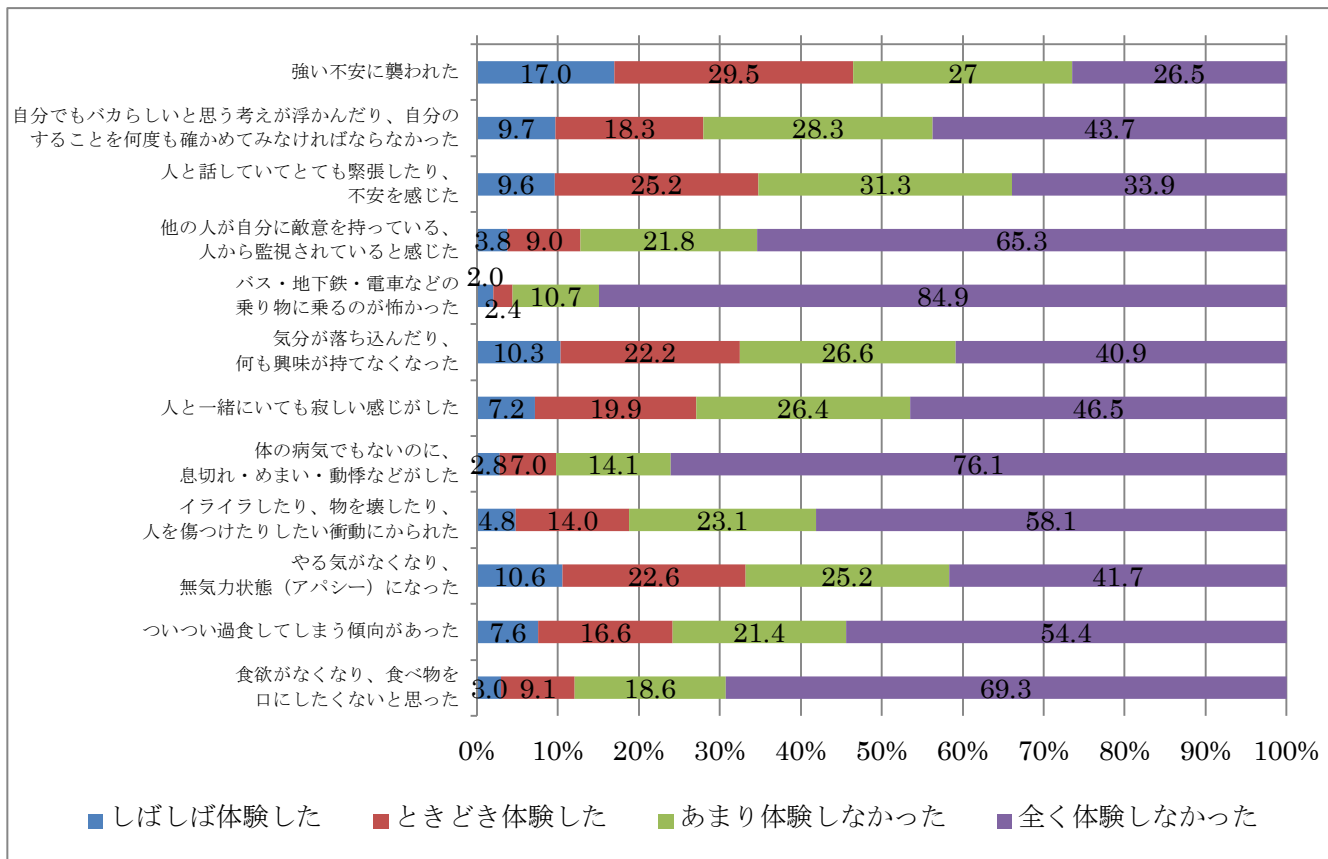


図20 メンタルヘルスに関わる体験

また、「過去1年間に体調の不調があった」について、「よくあった」6.1%、「ときどきあった」27.4%と合わせると33.5%の学生が何らかの体調の不調があったとしている。これを男女別に見ると、男子では「よくあった」5.4%、「ときどきあった」26.1%で合わせて31.5%であるのに対して、女子では、同じく8.4%と34.1%で合わせて42.5%と、女子の方が体調の不調を訴える割合が高い（図21）。

体調の不調があった時の対処法としては、「地域のクリニックや病院を受診」が31.9%で最も多く、次いで「家族に相談」28.7%「保健センターの診療部の受診」15.6%の順になっている。

「大学が行っている保健サービス」で最も利用されているのは、「定期健康診断」の39.1%で、次いで「病気やケガ等で保健センターを受診」20.2%、「保健センターの健康診断書や健康診断証明書の発行」6.1%などとなっている。また、25.5%の学生が、大学が行っている保健サービスを「利用したことがない」と回答した。「大学が行っている保健サービス」への満足度については、35.9%が「満足」、8.5%が「不満」と回答した（クロス集計表3-4表）。

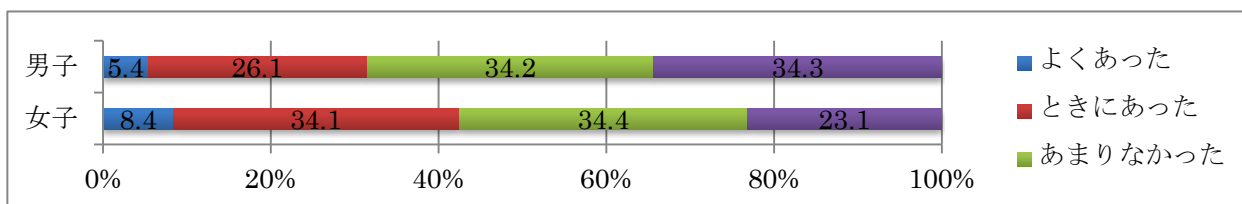


図21 体の不調の程度

#### 1-4. 大学への要望

大学への要望で最も多かったのは、「授業の方法の工夫・改善」で、次いで「施設設備の充実」、「図書館の充実」の順であった。

一方で、大学への要望が少ないのは、「単位認定や学年試験を厳しく」や「学生自治の尊重」や「カウンセリング・相談体制の充実」。

大学への要望で「とても期待する」と「期待する」を合わせて最も多いのは前回（2010年）3位（75.8%）であった「授業の方法の工夫・改善」75.4%で、次いで前回1位（79.3%）だった「施設設備の充実」で73.7%にのぼる。続いて、「図書館の充実」73.3%、「海外留学の支援」66.5%、「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する」65.7%、「カリキュラムの改革」64.2%、「社会への貢献」58.3%、「国際化の推進」58.0%、「教育スタッフの充実」57.7%、「就職対策や進路相談機能の充実」55.9%などとなっている。これに対して、大学への要望が比較的少ないのは、「単位認定や学年試験を厳しく」12.6%、「学生自治の尊重」20.9%、「カウンセリング・相談体制の充実」24.8%などとなっている（図22）。なお、この選択肢は前回までと異なっているものが多いため、厳密な比較はできないが、授業、図書館、施設設備など、日頃の教育・研究に関わる要望が上位を占めていることは共通していると考えられる。

また、この質問は、前々回調査（2008年）までは、「3つまで選択」であったが、前回及び今回の調査では、それぞれの項目について、「とても期待する」、「期待する」、「どちらともいえない」、「期待しない」、「まったく期待しない」の5段階でたずねている。このため、厳密な比較は出来ないが、前々回調査で最も多かったのは、「カリキュラムの改革」であった。



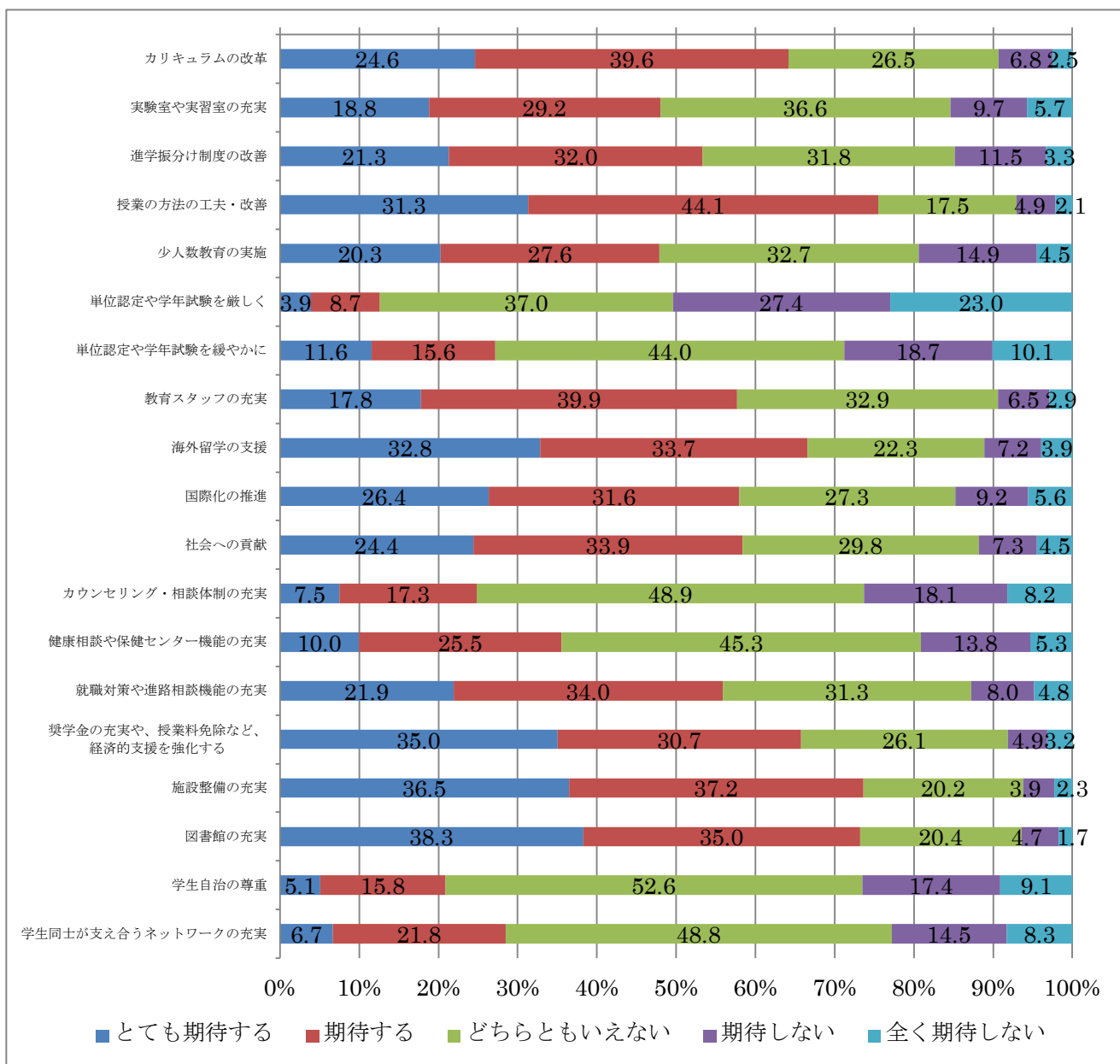


図 22 大学への要望や期待

男女別にみると、女子の方が期待する割合が高い項目が多い。「とても期待する」と「期待する」を合わせて、「海外留学の支援」は女子78.5%、男子63.2%、「就職対策や進路相談機能の充実」は女子69.6%、男子52.1%、「国際化の推進」は女子66.5%、男子55.7%となっている。

また、文科系理科系別では、「実験室や実習室の充実」は、文科系35.6%に対して、理科系57.5%と理科系が高く、文科系との間に大きな差がある。これに対して、「進学振分け制度の改革」は文科系58.6%、理科系49.4%、「カウンセリング・相談体制の充実」では、文科系29.1%、理科系21.5%、「少人数教育の実施」は文科系59.9%、理科系38.5%、「単位認定や学年末試験を緩やかに」では文科系31.4%、理科系23.9%、「海外留学の支援」では文科系74.4%、理科系60.3%、「国際化の推進」では文科系63.3%、理科系53.8%、「社会への貢献」では文科系63.3%、理科系54.4%、「図書館の充実」では文科系78.5%、理科系69.2%、「学生の自治の尊重」では文科系25.0%、理科系17.9%と、いずれも文科系の期待が大きくなっている（クロス集計表4-1表）。

## 1-5. 秋季入学

秋季入学に「賛成」27.8%、「反対」35.5%、「どちらとも言えない」29.6%  
メリット（複数回答）は「留学生が大きく増える」33.2%、「日本人学生の海外留学が大きく増える」32.2%、「特にメリットはない」29.0%など  
デメリット（複数回答）は、「有意義な過ごし方を見つけにくい」75.5%、「経済的な条件によって体験活動の機会等に格差が生じる」53.5%、「学力の低下が生じる」45.6%など

今回の調査では、秋季入学構想について、「現在、東大では、教育の国際化を推進する等の観点から、学部の入学時期を4月から秋に移行させることが検討されています。あなたは、この秋季入学構想について、どう受け止めていますか。」として、たずねた。その結果は図23のように、秋季入学に「賛成」27.8%、「反対」35.5%、「どちらとも言えない」29.6%、「わからない」7.1%と、反対の方が賛成を上回った。ただし、「どちらとも言えない」が29.6%で、ほぼ3分されているとみることができる。性別や文科系理科系別に有意な差はみられない（クロス集計表1-17表）。

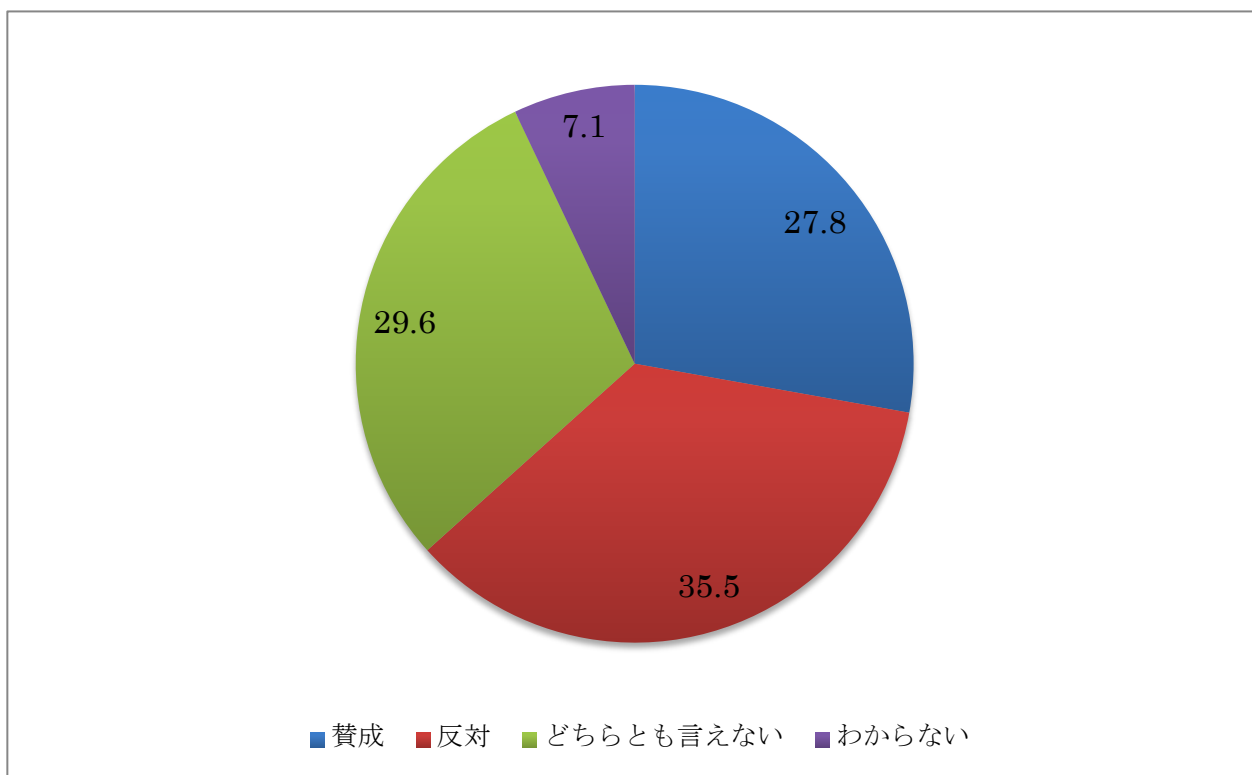


図23 秋季入学について

秋季入学のメリットについては、「入学時期が秋に移行した場合に、期待できることに何がありますか。」として、4つの選択肢について複数回答でたずねた。その結果として、「留学生が大きく増える」33.2%（回答者数を分母、以下同じ）、「日本人学生の海外留学が大きく増える」32.2%と留学の条件の改善をあげる学生が多い。しかし、「特にメリットはない」も29.0%と約3割にのぼる（図24）。男女別には有意な差はみられないが、文科系理科系別では、文科系で「日本人学生の海外留学が大きく増える」が35.2%と理科系の29.9%よりやや高い比率を示している。なお、前問の秋季入学の「賛成」の学生の場合でも「日本人学生の海外留学が大きく増える」は59.4%、「留学生が大きく増える」は50.0%に過ぎない。

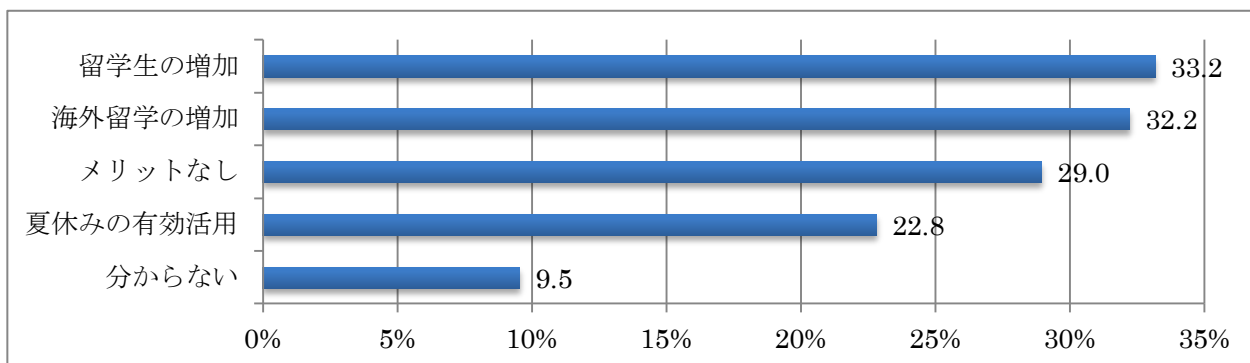


図 24 秋季入学のメリット(複数回答、回答者数を分母)

秋季入学のデメリット（複数回答）については、「秋季入学構想では、高校卒業から入学までの約半年間の空白を『ギャップターム』と位置付け、自主的な体験活動等に充てるのが提案されていますが、様々な問題も指摘されています。次の中に、あなたが特に問題であると感じるものがありますか。」として8つの選択肢について複数回答でたずねた。その結果として、「有意義な過ごし方が見つけにくい」が75.5%と顕著に高く、「経済的な条件によって体験活動の機会等に格差が生じる」53.5%も過半数が選択しており、「学力の低下が生じる」45.6%がこれに続いている。一方で、「特になし」はわずか2.2%にとどまり、ほとんどの回答者が何らかのデメリットをあげている（図25）。

男女別では、「経済的な条件によって体験活動の機会等に格差が生じる」をあげる学生は、女子62.8%と男子の50.4%より高くなっている。また、同じ選択肢で、文科系は60.1%で理科系の48.5%に比べ高い比率になっている。さらに、「学力が低下する」については、文科系39.2%に対して、理科系50.4%と理科系の方が高い比率を示している（クロス集計表1-19表）。

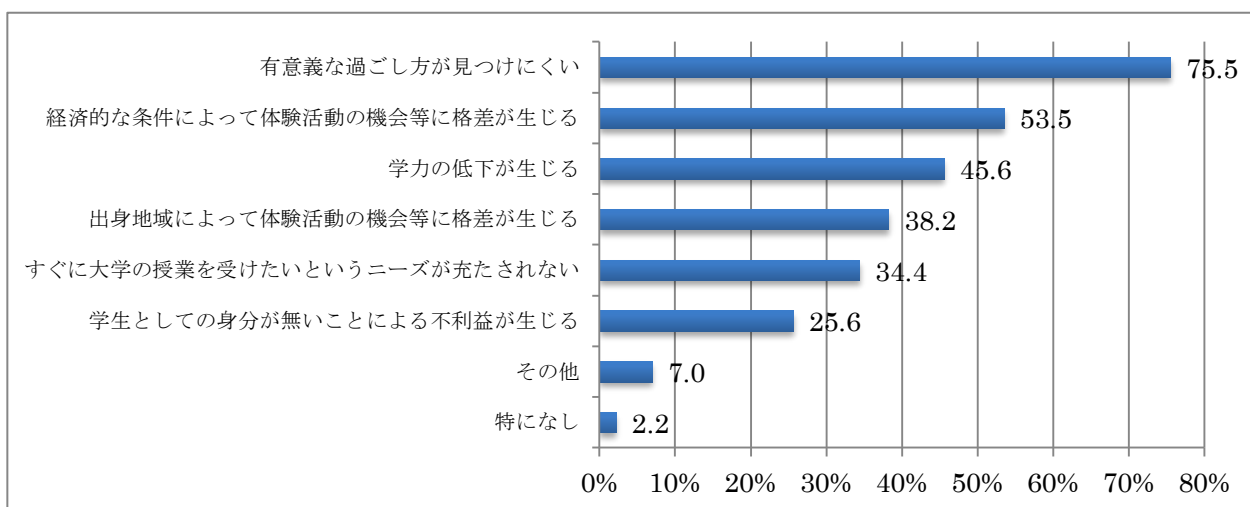


図 25 秋季入学のデメリット(複数回答、回答者数を分母)

## 第2部 学生生活の背景

### 2-1. 家庭の状況

家庭の所在地は58.2%が関東  
 家計支持者は「父」が90.7%、「母」が24.4%  
 職業は「父」の「管理的職業」が43.4%、「母」の「無職」が39.5%  
 年収額は1,550万円以上が17.1%と3.0ポイント増加、450万円未満が13.5%

家庭の所在地は、「東京都」26.7%、東京都以外の「関東」が31.5%、合計すると58.2%である。時系列で見ると、「東京都」や東京都以外の「関東」の比率など、全体の傾向はそれほど変化していない（図26）。男女別では、女子の「東京都」で多少の変化がある程度でほぼ横ばいとなっている（図27、図28）。

前々回（第58回）調査より家計支持者を複数回答でたずねている。回答者数を基に集計すると「父」が90.7%（前回92.8%）、「母」が24.4%（前回41.7%）で、「父」が2ポイントほど減少し、「母」が17ポイントほど減少している。ただし、前々回では「母」は29.7%であった（複数回答のため、回答者数を分母にして再集計、クロス集計表5-3表）。

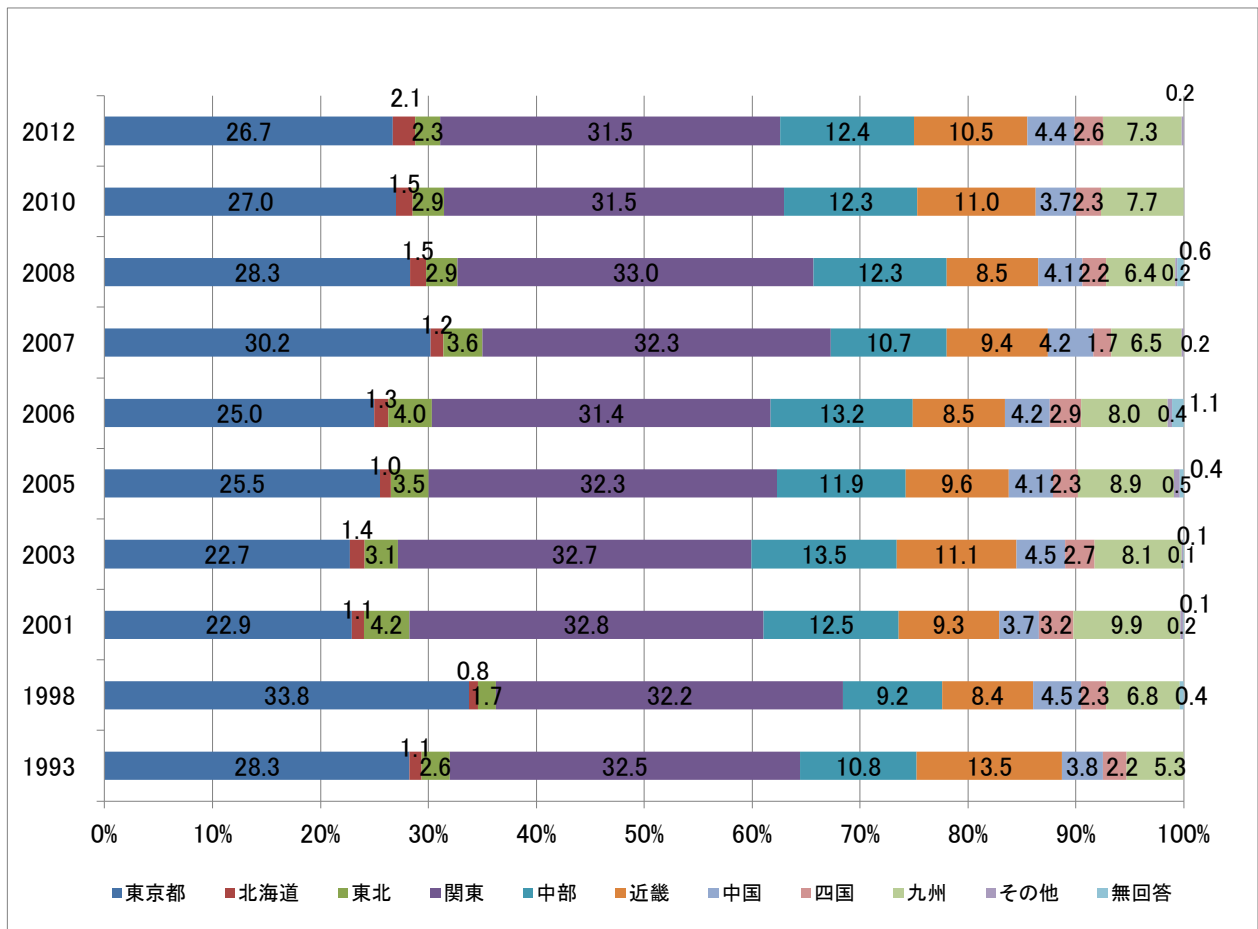


図26 家族の所在地（全体）

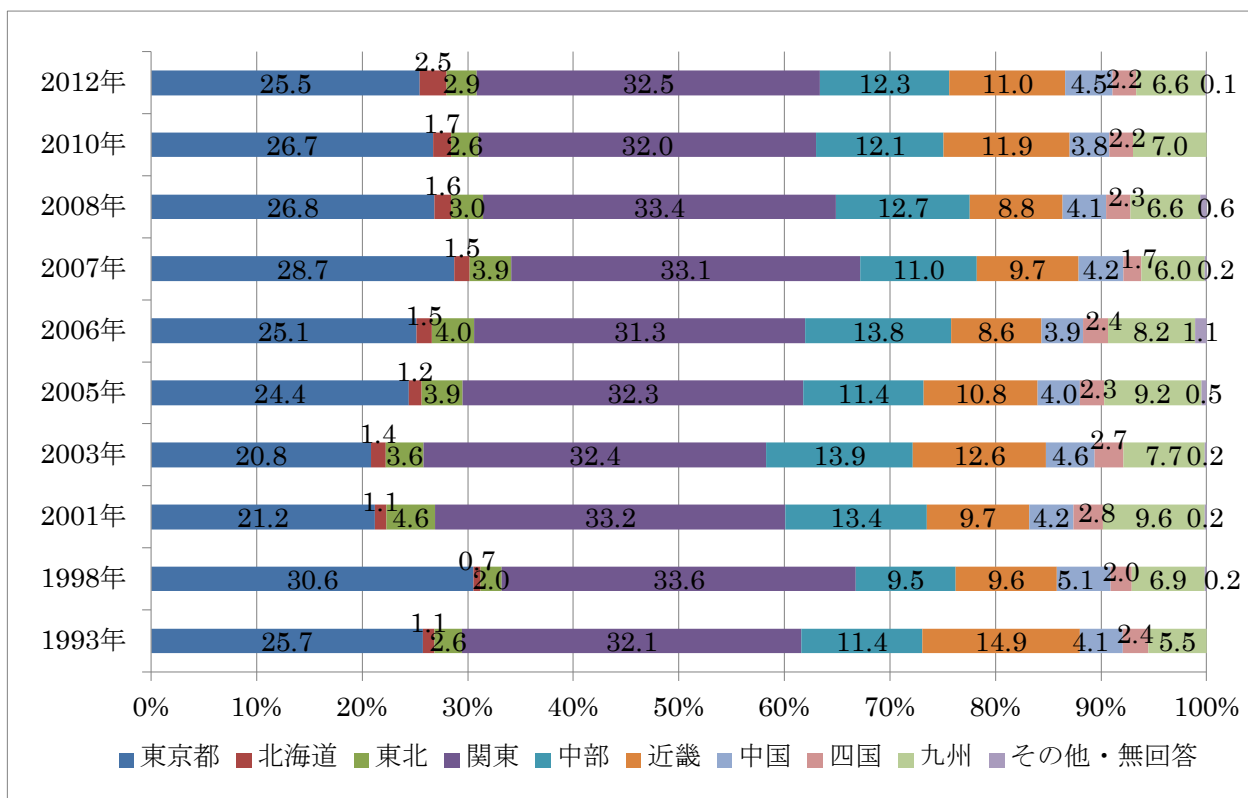


図 27 家庭の所在地（男子学生）

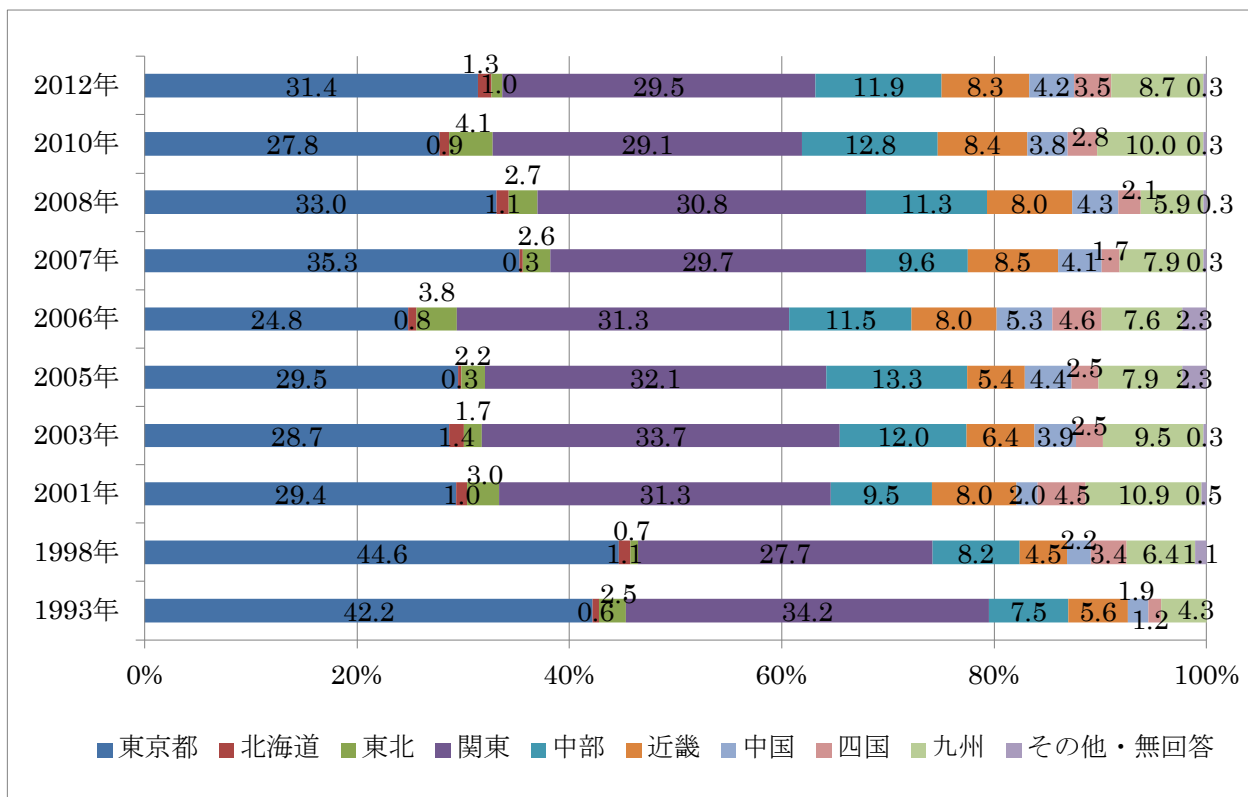


図 28 家庭の所在地（女子学生）



「父」の職業は、「管理的職業」43.4%、「専門的、技術的職業」22.6%、「教育的職業」12.2%で、「母」の職業は、「無職」39.5%、「教育的職業」13.1%、「専門的、技術的職業」10.3%となっている。親の雇用形態は、「父」では、「民間企業に勤務」59.8%、「官公庁に勤務」22.0%、「経営者・役員または人を雇用している」10.5%で、「母」では、「民間企業に勤務」48.2%、「官公庁に勤務」17.9%、「自分一人」30.3%などである（クロス集計表5-4表、5-5表）。

世帯の年収額の分布状況は、「450万円未満」が13.5%（前回16.6%）、「450万円以上750万円未満」が13.8%（前回17.0%）、「750万円以上950万円未満」が15.7%（前回14.7%）、「950万円以上1,050万円未満」が19.4%（前回16.7%）、「1,050万円以上1,250万円未満」が9.4%（前回10.7%）、「1,250万円以上1,550万円未満」が11.1%（前回10.3%）、「1,550万円以上」が17.1%（前回14.1%）となっている。前回調査との比較では、「450万円未満」が16.6%から3.1ポイント減少し、「450万円以上750万円未満」が17.0%から3.2ポイント減少し、「1,550万円以上」では14.1%から3.0ポイント増加している。750万円未満の所得層の割合が減少している反面、1,250万円以上の高所得層がやや増加している（図29、クロス集計表5-7表）。

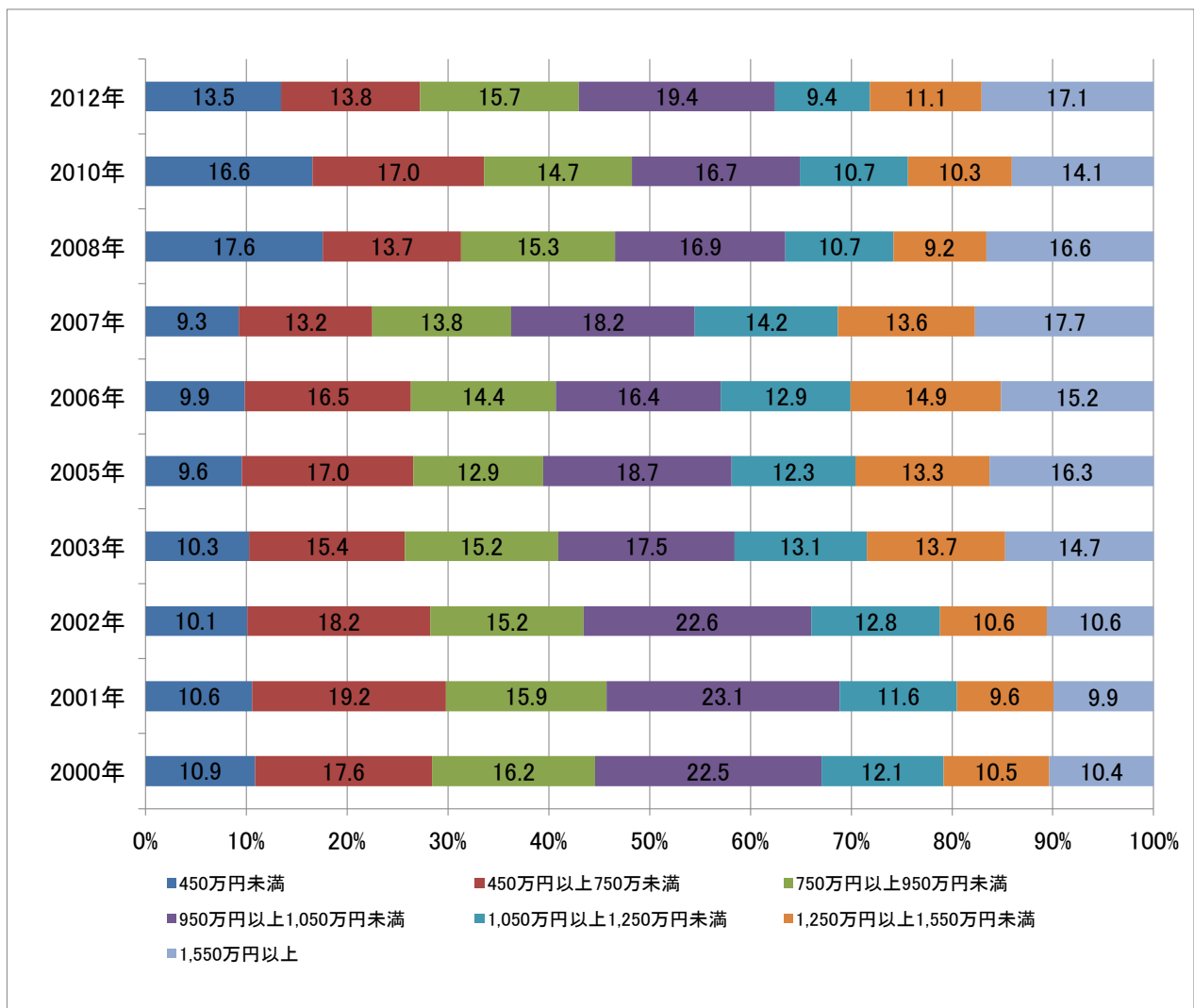


図 29 世帯の年収額分布



図30は、世帯の年収額の分布状況を男女別でみたものである。「450万円未満」が男子で14.4%（前回17.6%）、女子で9.9%（前回11.8%）と差がある。一方で「1,550万円以上」は男子で15.1%（前回12.5%）、女子で23.8%（前回19.7%）とこちらは女子の方が高くなっている。

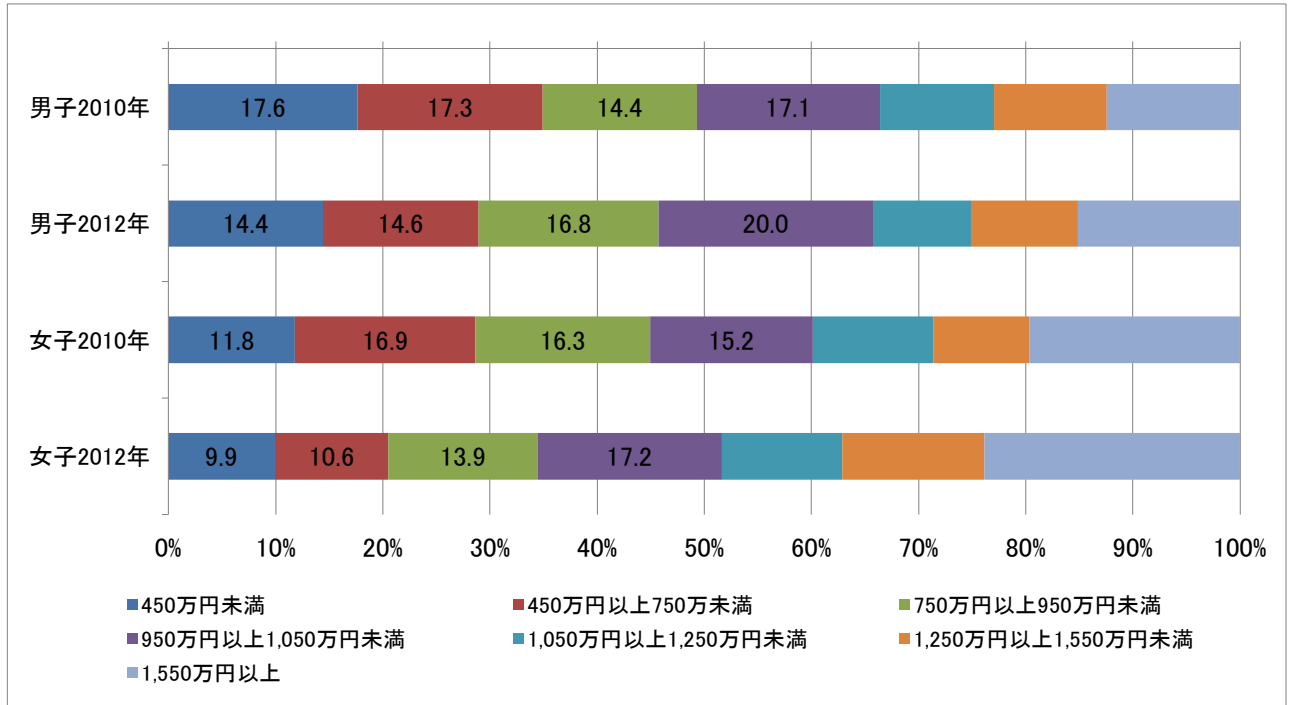


図 30 世帯の年収額分布（男女別）



## 2-2. 生活費の状況

生活費の「支出合計額」は105,300円、「収入合計額」は97,780円  
 「預貯金」は12,040円。男子（10,340円）の方が女子（18,410円）より低い  
 収入は「家庭からの仕送り・小遣い」が6割、「アルバイト・雑収入」が約3割  
 授業料の捻出手段は「家庭からの仕送り」が8割以上で、「奨学金」が5%、「授業料免除」が6.3%

1ヶ月あたりの生活費をみると、「支出合計額」は105,300円（前回107,710円）、「収入合計額」は97,780円（前回104,020円）で、前回（2010年）と比較すると、支出合計額、収入合計額ともやや減少している（円の位で四捨五入している。以下同じ）。

1986年からの変化をみてみると、支出合計は約9～12万円の範囲内にある。大きな傾向として、1980年代後半の収入の増加と、2000年代後半の減少傾向がみられる（図31）。なお、図ではそれぞれの支出合計を単純に合計したものを項目別合計として示した。住居費など、自宅外学生のみ平均額のため、支出合計より項目別合計の方が高くなっている。なお、2007年の住居費は自宅学生だけでなく、全学生の平均とみられるため、他の年より低くなっている。このため、自宅外学生のみ平均額に差し替えたものを推計値として示した。また、2010年から項目積み上げが高くなっているのは、「預貯金」を選択肢に加えたためである。

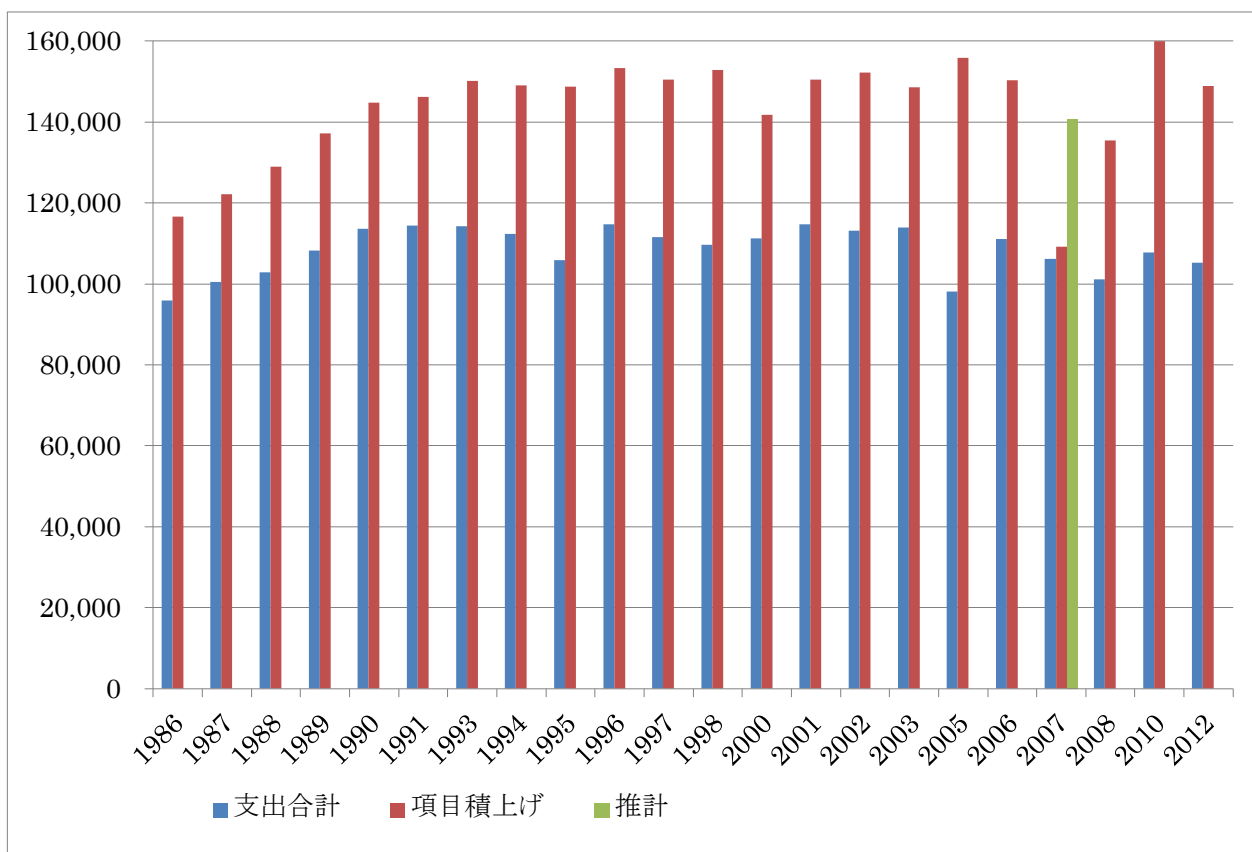


図 31 支出の時系列変化

項目別支出をみると、「住居費」(66,950円)が最も高く、項目別合計額の3分の1を占めている。ただし、これは自宅外学生のみで、自宅学生は支出していない。次いで、「食費」(22,470円)が続く。「預貯金」は12,040円と前回の43,090円から大幅に減少している。「勉学費」(8,100円)や「教養・娯楽費」(14,520円)等の支出額は前回とほとんど変わっていない(図32)。時系列でみると、「住居費」が金額、支出の構成比率とも増加していることが目立つ。他方、「教養・娯楽費」は両者とも減少傾向にある。

「食費」は自宅学生では15,020円だが、自宅外学生では、29,950円と2倍の差がある。「雑費」も同様に、自宅学生では8,520円であるが自宅外学生では14,340円と差がある。逆に「通学費」は自宅外学生は3,660円であるのに対して、自宅学生は8,780円と2倍以上高くなっている。「支出合計」では、自宅学生の66,860円に対して、自宅外学生では143,340円と2倍以上の差がある(クロス集計表6-1-2表)。

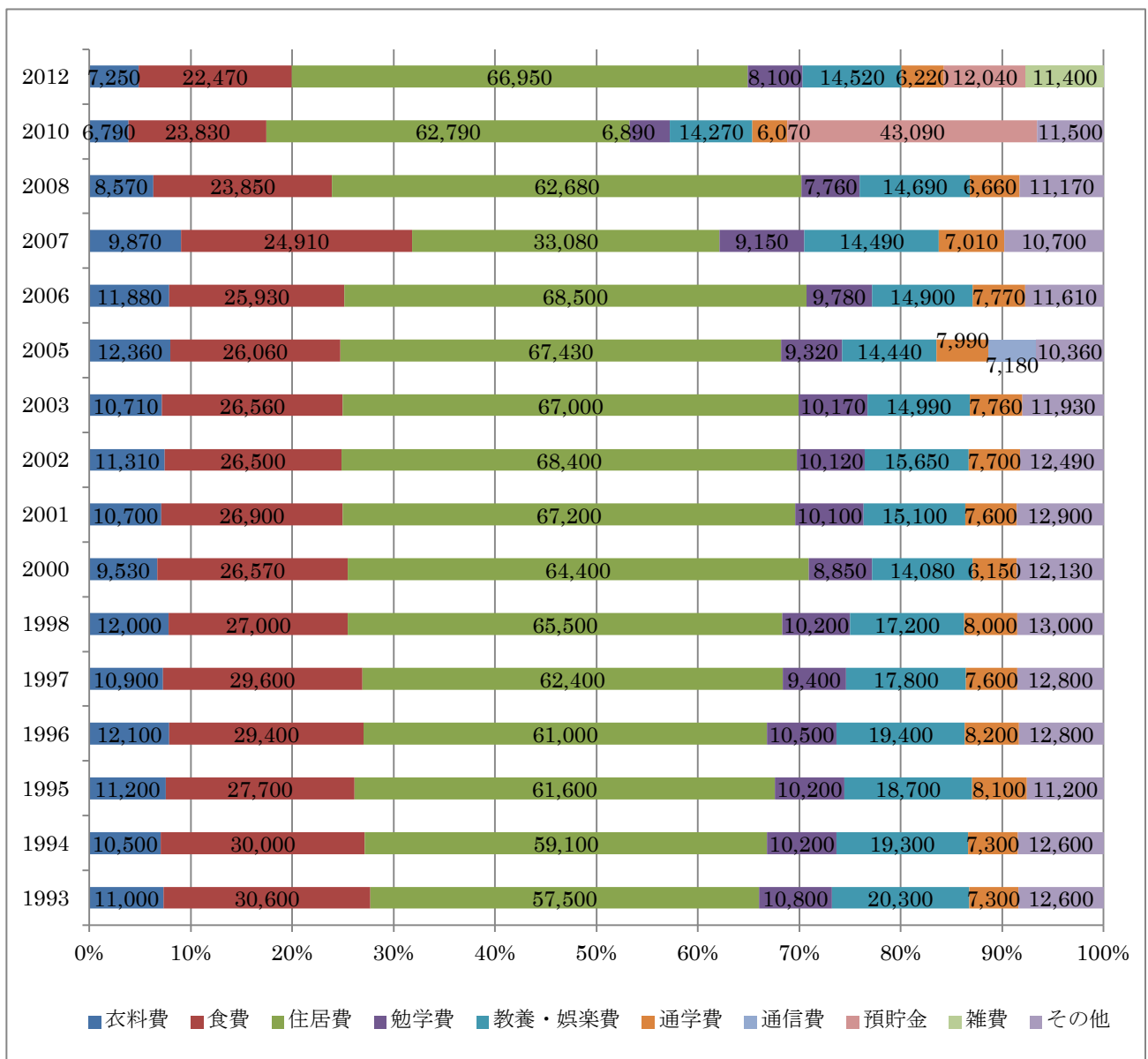


図 32 支出内訳の構成の推移

男女別にみると、「支出合計額」（男子104,380円、女子107,000円）の差は小さいが、それぞれの項目別には差がみられる。男子は「食費」（男子23,280円、女子19,310円）が高く、女子は「預貯金」（男子10,340円、女子18,410円）「衣料費」（男子6,330円、女子10,800円）や「住居費」（男子64,580円、女子76,300円）が高くなっている（クロス集計表6-1-2表）。なお、自宅外学生の比率は男子49.7%に対して女子45.2%であり差がない。（クロス集計表7-2表）。また、学年が上がるほど支出額が増える傾向がみられる（表1）。

表 1 項目別支出(学年別)

単位(千円)									
学年	衣料費	食費	住居費	勉学費	教養・娯楽費	通学費	雑費	預貯金	支出合計
1年	8.11	19.15	59.99	6.33	12.70	6.47	9.66	10.62	91.30
2年	6.68	21.33	65.15	8.38	14.25	7.47	11.07	13.87	101.83
3年	7.04	23.25	69.53	8.24	14.94	5.62	12.07	8.96	107.23
4年	6.86	25.52	69.98	8.94	16.13	5.39	12.42	14.78	118.74
5年	9.85	32.50	77.92	9.90	14.25	3.00	17.15	7.15	132.90
6年	11.20	24.44	81.25	17.37	17.75	9.00	13.00	10.00	124.21
合計	7.26	22.49	66.85	8.09	14.54	6.21	11.40	11.97	105.34

収入を項目別にみても、「家庭からの仕送り・小遣い」（58,390円、前回64,230円）が最も高く、6割を占める。「アルバイト・雑収入」（27,950円、前回31,910円）が約3割、「奨学金」（11,900円、前回15,080円）が約1割で、前回から調査を開始した「ローン・クレジット・借入金」は260円（前回860円）しかない（クロス集計表6-1-3表）。

しかし、支出と同様、この平均額については注意が必要である。「奨学金」は全学生の平均では11,900円であるが、奨学生のみ平均では59,050円となっている。「アルバイト・雑収入」についても、同様にアルバイト従事者についてのみの平均は、33,690円となっている。「ローン・クレジット・借入金」についても該当者のみの平均では、15,350円となっている。2006年までの調査では、項目別収入は、これらの該当者の各項目の平均額の合計を記している。このため2007年以降は、このそれぞれの該当者のみの平均額を計算し、これを合計した推計値を図33に示した。

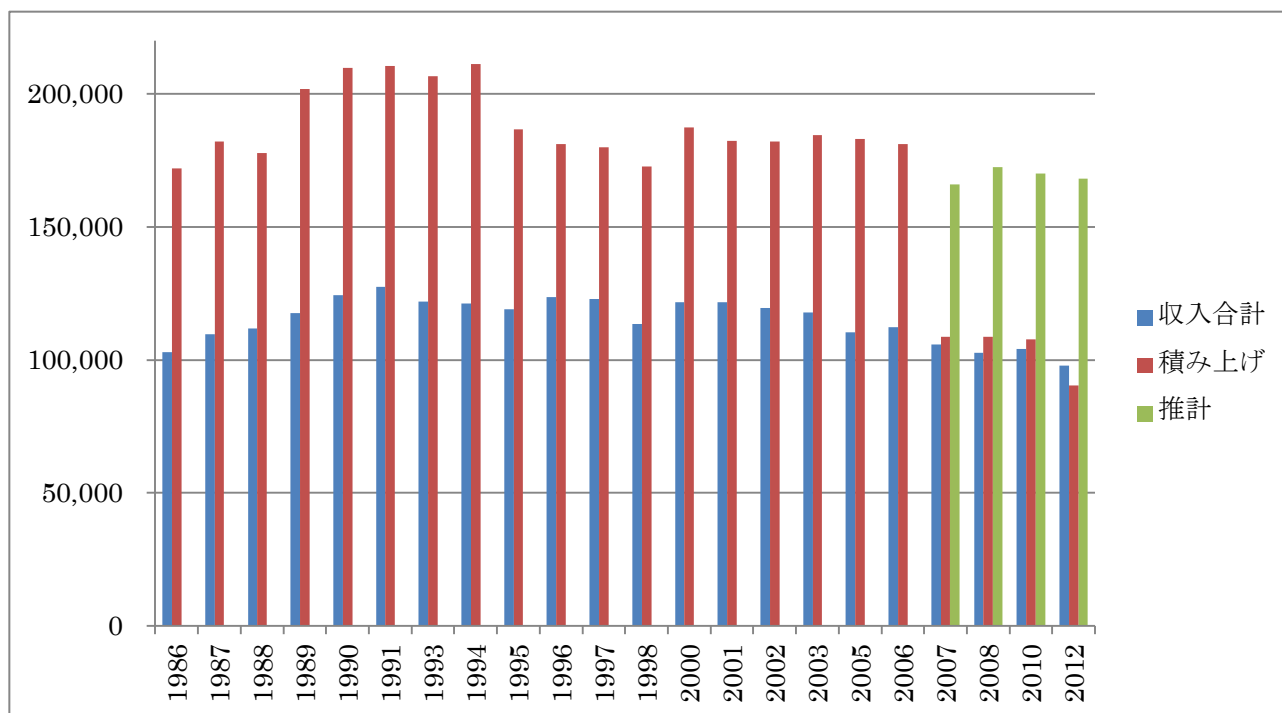


図 33 項目別収入内訳(時系列)

「奨学金」については有意な差はみられないが、「家庭からの仕送り・小遣い」では、アルバイト従事者の平均55,620円に対して、非従事者は70,900円と高くなっている。また、「ローン・クレジット・借入金」は、0円と回答した者を除くと、平均15,350円となっている。最高では50,000円となっている。「家庭からの仕送り・小遣い」は、自宅学生の23,920円に対して、自宅外学生は93,310円と3倍以上の差がある。また、「奨学金」についても自宅学生の3,940円に対して、自宅外学生は19,750円と高くなっている。しかし、「アルバイト」は自宅学生の31,150円に対して、自宅外学生は24,320円と自宅学生の方がやや高くなっている。「収入合計」では、自宅学生の57,870円に対して、自宅外学生は137,780円となっている。いずれの数値も前回に比べて大幅に減っている（クロス集計表6-1-3表）。

最も金額の高い「家庭からの仕送り・小遣い」は、1年生では48,770円だが、4年生では67,410円と、6年生を除き学年が上がるほど高くなる傾向がみられる（表2）。

表 2 項目別収入(学年別)

学年	単位(千円)					
	仕送・小遣い	奨学金	アルバイト・雑収入	ローン・クレジット・借入金	その他の収入	収入合計
1年	48.77	10.49	21.28	0.28	1.25	79.32
2年	55.92	9.38	33.23	0.32	0.50	97.68
3年	61.54	12.37	28.30	0.16	1.54	102.70
4年	67.41	15.01	28.27	0.26	3.52	110.13
5年	74.89	11.58	34.16	0.00	7.78	128.00
6年	40.27	25.87	36.00	0.00	0.00	102.85
合計	58.46	11.98	27.87	0.25	1.80	97.85

「授業料はどのように負担しているか」をたずねた結果は、87.1%（前回81.0%）が「家庭からの仕送り」と回答し、次いで「奨学金」（5.0%、前回7.4%）となっている。「全額授業料免除」（5.0%、前回5.2%）、「半額授業料免除」（1.3%、前回1.7%）を合わせて6.3%が授業料免除を受けている（クロス集計表6-2表）。



## 2-3. 通学・住居

現住所は、東京都が73.1%、自宅が50.9%

片道の通学所要時間は、平均46.6分で、減少傾向

自宅学生でも学寮・学生宿舎等を作れば「入居する」が14.2%、「入居費による」が44.8%

調査回答者のうち、現住所の分布は、東京都73.1%（23区61.0%、23区外12.1%）、神奈川県14.3%、千葉県4.9%、埼玉県6.7%となっている（クロス集計表7-1表）。

居住形態は、「自宅」が50.9%（男子50.3%、女子54.8%）、「自宅外」が49.1%（男子49.7%、女子45.2%）となっていて、有意な差はない（クロス集計表7-2表）。

自宅外学生の住居の区分は、例年同様に「賃貸マンション・アパート（バスつき）」の割合が69.3%と最も高く、ついで「その他の寮」が11.2%である。前回とほとんど差はない（クロス集計表7-3表）。

「通学に利用している交通機関」では、「電車」72.5%、「自転車」19.5%、「徒歩のみ」7.3%、「バス」0.7%と続いている。これも前回とほとんど同じ傾向である（クロス集計表7-5表）。

通学所要時間は、片道平均46.6分で、前回と同じであるが、近年の動向をみると1995年に55.7分と最も長かったが、その後はおよそ減少傾向になっている（図34）。自宅外学生の通学所要時間は、27.9分であるのに対して、自宅学生は64.9分と2倍以上通学に時間を要している（クロス集計表7-6表）。

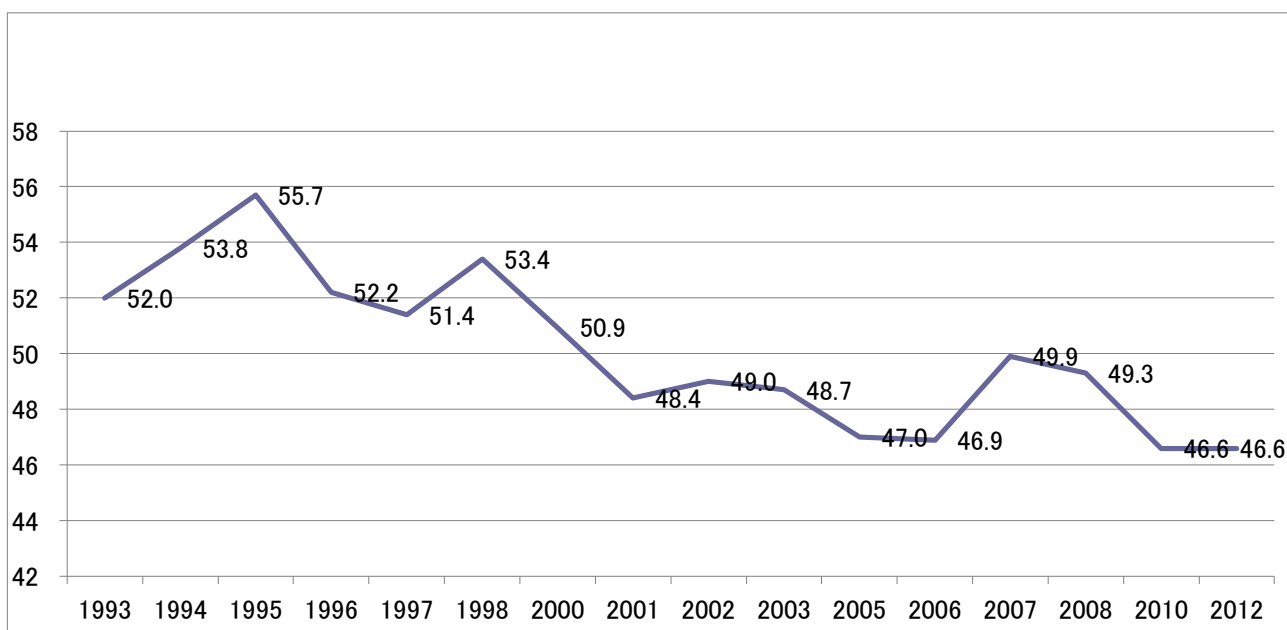


図34 通学所要時間（片道）（単位：分）



前々回調査から設けられた、「学寮・学生宿舎等を作れば、あなたは入居しますか」との質問に対し、図35に示すように、自宅外学生では「入居する」が24.3%に対して、「入居費による」が23.7%、「入居しない」が38.6%である。「入居する」と「入居費による」と答えた学生を合わせて48.0%となっている。これは前回の62.8%より大幅に減少している。逆に自宅学生では「入居する」が14.2%（前回7.5%）、「入居費による」が44.8%（前回32.6%）で、合計すると59.0%（前回40.1%）の学生が適当な学寮・学生宿舎があれば入居したいと思っており、その比率は前回よりも大幅に高くなっている。

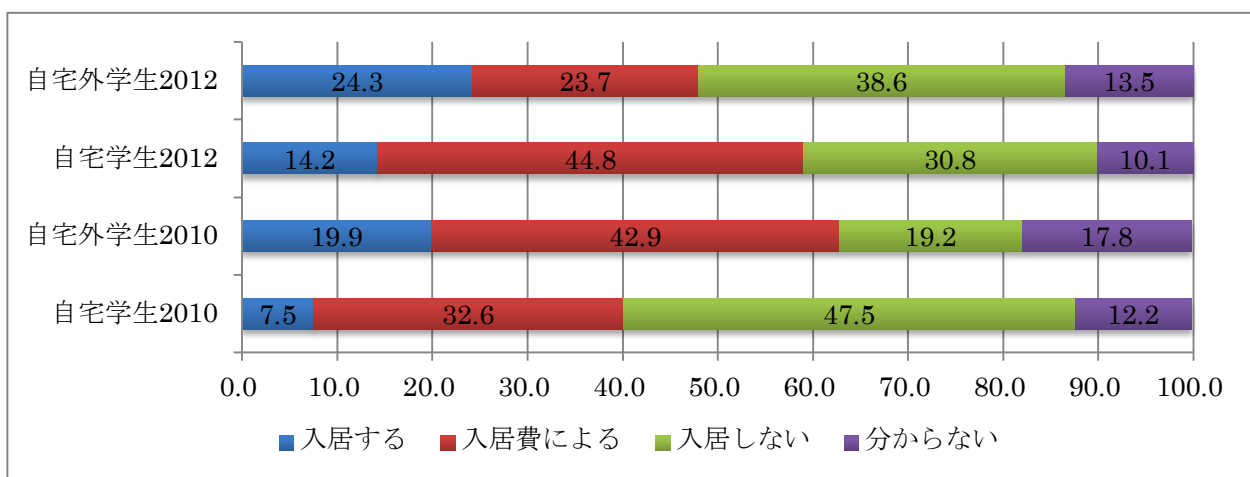


図 35 学寮・学生宿舎に入居希望(外側:自宅外学生、内側:自宅学生)



## 2-4. 生活時間

最も高い割合を示しているのは、「授業・実験の出席時間」は「21～25時間」(20.5%)

「授業・実験の課題、準備・復習」は「1～5時間」(42.7%)

「卒業研究・実験・卒論」(該当者のみ)は「31時間以上」(38.3%)

「サークル・クラブ活動」は「0時間」(29.1%)

「アルバイト・仕事」は「0時間」(32.9%)

日本の大学生の授業以外の学修時間がアメリカの大学生に比べて少ないことが問題となっている。しかし、これまで「学生生活実態調査」では、生活時間を調査したことはなかった。今回初めて、「典型的な1週間の平均的な生活時間を、学期中と休暇中について伺います。」として、学生の生活時間を調査した。その結果は、学期中については、「授業・実験の出席時間」は「21～25時間」が20.5%と最も高い割合となっており、次いで「16～20時間」の16.9%、「11～15時間」の14.7%などとなっている。「授業・実験の課題、準備・復習」については、「1～5時間」が42.7%と最も高く、次いで、「6～10時間」の25.8%となっており、授業以外の学修時間は多いとは言い難い。これに対して、「卒業研究・実験・卒論」については、該当者のみであるが、「31時間以上」が38.3%と3分の1以上を占めている。ただし、次いで「6～10時間」が12.8%となっている。「授業とは関係のない学修」については、「1～5時間」が40.5%と最も高く、次いで、「0時間」が34.0%と3分の1以上で、合わせて74.5%と約4分の3が5時間以下となっており、授業以外の学修時間は少ないことがここでも示されている(図36、クロス集計表1-12表)。

「サークル・クラブ活動」については、「0時間」が29.1%と最も多く、次いで「1～5時間」が26.9%、「6～10時間」が18.8%となっている。これは該当者以外の全員を含んだ数字である(図36、クロス集計表1-12表)。

そこで、「サークル・クラブ活動」が「0時間」と回答した学生及び「無回答」の学生(30.6%)を除いて集計する。サークル・クラブ活動をしている学生では、「1～5時間」が37.9%、「6～10時間」が26.5%、「11～15時間」が18.3%となり、9割以上の学生が15時間以下、約3分の2の学生が10時間以下となっている。

「アルバイト・仕事」についても、「0時間」が32.9%、「1～5時間」が29.7%、「6～10時間」が21.7%などとなっており、「0時間」が最も高い割合となっている。「サークル・クラブ活動」と同じように、これは該当者以外の全員を含んだ数字である。(図36、クロス集計表1-12表)。

そこで、「アルバイト・仕事」が「0時間」と回答した学生及び「無回答」の学生(34.3%)を除いて集計する。アルバイト・仕事をしている学生では、「1～5時間」が44.3%、「6～10時間」が32.4%、「11～15時間」が14.2%となり、9割以上の学生が15時間以下、約4分の3の学生が10時間以下となっている。「31時間以上」の長時間労働をしている学生は、1.0%に過ぎない。





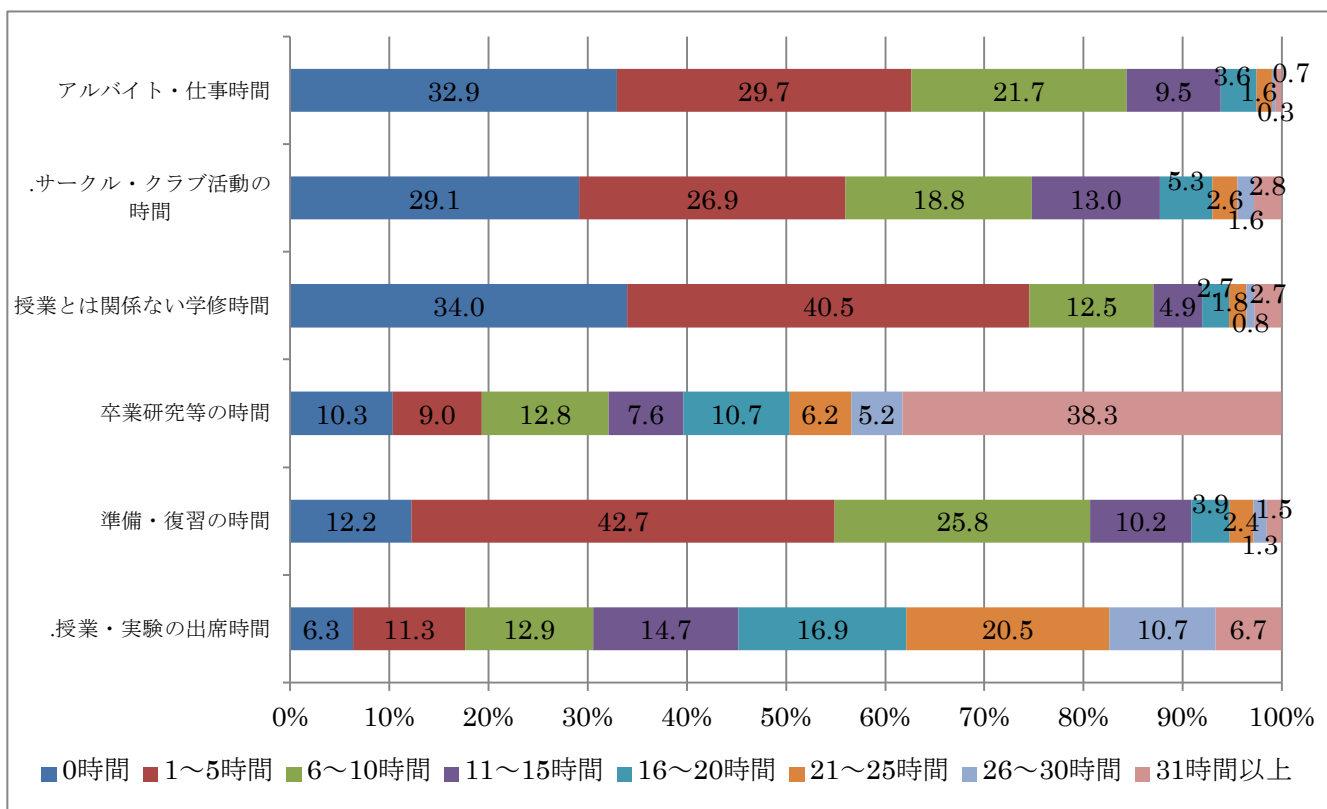


図 36 生活時間(学期中)

男女別にはあまり大きな差は見られない。上記の回答のそれぞれ中位値（例「1～5時間」では3時間、ただし「31時間以上」は35時間とした）をとり、その平均を見ると、「授業とは関係のない学修」が男子5.1時間、女子3.7時間と、「サークル・クラブ活動」男子7.3時間、女子5.9時間と、いずれも男子の方が長くなっている。「卒業研究・実験・卒論」では男子20.6時間、女子17.3時間となっているが、有意な差ではない（図37）。

文科系理科系別では、「授業・実験の出席時間」は文科系14.2時間、理科系18.0時間、「卒業研究・実験・卒論」は文科系10.7時間、理科系25.3時間といずれも理科系の方が長くなっている。これに対して、「授業とは関係のない学修」は文科系6.1時間に対して理科系4.0時間、「アルバイト・仕事」は文科系5.9時間、理科系4.7時間と文科系の方が長くなっている（図38）。

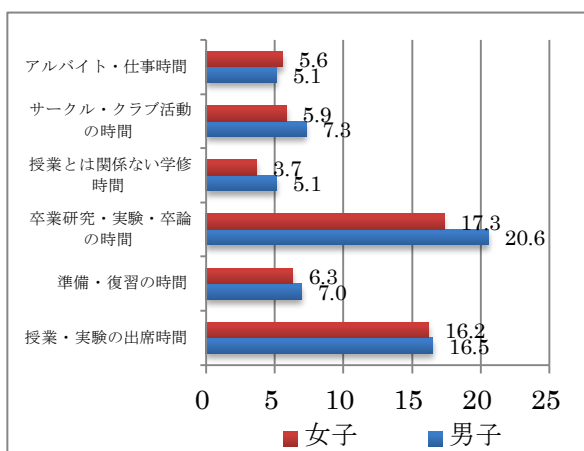


図 37 生活時間(男女別)

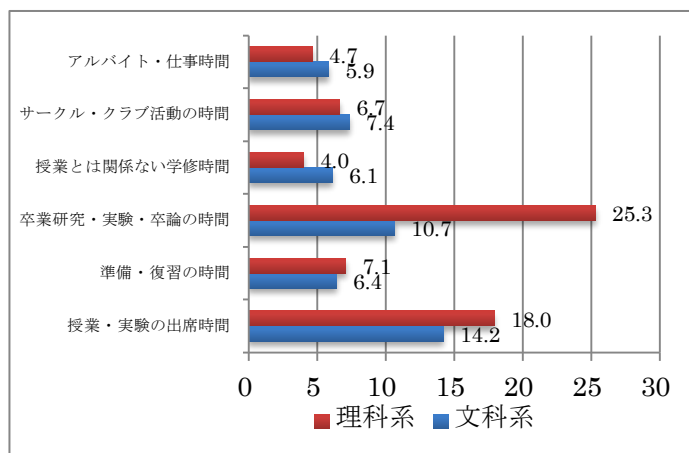


図 38 生活時間(文科系理科系別)

休暇中の生活時間については、「学修時間」は「1～5時間」が39.3%と最も高い割合を占めている。「サークル・クラブ活動」については、「0時間」が29.9%と最も高い割合を占め、次いで「1～5時間」の22.0%となっている。また、「アルバイト・仕事」については、「0時間」が33.3%と最も高い割合を占め、次いで「1～5時間」が23.9%となっている。このように、「サークル・クラブ活動」「アルバイト・仕事」いずれの項目も、「0時間」が最も高い割合で、「1～5時間」がそれに次いでいる（図39）。アルバイトについて、「0時間」を除くと、「1～5時間」が35.8%と最も高い割合となる。同様に「サークル・クラブ活動」についても、「0時間」を除くと、「1～5時間」が31.3%と最も高い割合となる。

先の学期中と同じように、平均時間を計算すると男女別で有意な差が見られるのは、「休暇中のサークル・クラブ活動」で男子8.7時間、女子6.8時間と男子の方が0.9時間長くなっている。文科系理科系別では、「休暇中の学修時間」が文科系10.0時間、理科系8.8時間と文科系の方が長く、「休暇中のアルバイト・仕事」についても文科系7.2時間、理科系6.1時間と文科系の方が長くなっている。

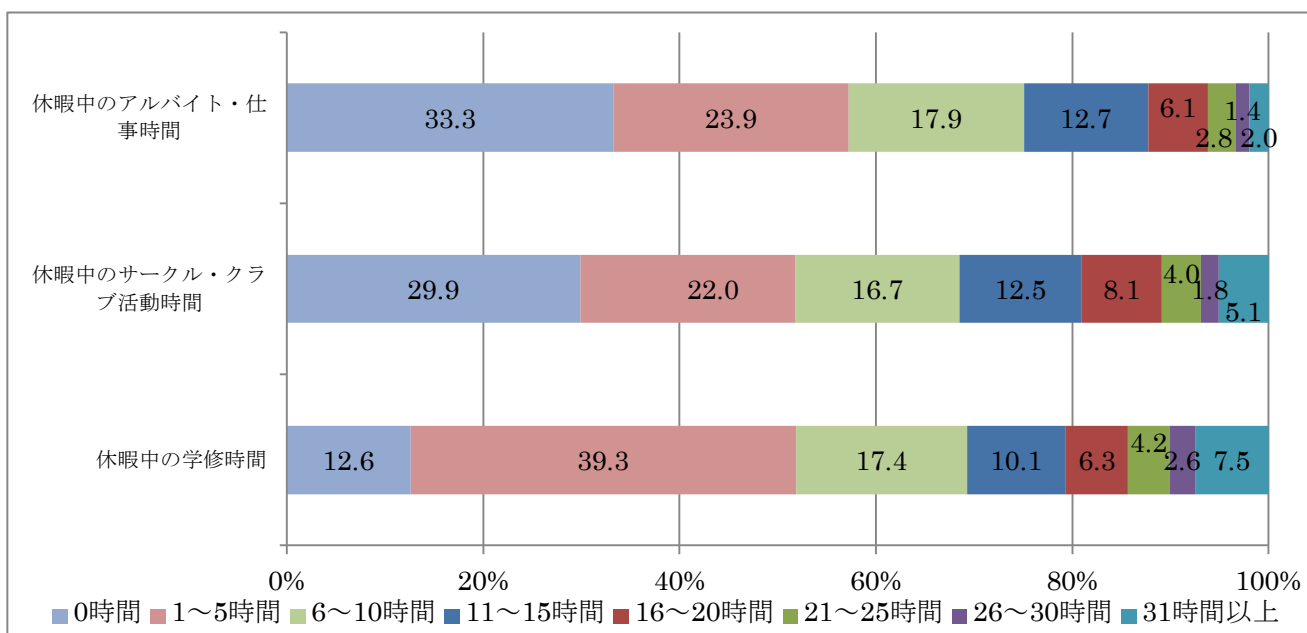


図 39 生活時間(休暇中)



## 2-5. 奨学金

なんらかの奨学金を受給している学生は19.1%  
 奨学金を受給していない理由は「受ける必要がない」が約6割

なんらかの奨学金を「受けている」と答えた学生の割合は19.1%で、前回調査（22.7%）よりやや減少の傾向がみられる。ただし、この質問は、前回までと選択肢が異なるため、厳密な比較はできない。2010年までの動向をみると、奨学金を「受けている」学生の比率がやや増加し、「受けたいが受けられなかった」ケースが減少し、奨学金が受けやすくなっている。また「受ける必要はない」は、長期的には増加傾向にあるが、ここ数年は殆ど変化がない（図40）。

奨学金の受給は、主に家計所得と学業成績により決定される。本調査では、学業成績についてたずねていないので学業成績についてはこれ以上分析できないが、家計所得に関しては、男女別に有意な差は見られない。

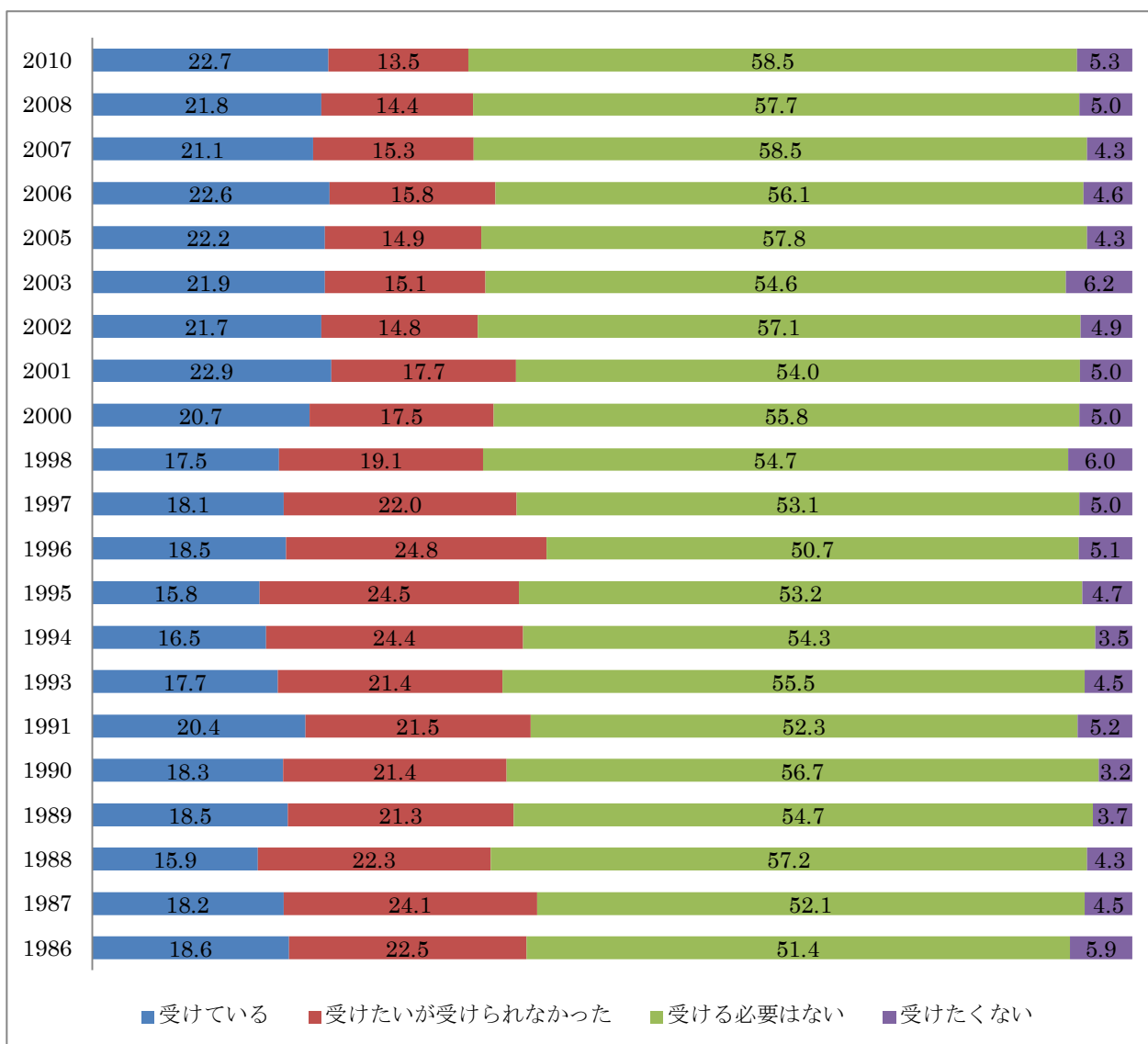


図 40 奨学金受給状況（2010年まで）

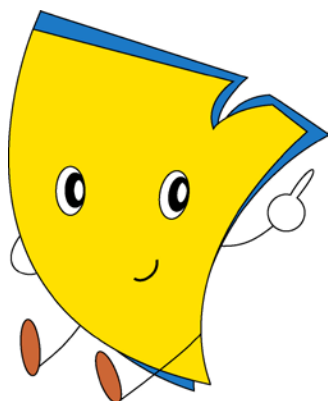
（注）2012年は、質問項目が異なるため、掲載していない。

今回から奨学金を受けていない学生に対して、その理由をたずねている。「日本学生支援機構奨学金」について、最も高い比率を示したのは、「受ける必要がない」(58.5%)、次いで、「貸与なので申請しなかった」(15.9%)、「出願資格がない」(13.0%)、「事務手続きが煩雑だから申請しなかった」(4.2%)となっている。男女別に有意な差はみられない。同様に、「日本学生支援機構以外の奨学金」について、最も高い比率を示したのは、「受ける必要がない」(60.5%)、次いで、「出願資格がない」(12.9%)、「貸与なので申請しなかった」(11.5%)、「事務手続きが煩雑だから申請しなかった」(4.7%)となっている。日本学生支援機構奨学金もそれ以外の奨学金も受けていない理由にはほとんど差がなく、「受ける必要がない」が約6割となっている。男女別に有意な差はみられない(クロス集計表8-2表、8-6表)。

日本学生支援機構奨学金を受けていない学生で、上記の理由について「貸与なので申請しなかった」(15.9%)と「書類を期限までに整えられなかった」(1.2%)と答えた学生に、「これから奨学金を受けたいと思いますか」とたずねたのに対し、「受けたい」と答えた学生(42.7%)の方が「受けたくない」と答えた学生(57.3%)より少ない。同様に、日本学生支援機構以外の奨学金を受けていない学生で、上記の理由について「貸与なので申請しなかった」(11.5%)と「書類を期限までに整えられなかった」(0.8%)と答えた学生に、「これから奨学金を受けたいと思いますか」とたずねたのに対し、「受けたい」と答えた学生(42.4%)の方が「受けたくない」と答えた学生(57.6%)より少ない。この質問項目についても、日本学生支援機構奨学金とそれ以外の奨学金でほとんど差はみられない(クロス集計表8-3表、8-7表)。

利用している奨学金の内訳は、「日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)」が9.0%であり、「同機構第二種奨学金(有利子)」が7.3%であった。一方、その他の「公益法人等地方公共団体の奨学金」を利用している学生は5.3%であった。また、「大学独自の奨学金(学内奨学金)」は0.5%となっている。この合計が上記の何らかの奨学金を受けている学生の比率と一致しないのは、1人で複数の奨学金を受けている学生が2.8%いるためである。利用学生の圧倒的多数が日本学生支援機構から貸与を受けていることは、これまでの傾向と変わらない(クロス集計表8-1表、8-5表)。

「日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)」を受ける学生のうち、女子(6.1%)の方が男子(10.3%)より受給率が低い。同様に「同機構第二種奨学金(有利子)」を受ける学生のうち、女子(4.5%)の方が男子(8.3%)より少ない。これは前回には「日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)」は女子の受給率の方が高かったこととは異なる結果である(クロス集計表8-1表)。



奨学金がどんな面で役に立っているのか（2つまで選択）という点については、日本学生支援機構奨学金受給者については、「家庭の経済的負担が軽減される」44.7%、「奨学金があるので生活が成り立っている」21.7%、「多少ともゆとりのある生活ができる」13.9%、「アルバイトが軽減される」10.9%、「定期的な収入になるので助かる」8.0%の順になっている。

日本学生支援機構奨学金以外の奨学金受給者については、「家庭の経済的負担が軽減される」41.9%、「奨学金があるので生活が成り立っている」23.0%、「多少ともゆとりのある生活ができる」12.2%、「アルバイトが軽減される」12.8%、「定期的な収入になるので助かる」8.8%の順になっている。日本学生支援機構奨学金とその他の奨学金でほとんど変わらず、奨学金の主な用途は家計負担の軽減であることが分かる。

日本学生支援機構奨学金受給者については、男女別に有意な差はみられない。「日本学生支援機構以外の奨学金」について男女別には「多少ともゆとりのある生活ができる」で男子9.3%に対して女子21.9%と2倍以上高くなっているのが目立つ。それ以外の項目について、男女別に有意な差はみられない（クロス集計表8-4表、8-8表）。

特に日本学生支援機構奨学金もそれ以外の奨学金受給者も「奨学金があるので生活が成り立っている」について、所得階層による明確な差がある（図41）。それ以外の項目では有意な差はみられず、「家庭の経済的負担が軽減される」や「アルバイトが軽減される」についても所得階層差がないことが注目される。

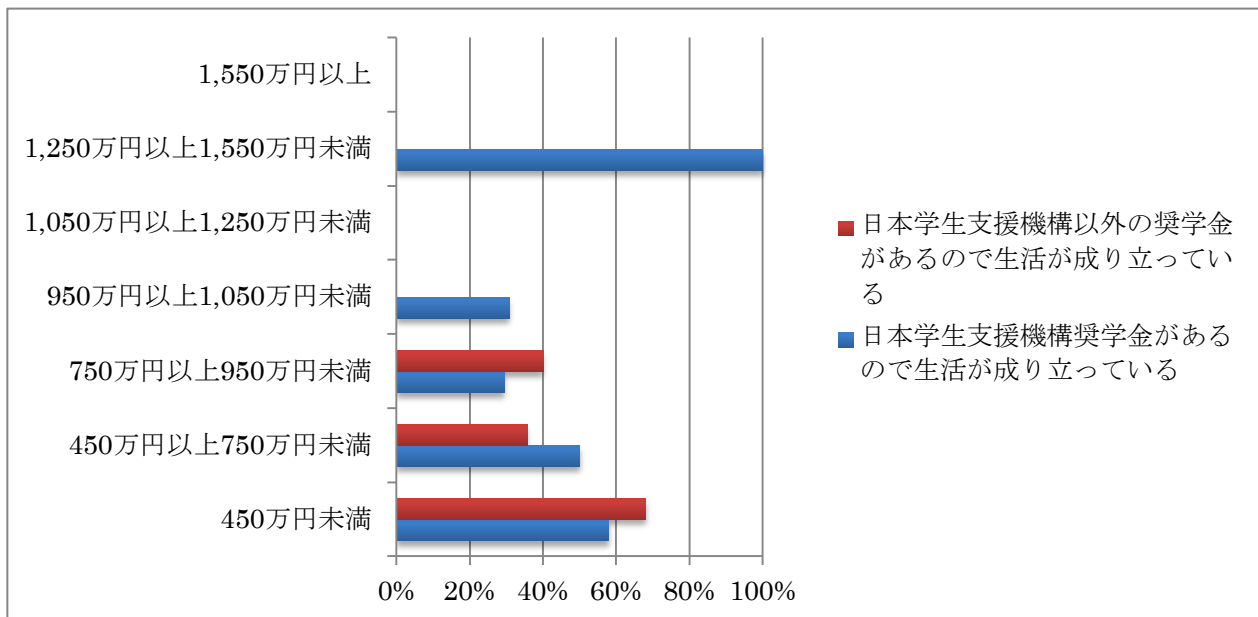


図 41 「奨学金があるので生活が成り立っている」所得階層別

(注)「日本学生支援機構奨学金があるので生活が成り立っている」と回答した学生のうち、年収1,250万円以上1,550万円未満の者は1名

## 授業料減免

授業料減免の有無を直接たずねた質問はないが、「大学の授業料はどのように負担していますか」という質問の選択肢に「全額授業料免除」と「半額授業料免除」があるので、これを授業料減免の有無をみるために用いる。あくまで近似的な推定であり、授業料減免の状況を正確に捉えているものではない点に注意したい。

授業料減免の基準は、平成20年度から開始された世帯給与収入400万円以下だけでなく、従来の基準（特別控除などを含む）も併用されているため、年収400万円を超える場合でも受給資格がある学生もいる。この点に留意してみると、図42のように、年収550万円以上の所得階層では、授業料減免を受けている学生は皆無で、全額免除は低所得層ほど高い比率となっていて、350万円未満では57.6%が全額免除を受けている。また、350万円から450万円未満でも25.0%が全額免除を受けている。これに対して、450万円から550万円未満では2.9%にすぎない。また、半額免除は350万円未満では7.6%、350万円から450万円未満では16.7%と350万円から450万円未満の層の方が高くなっている。しかし、全体として授業料減免を受けている学生の比率は、所得が低いほど高くなっている（図42）。男女別に有意な差はみられない。

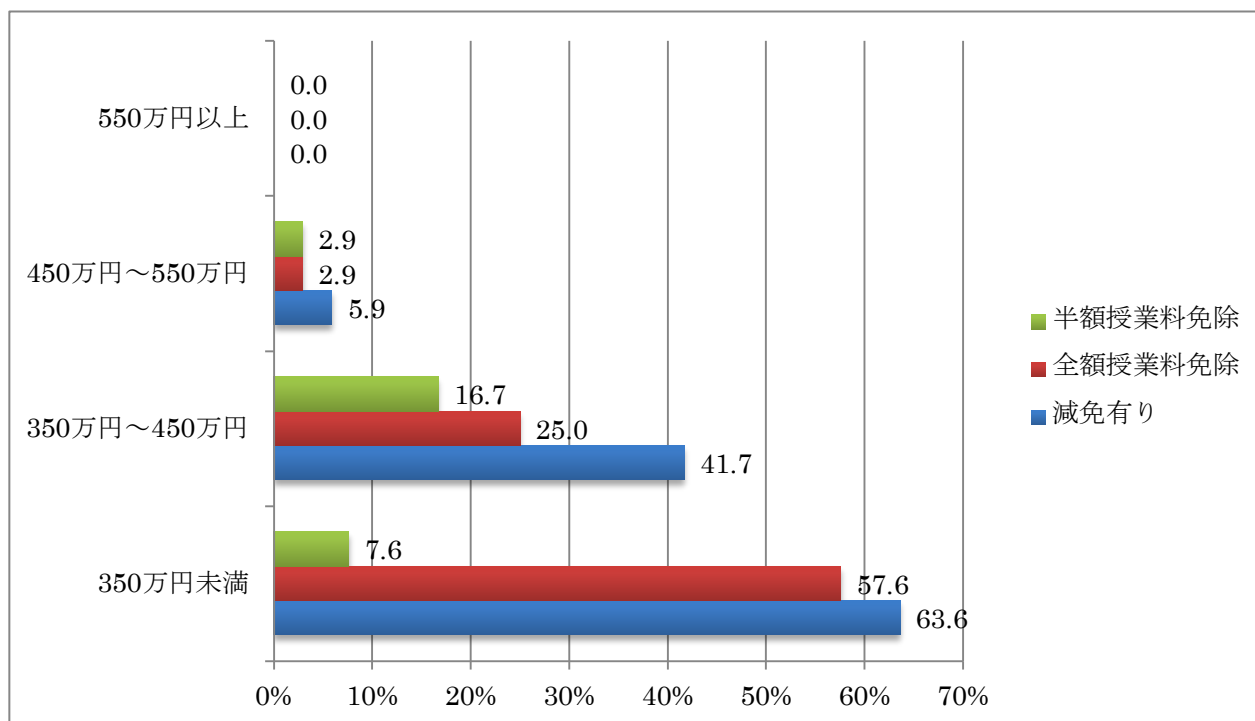


図 42 授業料の減免

授業料減免と奨学金受給の関連をみると、減免を受けている学生のうち奨学金を受給している学生の比率は「日本学生支援機構第一種奨学金」が40.9%、「日本学生支援機構第二種奨学金」が12.9%と高くなっている。また、授業料の減免を受けている学生のうち、「公益法人等・地方公共団体等の奨学金」の受給者の割合は25.8%、「大学独自の奨学金（学内奨学金）」の受給者の割合は、5.4%といずれも、授業料の減免を受けていない学生よりかなり高い比率となっている。なお、授業料減免と日本学生支援機構奨学金の両方を受けている学生は全体の3.3%、授業料減免とそれ以外の奨学金の両方を受けている学生は1.9%と、全体に占める比率は低い。

## 2-6. アルバイト

アルバイトをしている学生が81.0%、「塾講師」、「家庭教師」が多い  
 アルバイト収入の用途としては、「学生生活を楽しむため」が34.6%、「生活費」が31.7%  
 週に9.7時間、月額で40,040円

アルバイトをしていると回答した学生は、全体で81.0%（「継続的（1ヶ月以上）」54.5%、「臨時（1ヶ月未満）」12.0%、「継続的+臨時」14.5%）である。前回調査との比較では全体で0.9ポイントの増加、「継続的」で0.7ポイントの増加、「臨時」で0.9ポイントの増加、「継続的+臨時」で0.7ポイントの減少となっている。ただし、全体の傾向としては、ほとんど変化はない（図43）。

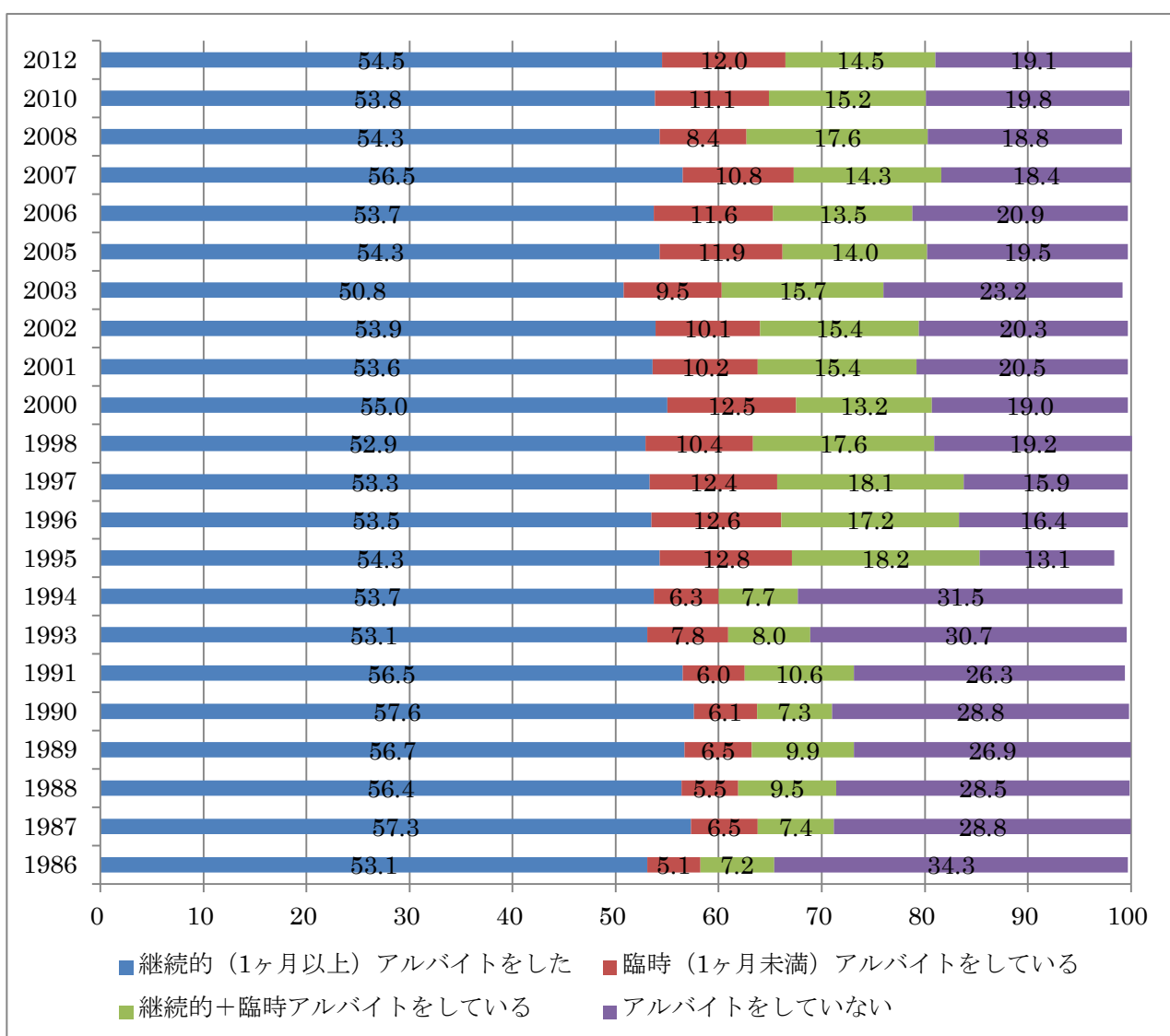


図 43 過去1年間のアルバイト経験

男女別では、「継続的（1ヶ月以上）」は男子 53.1%、女子 58.6%で女子が高く、「臨時（1ヶ月未満）」は男子 12.2%、女子 9.4%と男子が高くなっている。「継続的+臨時」は男子 13.4%、女子 19.7%で、合わせると男子 78.7%、女子 87.7%で女子の方が高くなっている（図 44、クロス集計表 9-1 表）。

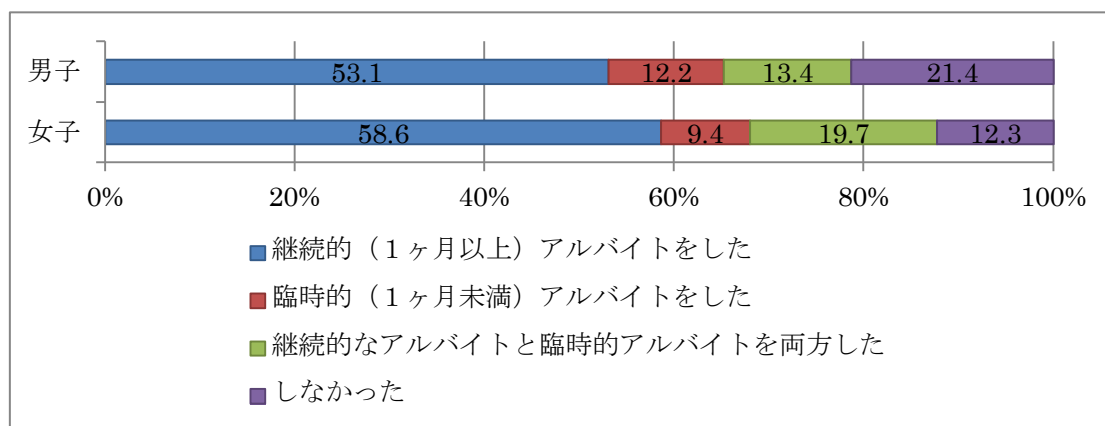


図 44 過去 1 年間のアルバイト経験(男女別)

アルバイトの種類は、全体で「塾講師」30.3%（前回27.8%）、「家庭教師」18.9%（前回23.5%）、「販売・セールス・サービス業」12.8%（前回13.3%）、「試験監督・採点」15.8%（前回11.7%）が上位となっている。男女別にみると、男子の場合は「単純労働」（男子8.2%、女子4.9%）、「試験監督・採点」（男子16.8%、女子12.5%）が女子より高い比率を示しており、女子では「家庭教師」（男子17.9%、女子21.0%）、「販売・セールス・サービス業」（男子11.3%、女子18.9%）が男子より高い比率を示している（クロス集計表 9-2 表）。

アルバイトの従事時間数は1週間あたり 9.7 時間（前回 11.4 時間）、1ヶ月あたりの収入額 40,040 円（前回 43,100 円）である。前回調査と比べると、時間で週あたり約 1.7 時間、収入では月額 3,060 円の減少となっている。なお、近年の動向をみると、時間は今回を除いてほとんど横ばいであるが、収入は 2006 年の 48,840 円をピークに、減少傾向である（図 45、図 46）。

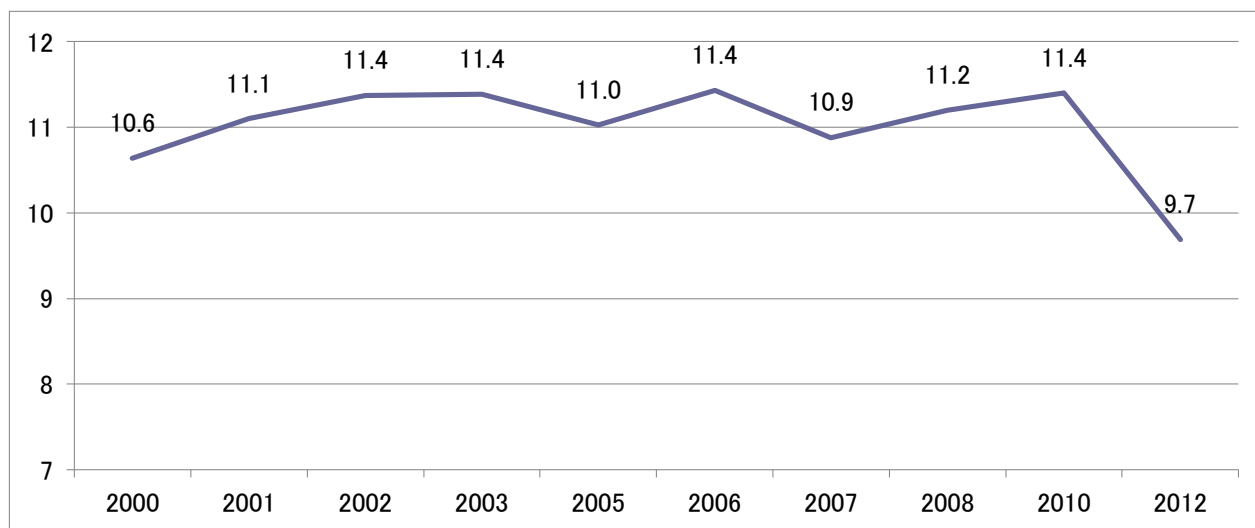


図 45 アルバイトに費やす時間（1週間当たりの平均時間）



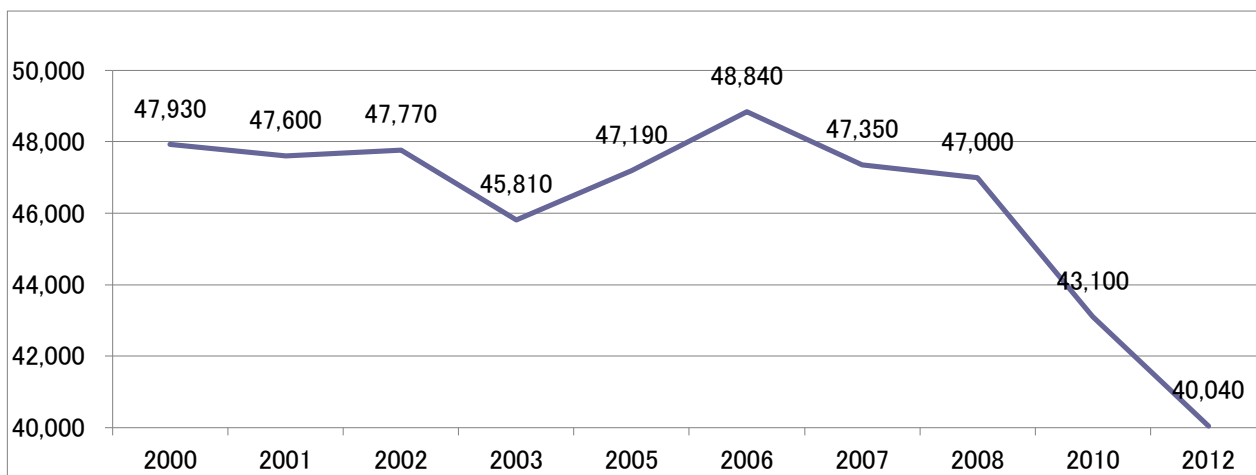


図 46 アルバイトの収入額（1ヶ月あたりの平均額）

アルバイトをした理由では、「学生生活を楽しむため」34.6%（前回33.0%）をあげている学生が最も多く、前回最も高かった「生活費を稼ぐため」31.7%（前回37.8%）と入れ替わっている。次いで、「社会経験のため」25.2%（前回23.4%）、「学費を稼ぐため」5.2%（前回2.2%）となっている。男女別では、「生活費を稼ぐため」が男子32.4%、女子28.7%と、男子の割合がやや高く、「社会経験のため」が男子23.6%、女子32.5%と女子の比率が高くなっている（クロス集計表9-4表）。文科系理科系別では「学生生活を楽しむため」が文科系30.3%、理科系37.7%と、理科系の割合がやや高く、逆に、「社会経験のため」が文科系29.5%、理科系21.9%と文科系の比率が高くなっている。

また、所得階層別にみると、「生活費を稼ぐため」は低所得層ほど高い傾向を示すのに対して、「学生生活を楽しむため」は、高所得層ほど高い傾向を示しており、アルバイトの目的に所得階層によって大きな差があることがわかる（図47）。

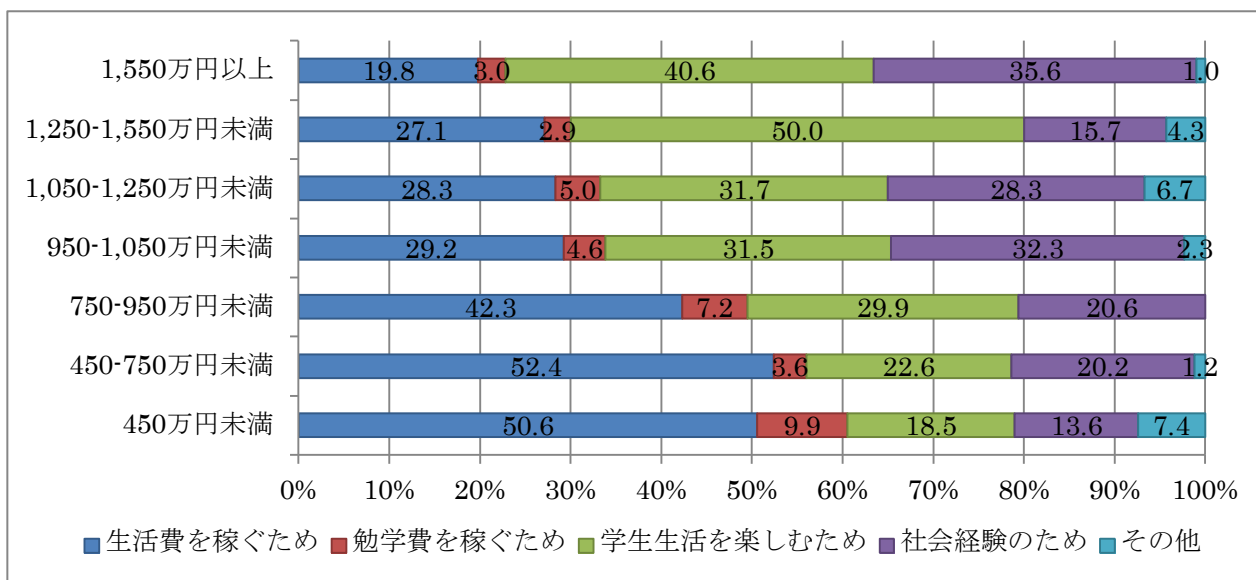


図 47 アルバイトの目的(所得階層別)

「継続的アルバイトが勉学の妨げになりませんか」という問いに、「かなり妨げになった」(7.7%)と回答した学生と「多少妨げになった」(44.0%)と回答した学生を合わせると、51.7%と前回調査の57.3%より5.6ポイント減少している。男女別では有意な差はみられない(クロス集計表9-5表)。

すべての学生に対してたずねた現在の暮らし向きについては、53.9%の学生が「楽な方」と答えている(「かなり楽な方」29.2%、「やや楽な方」24.7%)。また、「普通」は31.1%である。その反面、14.2%の学生が苦しいと答えており(「やや苦しい方」11.5%、「大変苦しい方」2.7%)、前回調査より1.2ポイント増加している(図48)。

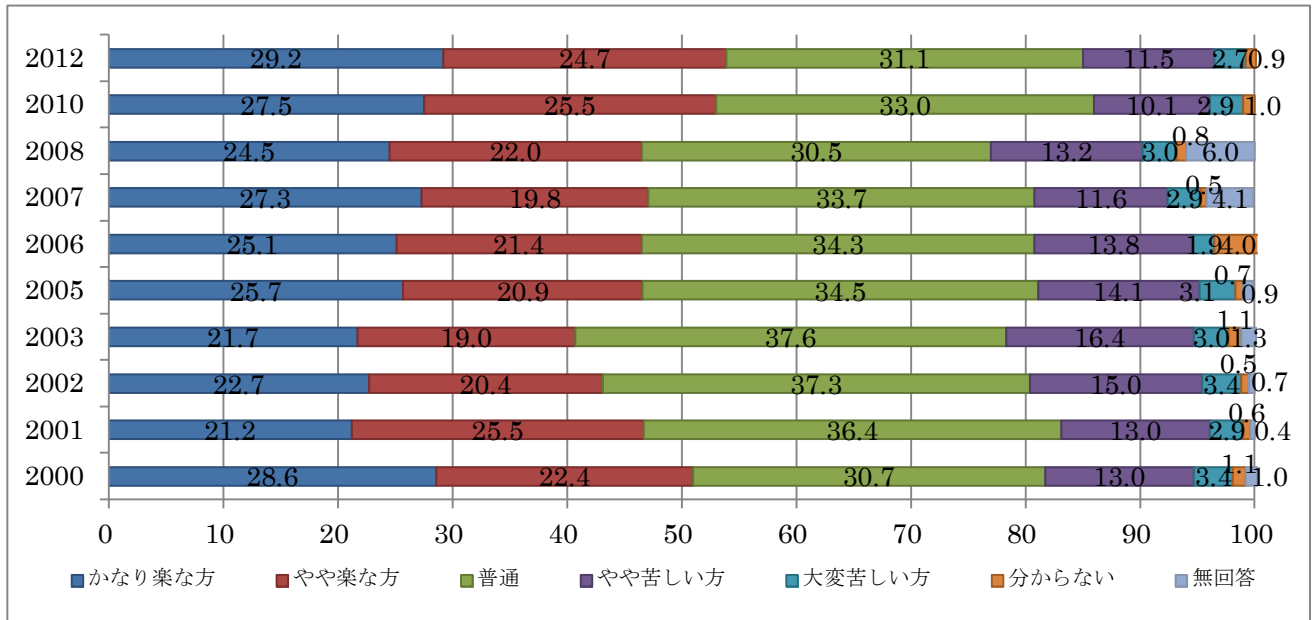


図 48 現在の暮らし向き

暮らし向きについては、男女別には有意な差はみられない(クロス集計表9-6表)。けれども、図49のように、所得階層別には大きな差がみられ、1,550万円以上の高所得層では「かなり楽な方」が50.4%と半数を超えるのに対して、450万円未満では「大変苦しい方」13.7%、「やや苦しい方」34.3%、合わせて「苦しい方」が48.0%と著しい対称を示している。

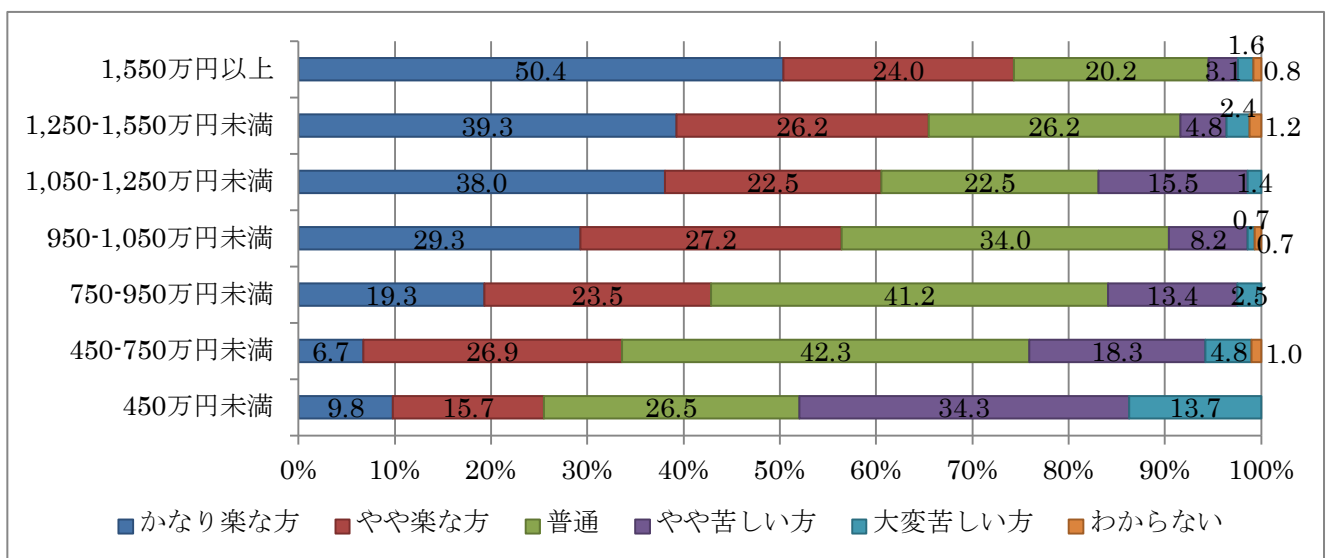


図 49 現在の暮らし向き(所得階層別)

## 〔総合分析の試み〕～東大生の学修時間について

文部科学省中央教育審議会の答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」（2012年8月28日）では、日本の大学生の授業以外の学修時間（事前の準備、事後の展開といった能動的な学修過程に要する時間）の少なさが指摘されている。「学生生活実態調査」では、生活時間をたずねているので、ここでは、東京大学学生の学修時間はどのくらいか、とくに答申で問題とされている授業以外の学修時間について検討したい。また、東大生に関しては、「学生生活実態調査」以外にも調査が実施されており、答申で引用されている「全国大学生調査」には東大生も含まれているので、他の調査を比較することを試みる。しかし、同じ東大生を対象にした調査でも、調査対象、調査時期、調査方法、質問項目が異なるので、厳密な比較ではなく、あくまでおおまかな比較でしかないことをお断りしておく。

### 1. 東京大学「学生生活実態調査」

本報告書の「第2部 4生活時間」に「学生生活実態調査」の生活時間が示されている。図50はそれを再掲したものである。この回答のそれぞれ中位値（例「1～5時間」では3時間、ただし「31時間以上」は35時間とした）をとり、その平均を見ると、1週あたり「授業・実験の出席時間」が16.4時間、「準備・復習の時間」が6.8時間、「授業とは関係のない学修」が4.9時間と、「サークル・クラブ活動」7.0時間、「アルバイト・仕事時間」5.2時間となっている。

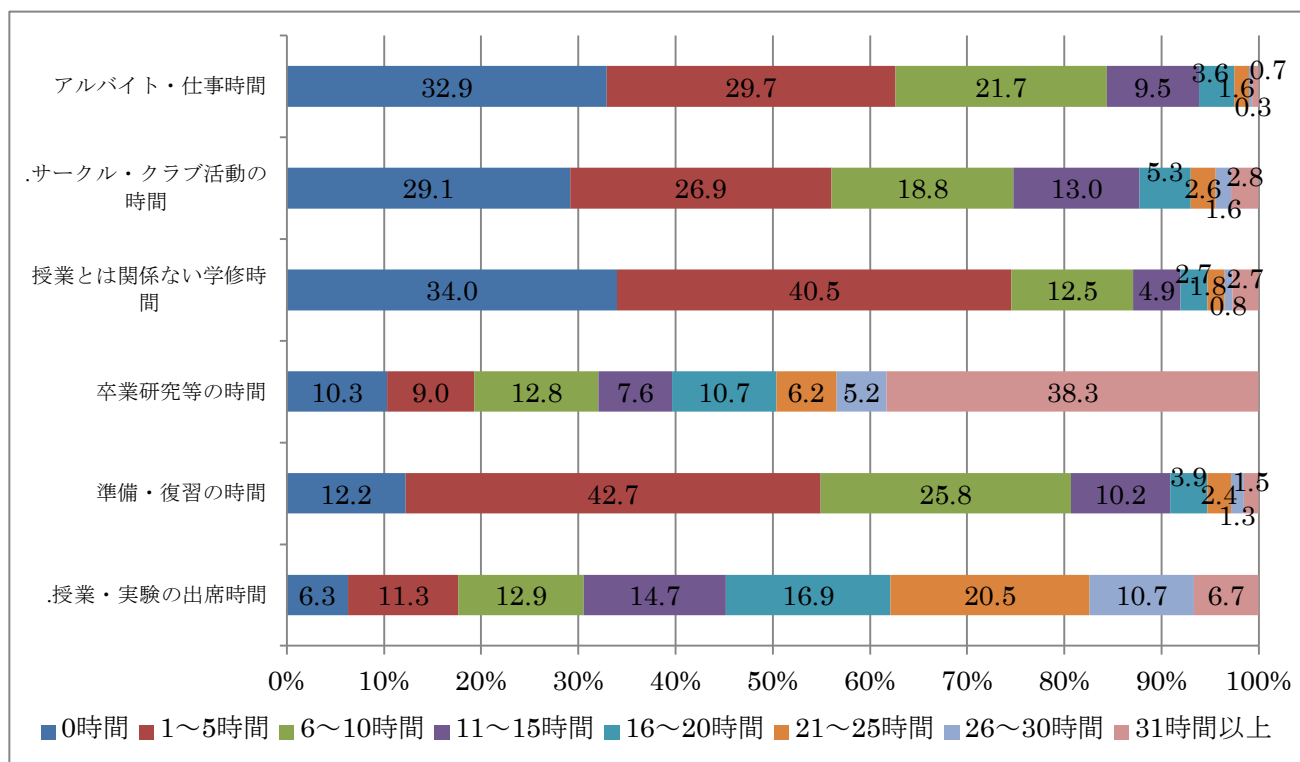


図 50 東大生の生活時間(学生生活実態調査 図 36 再掲)

## 2. 東京大学大学経営・政策センター「全国大学生調査」

「全国大学生調査」(学術創成科研(金子元久研究代表)・東京大学大学経営・政策センター 2007年)は、全国の大学生約4.8万人を対象とした大規模調査で、中教審答申でも引用されている。

この調査には東大生4,737名を含んでいるので、全国の大学生と比較することが可能である。図51のように、学修時間(授業・実験の準備・復習・課題)では、東大生の方が「5時間以下」が少なく、全体として長くなっていると言えよう。

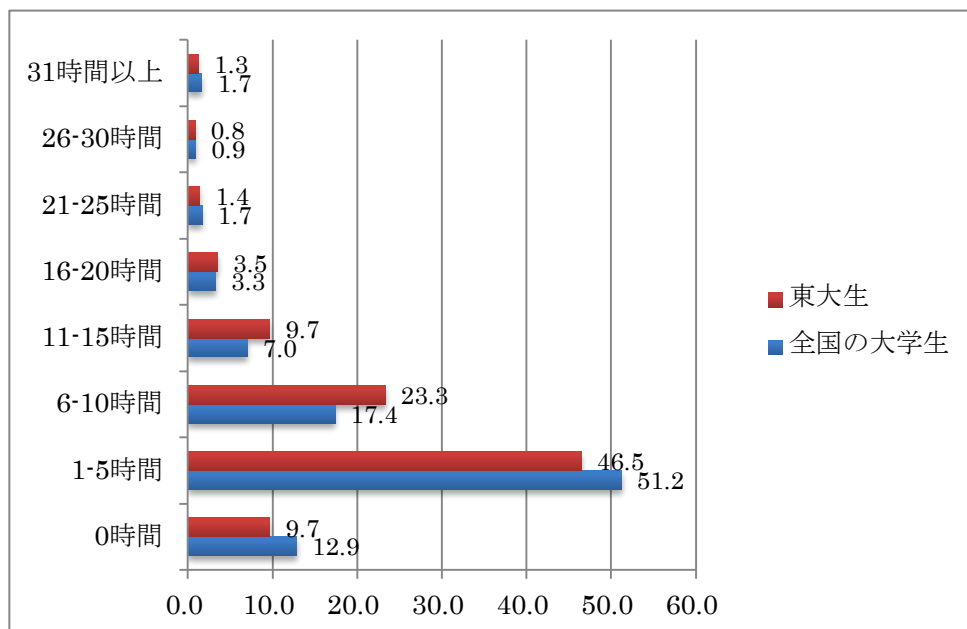


図 51 「全国大学生調査」の学修時間(授業・実験の準備・復習・課題)の比較

なお、これを「学生生活実態調査」と同じように平均時間で見ても、図 52 のように、いずれも東大生の方が長くなっている。平均時間は、「学生生活実態調査」と同じく、それぞれ選択肢の中位値を取った。「授業・実験の準備・復習・課題」の平均時間は 6.4 時間で、「学生生活実態調査」の 6.8 時間とほとんど変わらない。

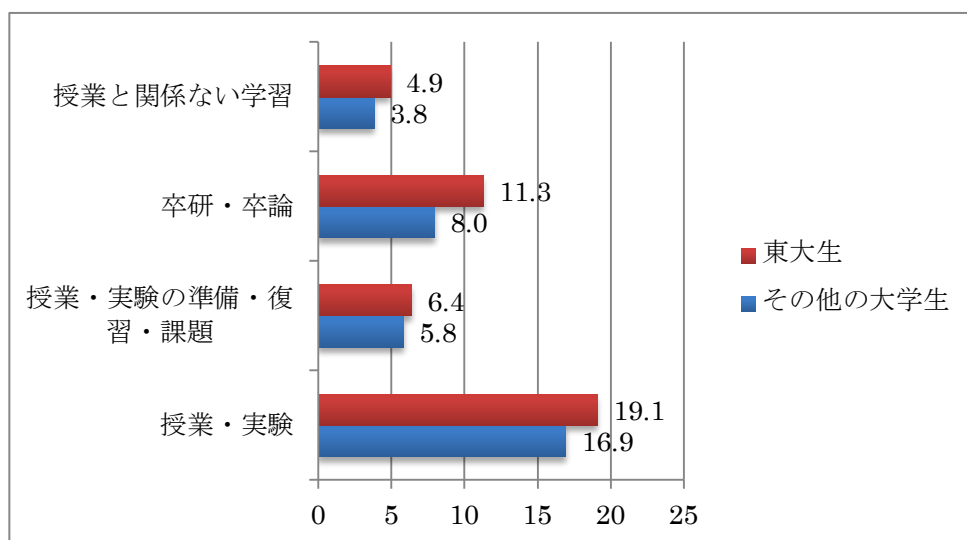


図 52 「全国大学生調査」平均学修時間の比較

### 3. 日本学生支援機構「学生生活調査」

表 3 設置者別週間平均生活時間

9表 設置者別週間平均生活時間

(単位:時間)

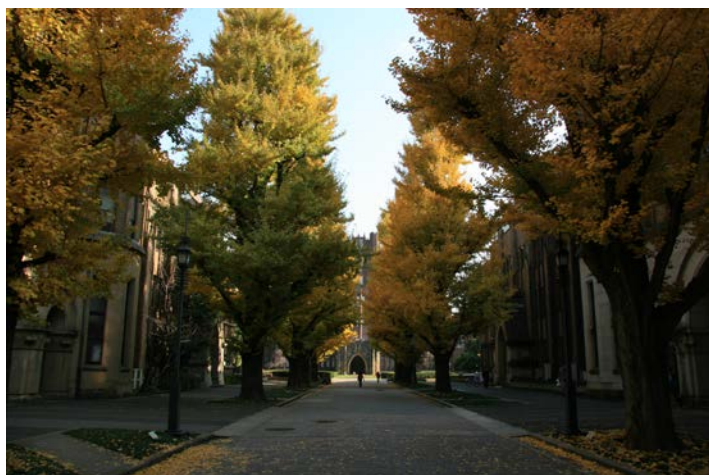
区 分			大学の授業	大学の授業の 予習・復習	大学の授業 以外の学習	文化・体育等の 部・サークル活動	アルバイトなどの 就労活動	娯楽・交友
大学	昼間部	国立	19.89	8.26	8.04	5.61	8.35	17.88
		公立	20.80	7.60	6.77	4.59	9.14	17.56
		私立	19.13	6.29	5.02	5.98	10.12	16.66
		平均	19.35	6.70	5.63	5.85	9.76	16.92
短期大学	昼間部	国立	...	...	...	...	...	...
		公立	20.01	8.27	3.90	2.05	7.20	17.72
		私立	24.01	5.38	2.71	2.20	9.38	17.32
		平均	23.79	5.54	2.77	2.19	9.26	17.35

(出所) 日本学生支援機構「学生生活調査」2010年度。

日本学生支援機構の「学生生活調査」(2002年度までは文部科学省が実施)は全大学生を対象としたサンプル調査である。最新の2010年度の結果を国立大学生についてみると表3のように、「大学の授業」は19.9時間、「大学の授業の復習・予習」は8.3時間、「大学の授業以外の学習」は8.0時間となっている。

1の東京大学の「学生生活実態調査」で掲げた1週あたりの時間と比較すると、その差は「授業の出席」で3.5時間、「予習・復習」で1.5時間、「授業外の学習」で3.1時間、いずれも東大生の方が短くなっている。「全国大学生調査」と比較しても、東大生の方が短くなっている。

このように、「全国大学生調査」と「学生生活調査」では、東京大学の学修時間について、全国の大学生(国立大学生)と比較すると、相反した結果が示されている。先にふれたように、これらは調査時期や設問が異なっているため、厳密な比較ではなく、今後さらに調査が必要である。



#### 4. 東京大学「大学教育の達成度調査(2012年度)」

東京大学の「教育の達成度調査」は、2008年度より実施されており、卒業時に大学の教育や経験を評価する、いわゆる卒業生調査 (graduate survey) である。最新の2012年度調査 (2013年3月26日実施、自記式) では、回答者数2,524名／卒業生3,089名で回収率 81.7%となっている。在學生ではなく、卒業時に調査しており、卒業生のみが回答者である。

生活時間については、「試験を除く、学期中の典型的な週」について、図52の項目を学年別に時間ではなく配分をたずねている。割合をたずねているので、直接比較はできないが、「F. そのほか (睡眠時間を含む)」を除けば、ほぼ「学生生活実態調査」と同じような項目をたずねている。

先にもふれたが、「学生生活実態調査」の回答のそれぞれ中位値 (例「1～5時間」では3時間、ただし「31時間以上」は35時間とした) をとり、その平均を見ると、「授業・実験の出席時間」が16.4時間、「準備・復習の時間」が6.8時間、「授業とは関係のない学修」が4.9時間と、「サークル・クラブ活動」7.0時間、「アルバイト・仕事時間」5.2時間となっている。そこで、これらの合計40.3時間でそれぞれの割合を出すと、「授業・実験の出席時間」が4.0割、「準備・復習の時間」が1.7割、「授業とは関係のない学修」が1.2割となる。

「達成度調査」には「卒業論文・卒業研究」が含まれていないが、3年時については、「授業の出席」が3.6割、「授業関連の勉強 (課題・予復習など)」が1.7割となっている。「達成度調査」と「学生生活実態調査」の比率はほぼ等しくなっている。なお、4年時では「授業の出席」が3.3割、「授業関連の勉強 (課題・予復習など)」が2.5割となっている。「達成度調査」と「学生生活実態調査」を比較すると、「授業の出席」は「学生生活実態調査」の方がやや高い割合であるが、「授業関連の勉強」では同等である。

このように、いずれの調査からも、東大生の学修時間について、全国の大学生の場合と同じように、授業への出席時間に比べて、授業関連の学修時間は半分以下となっていることが示された。

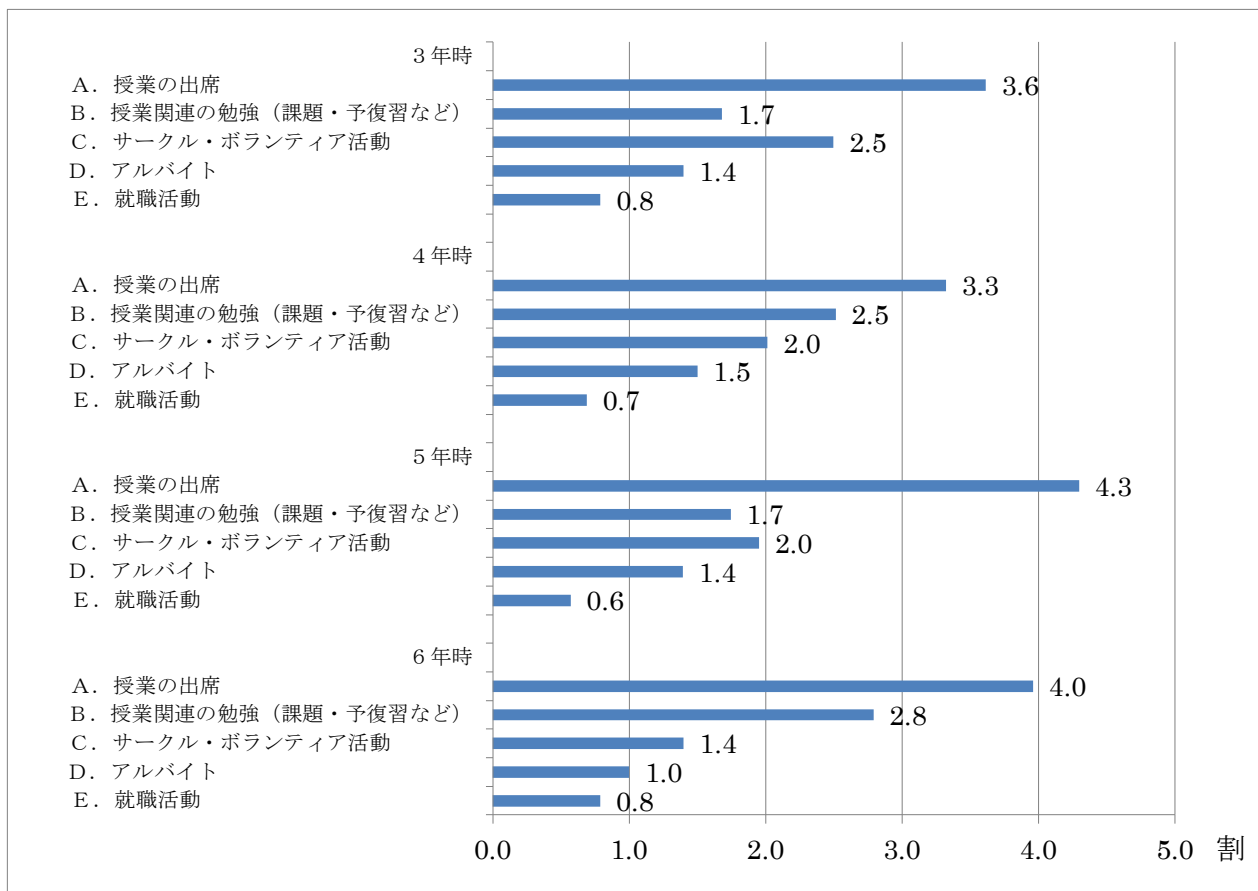


図 53 「大学教育の達成度調査」生活時間の配分

## 資料 1

## 第 6 2 回 ( 2 0 1 2 年 ) 学生生活実態調査票・単純集計表

## I. 基本事項について伺います。

1. 性別	男	1,077 人	77.5 %	女	312 人	22.5 %	
	無回答	125 人		合 計	1,389		
2. 現在の所属	【1・2年生の方】 (前期課程の方)	文Ⅰ	103 人	6.8 %	文Ⅱ	84 人	5.6 %
		文Ⅲ	125	8.3	理Ⅰ	264	17.5
		理Ⅱ	139	9.2	理Ⅲ	19	1.3
	【3年生以上の方】 (後期課程の方)	法学部	108 人	7.2 %	経済学部	80 人	5.3 %
		文学部	88	5.8	教育学部	26	1.7
		教養(文系)	34	2.3	教養(理系)	13	0.9
		理学部	73	4.8	工学部	218	14.4
		農学部	62	4.1	薬学部	25	1.7
		医学部	49	3.2			
		無回答	4 人		合 計	1,510	
3. 現在の学年	1 年	375 人	25.0 %	2 年	353 人	23.5 %	
	3 年	364	24.2	4 年	371	24.7	
	5 年(医学・薬学・獣医)	20	1.3	6 年(医学・薬学・獣医)	19	1.3	
		無回答	12 人		合 計	1,502	
4. 入学したのは何年ですか。	2012年	372 人	24.6 %	2007年	30 人	2.0 %	
	2011年	356	23.5	2006年	2	0.1	
	2010年	351	23.2	2005年	0	0.0	
	2009年	326	21.5	2004年	1	0.1	
	2008年	71	4.7	2003年以前	4	0.3	
		無回答	1 人		合 計	1,513	
5. あなたの出身校についてお聞きします。	国立(大学附属)	137 人	9.1 %	公立中等教育学校	237 人	15.7 %	
	その他の公立	319	21.1	中高一貫型の私立	764	50.6	
	その他の私立	29	1.9	高等学校卒業程度 認定試験	5	0.3	
	外国の学校	11	0.7				
	その他	8	0.5				
		無回答	4 人		合 計	1,510	
6. 本学の入学時の現役・浪人等についてお聞きします。	現役	1,008 人	66.8 %	1 浪	446 人	29.5 %	
	2 浪以上	35	2.3	学士入学	6	0.4	
	その他	15	1.0				
		無回答	4 人		合 計	1,510	
7. 後期課程に在籍している方にお伺いします。後期課程に進学した年は何年ですか。	2012年	334 人	44.0 %	2008年	0 人	0.0 %	
	2011年	325	42.8	2007年	1	0.1	
	2010年	66	8.7	2006年	0	0.0	
	2009年	30	4.0	2005年以前	3	0.4	
		無回答	755 人		合 計	759	

## Ⅱ. 入学・進学・学業について

8. 東大を受験する際に東大に入学することをどの程度希望していましたか。どれか1つに○をつけてください。	浪人しても東大に入りたいと思っていた	904人	60.0%
	東大がだめなら他大学でもよいと思っていた	591	39.2
	他大学がだめなら東大でもよいと思っていた	12	0.8
	無回答 7人		
	合計	1,507	
9. 東大入学の動機は、どれにあたりますか。主なものを3つまで○をつけてください。 ※複数回答、回答者数を分母	社会的評価が高いから	785人	51.9%
	スタッフ・設備が優れているから	362	23.9
	将来の就職を考えて	458	30.3
	難関を突破したかったから	437	28.9
	私大に比べて授業料が安いから	581	38.4
	東大の伝統や雰囲気憧れて	338	22.4
	入学後に学部を選択が可能だから	629	41.6
	親・兄弟・姉妹の勧めで	96	6.3
	高校の先生や友人などの勧めで	294	19.4
	その他	127	8.4
	無回答 2人		
合計	1,512		
10. 入学するときに進学する学部あるいは学科等を決めていましたか。どれか1つに○をつけてください。	学科等まで決めていた	311人	20.6%
	学部のみ決めていた	500	33.1
	学部・学科等は決めていなかった	699	46.3
	無回答 4人		
合計	1,510		
11. 現在在籍している学部・学科等(科類)に満足していますか。どれか1つに○をつけてください。	満足している	528人	35.0%
	まあ満足している	647	42.9
	どちらとも言えない	184	12.2
	やや不満である	93	6.2
	不満である	56	3.7
無回答 6人			
合計	1,508		
12. 教養学部前期課程の授業に満足していますか。どれか1つに○をつけてください。	満足している	122人	8.1%
	まあ満足している	566	37.5
	どちらとも言えない	389	25.8
	やや不満である	274	18.2
	不満である	158	10.5
無回答 5人			
合計	1,509		
13. 進学振分け制度についてどのように考えていますか。どれか1つに○をつけてください。	特に考えていることはない	285人	19.0%
	現行のままでよい	523	34.8
	入試時にもう少し細かく進路を決める制度の方がよい	237	15.8
	点数以外の振り分け基準を取り入れた方がよい	456	30.4
	無回答 13人		
合計	1,501		
【進学内定者】及び【後期課程学生】に伺います。 14. 進学の内定(内定)は、希望通りでしたか。どれか1つに○をつけてください。	希望通り決定(内定)した	920人	83.2%
	ほぼ希望通り決定(内定)した	131	11.8
	希望通りでなかった	55	5.0
	無回答 408人		
合計	1,106		
15. 現在のカリキュラムに満足していますか。どれか1つに○をつけてください。	満足している	178人	12.2%
	まあ満足している	711	48.7
	どちらとも言えない	267	18.3
	やや不満である	207	14.2
	不満である	97	6.6
無回答 54人			
合計	1,460		
16. 現在のカリキュラムは消化できますか。どれか1つに○をつけてください。	できる	489人	33.5%
	まあできる	686	47.0
	多少困難	249	17.0
	できない	37	2.5
	無回答 53人		
合計	1,461		



17. あなたは、学部卒業後は、どのような進路を予定していますか。どれか1つに○をつけてください。	大学院修士課程に入学する	560人	38.4%		
	大学院博士課程まで進学する	151	10.3		
	専門職学位課程に入学する	35	2.4		
	学士入学する	7	0.5		
	就職する	531	36.4		
	起業する	2	0.1		
	進学も就職もしない	8	0.5		
	まだ決めていない	151	10.3		
	その他	15	1.0		
	無回答	54人	合計	1,460	
設問17で「大学院に進む」と答えた方にお伺いします。	より高度の知識・技術を身につけるため	580人	41.8%		
18. 大学院に進む理由で、あてはまるものに2つだけ○をつけてください。	大学で教育・研究職に就くため	166	12.0		
	大学外で研究職に就くため	107	7.7		
	必要な資格を得るため	78	5.6		
	良い就職先を得るため	189	13.6		
	まだ社会に出たくないから	141	10.2		
	就職先が決まらないから	16	1.2		
	周囲に勧められたから	20	1.4		
	大学院修了ということの社会的評価が高いから	44	3.2		
	学部での進路指導に従って	24	1.7		
	その他	24	1.7		
無回答	774人	合計	1,389		
19. 典型的な1週間の平均的な生活時間を、学期中と休暇中について伺います。 (1)から(9)までそれぞれ1～8のどれか1つに○をつけてください。					
学期中の生活時間	(1) 授業・実験への出席	0時間	95人	6.3%	
		1～5時間	171	11.3	
		6～10時間	194	12.9	
		11～15時間	221	14.7	
		16～20時間	255	16.9	
		21～25時間	309	20.5	
		26～30時間	161	10.7	
		31時間以上	101	6.7	
		無回答	7人	合計	1,507
		(2) 授業・実験の課題、準備・復習	0時間	183	12.2
	1～5時間		640	42.7	
	6～10時間		386	25.8	
	11～15時間		153	10.2	
	16～20時間		58	3.9	
	21～25時間		36	2.4	
	26～30時間		20	1.3	
	31時間以上		23	1.5	
	無回答		15人	合計	1,499
	(3) 卒業研究・実験・卒論(該当者のみ)		0時間	30	10.3
		1～5時間	26	9.0	
6～10時間		37	12.8		
11～15時間		22	7.6		
16～20時間		31	10.7		
21～25時間		18	6.2		
26～30時間		15	5.2		
31時間以上		111	38.3		
無回答		1,224人	合計	290	

学期中の生活時間	(4) 授業とは関係のない学修	0時間	498	34.0
		1～5時間	594	40.5
		6～10時間	183	12.5
		11～15時間	72	4.9
		16～20時間	40	2.7
		21～25時間	26	1.8
		26～30時間	12	0.8
		31時間以上	40	2.7
		無回答	49人	
		合計	1,465	
学期中の生活時間	(5) サークル・クラブ活動	0時間	432	29.1
		1～5時間	398	26.9
		6～10時間	278	18.8
		11～15時間	192	13.0
		16～20時間	78	5.3
		21～25時間	38	2.6
		26～30時間	24	1.6
		31時間以上	42	2.8
		無回答	32人	
		合計	1,482	
学期中の生活時間	(6) アルバイト・仕事	0時間	488	32.9
		1～5時間	440	29.7
		6～10時間	322	21.7
		11～15時間	141	9.5
		16～20時間	53	3.6
		21～25時間	23	1.6
		26～30時間	5	0.3
		31時間以上	10	0.7
		無回答	32人	
		合計	1,482	
学期中の生活時間	(7) 学修	0時間	187	12.6
		1～5時間	582	39.3
		6～10時間	258	17.4
		11～15時間	149	10.1
		16～20時間	94	6.3
		21～25時間	62	4.2
		26～30時間	39	2.6
		31時間以上	111	7.5
		無回答	32人	
		合計	1,482	
休暇中の生活時間	(8) サークル・クラブ活動	0時間	445	29.9
		1～5時間	327	22.0
		6～10時間	248	16.7
		11～15時間	186	12.5
		16～20時間	121	8.1
		21～25時間	59	4.0
		26～30時間	27	1.8
		31時間以上	76	5.1
		無回答	25人	
		合計	1,489	
休暇中の生活時間	(9) アルバイト・仕事	0時間	492	33.3
		1～5時間	353	23.9
		6～10時間	264	17.9
		11～15時間	187	12.7
		16～20時間	90	6.1
		21～25時間	41	2.8
		26～30時間	21	1.4
		31時間以上	29	2.0
		無回答	37人	
		合計	1,477	

20. あなたは、平日の夜、遅くまでキャンパス内 にいますか。次の中から、最も あてはまるもの1つに○をつけてください	夜12時過ぎまでキャンパスにいることがある	155人	10.3%
	夜11時過ぎまでキャンパスにいることがある	86	5.7
	夜10時過ぎまでキャンパスにいることがある	221	14.6
	夜9時過ぎまでキャンパスにいることがある	447	29.6
	夜9時までキャンパスにいることはない	600	39.8
	無回答	5人	合計
設問20で2～5を選んだ(「夜9時以降キャン パスにいることはある」)方に伺います 21. この半年間で夜9時過ぎまでキャンパスにい た回数で、次の中から、最もあてはまるもの 1つに○をつけてください。	半年で1、2回くらい	128人	14.1%
	月に1、2回くらい	234	25.7
	週に1、2回くらい	312	34.3
	週に3、4回くらい	155	17.1
	ほぼ毎日	80	8.8
	無回答	605人	合計
22. あなたは、この冬学期が始まってから昼間を 含めて土曜・日曜・祝日にキャンパス内にい たことはありますか。どちらか1つに○をつ けてください。	いたことはない	308人	20.8%
	いたことがある	1,173	79.2
	無回答	33人	合計
設問22で「2」(「土・日・祝日にキャンパス 内にいたことがある。」)を選んだ方に伺いま す。 23. この冬学期が始まってから土・日・祝日にキ ャンパス内にいた平均回数で、次の中から、 最もあてはまるもの1つに○をつけてくださ い。	月に1回	236	20.2
	月に2回	217	18.5
	月に3回	156	13.3
	週に1回	395	33.8
	毎回	148	12.6
	その他	18	1.5
無回答	344人	合計	1,170
24. 現在、東大では、教育の国際化を推進する等 の観点から、学部の入学時期を4月から秋に 移行させることが検討されています。あなた は、この秋季入学構想について、どう受け止 めていますか。どれか1つに○をつけてくだ さい。	賛成	418	27.8
	反対	534	35.5
	どちらとも言えない	445	29.6
	わからない	106	7.1
	無回答	11人	合計
25. 入学時期が秋に移行した場合に、期待できる ことに何がありますか。次の中からあてはま るもの全てに○をつけてください。 ※複数回答、回答者数を分母	日本人学生の海外留学が大きく増える	483	32.2
	留学生が大きく増える	497	33.2
	様々な活動のために夏休みが一層有効に使える	342	22.8
	特にメリットはない	434	29.0
	わからない	143	9.5
	無回答	15人	合計
26. 秋季入学構想では、高校卒業から入学までの 約半年間の空白を「ギャップターム」と位置 付け、自主的な体験活動等に充てることが提 案されていますが、様々な課題も指摘されて います。次の中に、あなたが特に問題である と感じるものがありますか。あてはまるもの 全てに○をつけてください。 ※複数回答、回答者数を分母	すぐに大学の授業を受けたいというニーズが充たされない	518	34.4
	学力の低下が生じる	686	45.6
	有意義な過ごし方を見つけにくい	1,137	75.5
	学生としての身分が無いことによる不利益が生じる	386	25.6
	経済的な条件によって体験活動の機会等に格差が生じる	806	53.5
	出身地域によって体験活動の機会等に格差が生じる	576	38.2
	その他	105	7.0
	特になし	33	2.2
	無回答	8人	合計

### Ⅲ. 就職について

27. どのような「部門」に就きたいと思っていますか。どれか1つに○をつけてください。	公務員	477 人	31.9 %
	非営利団体	40	2.7
	民間企業	834	55.7
	自営業	39	2.6
	起業	20	1.3
	その他	86	5.7
	無回答 18 人	合計	1,496
28. どのような「職種」に就きたいと思っていますか。どれか1つに○をつけてください。	大学・公的機関の教育・研究職	273 人	18.2 %
	企業等の研究職	254	16.9
	技術職	206	13.7
	専門職（※大学教員や研究職以外：医師、法曹、公認会計士等）	194	12.9
	販売職	41	2.7
	マスコミ（新聞記者、放送記者、アナウンサー、プロデューサー等）	72	4.8
	教育職（大学を除く）	34	2.3
	事務職	111	7.4
	行政職	138	9.2
	管理職（会社役員等）	127	8.4
	その他	54	3.6
	無回答 10 人	合計	1,504
29. 設問28で答えていただいた「その職業に就きたい」と思っている理由は何ですか。次の中から、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。	人を助けたり社会に奉仕できる	304 人	20.4 %
	安定した生活が保障されている	156	10.5
	十分な収入が期待できる	105	7.0
	自分の特技・能力や専門知識が活かせる	568	38.1
	国際的な仕事ができる	51	3.4
	社会的な地位・名声が得られる	23	1.5
	組織にしばられず、自由な活動ができる	46	3.1
	人や組織を動かすことができる	61	4.1
	独創性や創造性を発揮できる	119	8.0
	その他	57	3.8
	無回答 24 人	合計	1,490

#### IV. 不安・悩みについて

30. 現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか。			
(1)～(11)までそれぞれどれか1つに○をつけてください。			
(1) 勉学 (成績・単位など)	よく悩む	397人	26.3%
	ときどき悩む	615	40.8
	あまり悩まない	371	24.6
	全く悩まない	125	8.3
	無回答 6人	合計	1,508
(2) 学部進学や大学院進学	よく悩む	362人	24.0%
	ときどき悩む	503	33.4
	あまり悩まない	390	25.9
	全く悩まない	252	16.7
	無回答 7人	合計	1,507
(3) 就職	よく悩む	491人	32.6%
	ときどき悩む	540	35.8
	あまり悩まない	312	20.7
	全く悩まない	165	10.9
	無回答 6人	合計	1,508
(4) 将来の進路や生き方	よく悩む	695人	46.2%
	ときどき悩む	566	37.6
	あまり悩まない	185	12.3
	全く悩まない	59	3.9
	無回答 9人	合計	1,505
(5) 友人との対人関係	よく悩む	185人	12.3%
	ときどき悩む	426	28.2
	あまり悩まない	661	43.8
	全く悩まない	236	15.6
	無回答 6人	合計	1,508
(6) 教職員との対人関係	よく悩む	35人	2.3%
	ときどき悩む	119	7.9
	あまり悩まない	605	40.2
	全く悩まない	747	49.6
	無回答 8人	合計	1,506
(7) 性・異性・恋愛・結婚	よく悩む	306人	20.3%
	ときどき悩む	618	41.0
	あまり悩まない	391	25.9
	全く悩まない	194	12.9
	無回答 5人	合計	1,509
(8) 経済的なことや経済的自立	よく悩む	356人	23.6%
	ときどき悩む	613	40.6
	あまり悩まない	390	25.9
	全く悩まない	149	9.9
	無回答 6人	合計	1,508
(9) 自分の性格	よく悩む	319人	21.2%
	ときどき悩む	510	33.8
	あまり悩まない	472	31.3
	全く悩まない	207	13.7
	無回答 6人	合計	1,508
(10) 自分の体調や健康	よく悩む	175人	11.6%
	ときどき悩む	391	25.9
	あまり悩まない	594	39.4
	全く悩まない	347	23.0
	無回答 7人	合計	1,507

(11) 人生の意義・目標	よく悩む	384人	25.5%
	ときどき悩む	539	35.7
	あまり悩まない	407	27.0
	全く悩まない	178	11.8
	無回答 6人		
	合計	1,508	
31. あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話合ったりしますか。			
(1)～(9)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。			
(1) 父・母	よく相談する	281人	18.7%
	ときどき相談する	341	22.7
	たまに相談する	515	34.2
	全く相談しない	368	24.5
	無回答 9人		
	合計	1,505	
(2) 兄弟・姉妹	よく相談する	50人	3.4%
	ときどき相談する	98	6.6
	たまに相談する	302	20.4
	全く相談しない	1,034	69.7
	無回答 30人		
	合計	1,484	
(3) なんでも相談コーナー・学生相談所等	よく相談する	17人	1.1%
	ときどき相談する	15	1.0
	たまに相談する	80	5.3
	全く相談しない	1,394	92.6
	無回答 8人		
	合計	1,506	
(4) 大学の教職員	よく相談する	4人	0.3%
	ときどき相談する	50	3.3
	たまに相談する	171	11.4
	全く相談しない	1,279	85.0
	無回答 10人		
	合計	1,504	
(5) 大学内の同じ学科や研究室の友人	よく相談する	131人	8.7%
	ときどき相談する	368	24.5
	たまに相談する	501	33.3
	全く相談しない	503	33.5
	無回答 11人		
	合計	1,503	
(6) 大学内のサークルや団体の友人	よく相談する	190人	12.7%
	ときどき相談する	408	27.2
	たまに相談する	431	28.8
	全く相談しない	470	31.4
	無回答 15人		
	合計	1,499	
(7) 大学外の友人	よく相談する	157人	10.4%
	ときどき相談する	378	25.1
	たまに相談する	490	32.6
	全く相談しない	480	31.9
	無回答 9人		
	合計	1,505	
(8) 先輩	よく相談する	68人	4.5%
	ときどき相談する	303	20.1
	たまに相談する	480	31.9
	全く相談しない	654	43.5
	無回答 9人		
	合計	1,505	
(9) 恋人	よく相談する	176人	11.8%
	ときどき相談する	186	12.5
	たまに相談する	187	12.5
	全く相談しない	944	63.2
	無回答 21人		
	合計	1,493	

32. あなたは、最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか。			
(1)～(12)までそれぞれ1～4のどれか1つに○をつけてください。			
(1)強い不安に襲われた	しばしば体験した	256人	17.0%
	ときどき体験した	445	29.5
	あまり体験しなかった	407	27.0
	全く体験しなかった	400	26.5
	無回答 6人	合計	1,508
(2)自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった	しばしば体験した	146人	9.7%
	ときどき体験した	276	18.3
	あまり体験しなかった	426	28.3
	全く体験しなかった	659	43.7
	無回答 7人	合計	1,507
(3)人と話していても緊張したり、不安を感じた	しばしば体験した	145人	9.6%
	ときどき体験した	379	25.2
	あまり体験しなかった	470	31.3
	全く体験しなかった	510	33.9
	無回答 10人	合計	1,504
(4)他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた	しばしば体験した	58人	3.8%
	ときどき体験した	136	9.0
	あまり体験しなかった	329	21.8
	全く体験しなかった	984	65.3
	無回答 7人	合計	1,507
(5)バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのが怖かった	しばしば体験した	30人	2.0%
	ときどき体験した	36	2.4
	あまり体験しなかった	161	10.7
	全く体験しなかった	1,279	84.9
	無回答 8人	合計	1,506
(6)気分が落ち込んだり、何も興味を持てなくなった	しばしば体験した	155人	10.3%
	ときどき体験した	335	22.2
	あまり体験しなかった	401	26.6
	全く体験しなかった	617	40.9
	無回答 6人	合計	1,508
(7)人と一緒にいても寂しい感じがした	しばしば体験した	109人	7.2%
	ときどき体験した	300	19.9
	あまり体験しなかった	398	26.4
	全く体験しなかった	702	46.5
	無回答 5人	合計	1,509
(8)体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした	しばしば体験した	42人	2.8%
	ときどき体験した	106	7.0
	あまり体験しなかった	213	14.1
	全く体験しなかった	1,148	76.1
	無回答 5人	合計	1,509
(9)イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたい衝動にかられた	しばしば体験した	72人	4.8%
	ときどき体験した	211	14.0
	あまり体験しなかった	348	23.1
	全く体験しなかった	875	58.1
	無回答 8人	合計	1,506
(10)やる気がなくなり、無気力状態(アパシー)になった	しばしば体験した	159人	10.6%
	ときどき体験した	340	22.6
	あまり体験しなかった	380	25.2
	全く体験しなかった	628	41.7
	無回答 7人	合計	1,507

(11) ついつい過食してしまう傾向があった	しばしば体験した	114人	7.6%
	ときどき体験した	251	16.6
	あまり体験しなかった	323	21.4
	全く体験しなかった	821	54.4
	無回答 5人	合計	1,509
(12) 食欲がなくなり、食べ物を口にしたいと思わなかった	しばしば体験した	46人	3.0%
	ときどき体験した	137	9.1
	あまり体験しなかった	281	18.6
	全く体験しなかった	1,045	69.3
	無回答 5人	合計	1,509
33. 過去1年間に体調の不調はありましたか？次の中からどれか1つに○をつけてください。	よくあった	92人	6.1%
	ときどきあった	412	27.4
	あまりなかった	521	34.7
	全くなかった	477	31.8
	無回答 12人	合計	1,502
設問33で、体の不調が「よくあった」「ときどきあった」「あまりなかった」にお伺いします。 34. 過去1年間に体の不調があったときに、どのように対処しましたか？あてはまるもの全てに○をつけてください。	家族に相談	445人	28.7%
	大学内の同じ研究室やサークルの友人・先輩に相談	131	8.4
	大学外の友人・先輩に相談	47	3.0
	大学の教職員に相談	8	0.5
	保健センター（本郷・駒場・柏）の診療部を受診	243	15.6
	東大病院を受診	23	1.5
	保健センター（本郷・駒場・柏）の健康管理室に相談	17	1.1
	地域のクリニックや病院を受診	495	31.9
	その他	144	9.3
	無回答 514人	合計	1,553
35. 過去1年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか？利用したもの全てに○をつけてください。	大学のホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	63人	3.1%
	保健センターのホームページや掲示板に掲載された健康情報や通知にアクセス	103	5.0
	保健センターの定期健康診断の受診	799	39.1
	保健センターの健康診断書や健康診断証明書の発行	124	6.1
	病気やケガ等で保健センターを受診	412	20.2
	利用したことがない	520	25.5
	その他	21	1.0
	無回答 13人	合計	2,042
36. 大学が行っている保健サービスに満足していますか？どれか1つに○をつけてください	満足	541人	35.9%
	どちらとも言えない	839	55.6
	不満	128	8.5
	無回答 6人	合計	1,508



## V. 大学への要望

### 37. 大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか。

(1)～(19)までそれぞれ1～5のどれか1つに○をつけてください。

(1)カリキュラムの改革	とても期待する	370人	24.6%
	期待する	596	39.6
	どちらともいえない	399	26.5
	期待しない	102	6.8
	全く期待しない	37	2.5
	無回答 10人	合計	1,504
(2)実験室や実習室の充実	とても期待する	282人	18.8%
	期待する	439	29.2
	どちらともいえない	549	36.6
	期待しない	146	9.7
	全く期待しない	86	5.7
	無回答 12人	合計	1,502
(3)進学振分け制度の改善	とても期待する	321人	21.3%
	期待する	482	32.0
	どちらともいえない	479	31.8
	期待しない	173	11.5
	全く期待しない	50	3.3
	無回答 9人	合計	1,505
(4)授業の方法の工夫・改善	とても期待する	470人	31.3%
	期待する	663	44.1
	どちらともいえない	263	17.5
	期待しない	74	4.9
	全く期待しない	32	2.1
	無回答 12人	合計	1,502
(5)少人数教育の実施	とても期待する	306人	20.3%
	期待する	415	27.6
	どちらともいえない	493	32.7
	期待しない	224	14.9
	全く期待しない	68	4.5
	無回答 8人	合計	1,506
(6)単位認定や学年試験を厳しく	とても期待する	58人	3.9%
	期待する	131	8.7
	どちらともいえない	557	37.0
	期待しない	413	27.4
	全く期待しない	347	23.0
	無回答 8人	合計	1,506
(7)単位認定や学年試験を緩やかに	とても期待する	175人	11.6%
	期待する	235	15.6
	どちらともいえない	662	44.0
	期待しない	282	18.7
	全く期待しない	152	10.1
	無回答 8人	合計	1,506
(8)教育スタッフの充実	とても期待する	268人	17.8%
	期待する	599	39.9
	どちらともいえない	495	32.9
	期待しない	98	6.5
	全く期待しない	43	2.9
	無回答 11人	合計	1,503

(9) 海外留学の支援	とても期待する	494 人	32.8 %
	期待する	507	33.7
	どちらともいえない	336	22.3
	期待しない	109	7.2
	全く期待しない	59	3.9
	無回答 9 人	合計	1,505
(10) 国際化の推進	とても期待する	397 人	26.4 %
	期待する	475	31.6
	どちらともいえない	410	27.3
	期待しない	138	9.2
	全く期待しない	84	5.6
	無回答 10 人	合計	1,504
(11) 社会への貢献	とても期待する	367 人	24.4 %
	期待する	510	33.9
	どちらともいえない	448	29.8
	期待しない	110	7.3
	全く期待しない	68	4.5
	無回答 11 人	合計	1,503
(12) カウンセリング・相談体制の充実	とても期待する	113 人	7.5 %
	期待する	259	17.3
	どちらともいえない	734	48.9
	期待しない	272	18.1
	全く期待しない	123	8.2
	無回答 13 人	合計	1,501
(13) 健康相談や保健センター機能の充実	とても期待する	150 人	10.0 %
	期待する	384	25.5
	どちらともいえない	682	45.3
	期待しない	208	13.8
	全く期待しない	80	5.3
	無回答 10 人	合計	1,504
(14) 就職対策や進路相談機能の充実	とても期待する	330 人	21.9 %
	期待する	511	34.0
	どちらともいえない	471	31.3
	期待しない	120	8.0
	全く期待しない	72	4.8
	無回答 10 人	合計	1,504
(15) 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する	とても期待する	527 人	35.0 %
	期待する	462	30.7
	どちらともいえない	393	26.1
	期待しない	74	4.9
	全く期待しない	48	3.2
	無回答 10 人	合計	1,504
(16) 施設設備の充実	とても期待する	548 人	36.5 %
	期待する	558	37.2
	どちらともいえない	304	20.2
	期待しない	58	3.9
	全く期待しない	34	2.3
	無回答 12 人	合計	1,502

(17) 図書館の充実	とても期待する	575 人	38.3 %
	期待する	526	35.0
	どちらともいえない	307	20.4
	期待しない	70	4.7
	全く期待しない	25	1.7
	無回答 11 人	合計	1,503
(18) 学生自治の尊重	とても期待する	77 人	5.1 %
	期待する	237	15.8
	どちらともいえない	790	52.6
	期待しない	262	17.4
	全く期待しない	137	9.1
	無回答 11 人	合計	1,503
(19) 学生同士が支え合うネットワークの充実	とても期待する	100 人	6.7 %
	期待する	327	21.8
	どちらともいえない	732	48.8
	期待しない	217	14.5
	全く期待しない	125	8.3
	無回答 13 人	合計	1,501

## VI. 家庭の状況について

38. 実家の所在地について伺います。あてはまる実家の地区に○をしてください。	東京都	404 人	26.7 %	
	関東地方（東京都を除く）	476	31.5	
	北海道	32	2.1	
	東北地方	35	2.3	
	中部地方	187	12.4	
	近畿地方	158	10.5	
	中国地方	66	4.4	
	四国地方	39	2.6	
	九州・沖縄地方	111	7.3	
	日本国外	3	0.2	
	無回答 3 人	合計	1,511	
39. 家族構成について、お伺いします。家族構成について、あてはまる方の番号に○をつけてください。 ※複数回答、回答者数を分母	父	1,408 人	93.4 %	
	母	1,484	98.4	
	在学中の兄弟姉妹	671	44.5	
	それ以外の兄弟姉妹	597	39.6	
	祖父	140	9.3	
	祖母	273	18.1	
	配偶者	4	0.3	
	親類	15	1.0	
	その他	6	0.4	
	無回答 6 人	合計	1,508	
	40. あなたの家庭を支持している方はだれですか。 ※複数回答、回答者数を分母	父	1,371 人	90.7 %
母		368	24.4	
本人		27	1.8	
兄弟姉妹		10	0.7	
祖父母		16	1.1	
配偶者		4	0.3	
その他		7	0.5	
無回答 3 人		合計	1,511	

41. あなたの親の職業は何ですか。あてはまる職種に○をしてください。	父親の職業	専門的・技術的職業	326人	22.6%				
		教育的職業	176	12.2				
		管理的職業	626	43.4				
		事務	101	7.0				
		農・林・漁業	5	0.3				
		生産工程・採掘作業	34	2.4				
		運輸・通信・保安・サービス	77	5.3				
		その他	47	3.3				
		無職（不動産収入・金利・年金生活者などを含む。）	51	3.5				
		無回答	71人					
		合計	1,443					
		母親の職業	専門的・技術的職業	149人	10.3%			
			教育的職業	190	13.1			
			管理的職業	36	2.5			
事務	224		15.5					
農・林・漁業	5		0.3					
生産工程・採掘作業	14		1.0					
運輸・通信・保安・サービス	114		7.9					
その他	144		9.9					
無職（不動産収入・金利・年金生活者などを含む。）	572		39.5					
無回答	66人							
合計	1,448							
42. 設問41で回答いただいた職業の雇用形態についてお伺いします。あてはまる雇用形態に○をしてください。	父親		自分一人（誰にも雇用されてない）	107人	7.6%			
			民間企業に勤務（民間企業・団体職員等）	840	59.8			
			官公庁に勤務（国・自治体、公共企業体等）	309	22.0			
		経営者・役員または人を雇用している	148	10.5				
		無回答	110人					
		合計	1,404					
	母親	自分一人（誰にも雇用されてない）	335人	30.3%				
		民間企業に勤務（民間企業・団体職員等）	534	48.2				
		官公庁に勤務（国・自治体、公共企業体等）	198	17.9				
		経営者・役員または人を雇用している	40	3.6				
		無回答	407人					
		合計	1,107					
	43. 設問41で回答いただいた勤務先の規模はどれにあたりますか。あてはまる規模に○をしてください。	父親	従業員が1,000人以上	650人	48.4%			
			従業員が100人以上1,000人未満	286	21.3			
従業員が10人以上100人未満			243	18.1				
従業員が10人未満			164	12.2				
無回答			171人					
合計			1,343					
母親		従業員が1,000人以上	162人	17.7%				
		従業員が100人以上1,000人未満	139	15.2				
		従業員が10人以上100人未満	343	37.4				
		従業員が10人未満	273	29.8				
		無回答	597人					
		合計	917					
44. あなたの親の昨年（2011年1月～12月）の年間税込み収入はどれくらいですか。給与生活者の場合はボーナスも含めてください。				度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
		年収（単位十万円）	758人	0十万円	5,600十万円	131.89十万円	247.000	
	わからない	724人						

## VII. 生活費の状況について

(単位：千円)

		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
45. あなた自身の生活費の状況について伺います。最近3ヶ月の実績から、平均1ヶ月の収支額を、該当しない場合は「0」を記入してください。	衣料費	1,463	0千円	250千円	7.25千円	10.886	
	食費	1,463	0	150	22.47	14.430	
	住居費	713	0	200	66.95	29.202	
	食費 自宅生は外食代(費)を記入する。	勉学費	1,458	0	300	8.10	11.847
	住居費 自宅外生のみ居住費を記入する。	教養・娯楽費	1,466	0	300	14.52	15.952
	勉学費 勉学に必要な書籍代、実習材料費、文房具類代、実習旅費等(授業料等の学校納付金を除く。)	通学費	1,459	0	63	6.22	6.775
	教養・娯楽費 教養・娯楽のための書籍代、サークルの支出、勉学以外の旅行の費用、校友費、スポーツ代、映画・演劇・音楽会の入場料等	雑費	1,453	0	136	11.40	9.044
		預貯金	1,430	0	2,000	12.04	55.879
		支出額合計	1,444	0	800	105.30	64.999
	雑費 理・美容代、タバコ代、化粧品代、ガソリン代、携帯電話代、インターネット代、医療費、水・光熱費等		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	預貯金 最近3ヶ月に預金した金額の1ヶ月当たりの平均預貯金額	家庭からの仕送り・小遣い	1,458人	0千円	300千円	58.39千円	55.077
	家庭からの仕送り・小遣い 親・兄弟・親類等からの仕送り、又は小遣い等	奨学金	1,400	0	210	11.90	28.580
	ローン・クレジット・借入金 最近3ヶ月に借りた金額の1ヶ月当たりの平均額	アルバイト・雑収入	1,447	0	200	27.95	30.807
	ローン・クレジット・借入金	1,379	0	50	0.26	2.551	
	その他の収入	1,261	0	315	1.78	14.445	
	収入額合計	1,438	0	523	97.78	64.273	
46. 大学の授業料はどのように負担していますか。 (複数回答有り)	家庭からの仕送り				1,320人	87.1%	
	奨学金				75	5.0	
	全額授業料免除				76	5.0	
	半額授業料免除				19	1.3	
	アルバイト・雑収入				11	0.7	
	その他				14	0.9	
	無回答	22人					
				合計	1,515		

## VIII. 通学・住居について

47. あなたは、現在どこに住んでいますか。どれか1つに○をつけてください。	東京23区	921人	61.0%			
	東京（23区外）	182	12.1			
	横浜市	117	7.7			
	川崎市	54	3.6			
	神奈川県（「横浜市・川崎市」を除く）	45	3.0			
	さいたま・川口・蕨の各市	42	2.8			
	埼玉県（「さいたま・川口・蕨の各市」を除く）	59	3.9			
	千葉・船橋・市川・習志野・松戸の各市	43	2.8			
	千葉県（「千葉・船橋・市川・習志野・松戸の各市」を除く）	31	2.1			
	その他の県	16	1.1			
	無回答	4人	合計	1,510		
48. あなたの居住形態はどれにあたりますか。どちらかに○をつけてください。	自宅	762人	50.9%			
	自宅外	736	49.1			
	無回答	16人	合計	1,498		
設問48で【居住形態が「2. 自宅外」】を選んだ方に伺います。	分譲マンション	16人	2.2%			
	賃貸マンション・アパート（バス付き）	509	69.3			
49. 現在あなたが住んでいるのはどれですか。どれか1つに○をつけてください。	アパート（バスなし）・下宿	55	7.5			
	東大の寮	60	8.2			
	その他の寮	82	11.2			
	その他	12	1.6			
	無回答	780人	合計	734		
50. 学寮・学生宿舎等を作れば、あなたは入居しますか。どれか1つに○をつけてください。	入居する	289	19.2%			
	入居しない	516	34.2			
	入居費による	525	34.8			
	わからない	178	11.8			
	無回答	6人	合計	1,508		
51. あなたが通学に通常利用している交通機関を記入してください。通常の通学で移動（乗車時間）の長い交通機関等を1つ選んでください。	電車	1,095人	72.5%			
	バス	10	0.7			
	自転車	294	19.5			
	徒歩のみ	110	7.3			
	バイク	1	0.1			
	自家用車	0	0.0			
	その他	1	0.1			
無回答	3人	合計	1,511			
52. 片道の通学所要時間はどれくらいですか。分単位で記入してください。		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
	所要時間	1,509人	1分	180分	46.64分	29.360

## Ⅷ. 奨学金について

53. 現在、日本学生支援機構から定期的な奨学金を受けていますか。どちらかに○をつけてください。	日本学生支援機構第一種奨学金（無利子奨学金）	135人	9.0%
	日本学生支援機構第二種奨学金（利子付奨学金）	110	7.3
	受けていない	1,255	83.7
	無回答 14人	合計	1,500
設問53で【奨学的な資金を「受けていない」と答えた方にお伺いします。 54. その理由はどれにあたりますか。どれか1つに○をつけてください。	出願したが採用されなかった	19人	1.6%
	事務手続きが煩雑だから申請しなかった	49	4.2
	掲示等に気がつかなかった	47	4.0
	出願資格がない	152	13.0
	書類を期限までに整えられなかった	14	1.2
	貸与なので申請しなかった	187	15.9
	受ける必要がない	686	58.5
	その他	19	1.6
	無回答 341人	合計	1,173
	設問54で「書類を期限までに整えられなかった」または「貸与なので申請しなかった」と答えた方にお伺いします。 55. これから奨学金を受けたいと思いますか。どちらかに○をつけてください。	受けたい	73人
受けたくない		98	57.3
設問53で【奨学的な資金を「受けていない」と答えた方にお伺いします。 56. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。主たるものを2つまで選んで○をつけてください。	家庭の経済的負担が軽減される	189人	44.7%
	多少ともゆとりのある生活ができる	59	13.9
	アルバイトが軽減される	46	10.9
	奨学金があるので生活が成り立っている	92	21.7
	定期的な収入になるので助かる	34	8.0
無回答 1,273人	合計	423	
57. 現在、他の団体から定期的に奨学金を受けていますか。どちらかに○をつけてください。	公益法人等・地方公共団体等の奨学金	79人	5.3%
	大学独自の奨学金（学内奨学金）	7	0.5
	受けていない	1,414	94.3
	無回答 14人	合計	1,500
設問57で【奨学的な資金を「受けていない」と答えた方にお伺いします。 58. その理由はどれにあたりますか。どれか1つに○をつけてください。	出願したが採用されなかった	38人	2.9%
	事務手続きが煩雑だから申請しなかった	61	4.7
	掲示等に気がつかなかった	75	5.7
	出願資格がない	169	12.9
	書類を期限までに整えられなかった	11	0.8
	貸与なので申請しなかった	151	11.5
	受ける必要が無い	792	60.5
	その他	12	0.9
	無回答 205人	合計	1,309
	設問58で「書類を期限までに整えられなかった」または「貸与なので申請しなかった」と答えた方にお伺いします。 59. これから奨学金を受けたいと思いますか。どちらかに○をつけてください。	受けたい	56人
受けたくない		76	57.6
設問57で【奨学的な資金を「受けている」と答えた方にお伺いします。 60. 奨学金はどんな面で役に立っていますか。主たるものを2つまで選んで○をつけてください。	家庭の経済的負担が軽減される	62人	41.9%
	多少ともゆとりのある生活ができる	18	12.2
	アルバイトが軽減される	19	12.8
	奨学金があるので生活が成り立っている	34	23.0
	定期的な収入になるので助かる	13	8.8
無回答 1,428人	合計	148	

## X. アルバイトについて

61. 過去1年間にアルバイトをしましたか。次の中からどれか1つに○をつけてください。	継続的（1ヶ月以上）アルバイトをした	814人	54.5%			
	臨時的（1ヶ月未満）アルバイトをした	179	12.0			
	継続的+臨時的アルバイトをした	216	14.5			
	しなかった	285	19.1			
	無回答 20人	合計	1,494			
設問61で「過去1年間にアルバイトをした」と答えた方にお伺いします。 62. そのアルバイトの種類はどれにあたりますか。主たるものを2つまで選んでください。	家庭教師	320人	18.9%			
	塾講師	512	30.3			
	試験監督・採点	268	15.8			
	一般事務	105	6.2			
	単純労働	125	7.4			
	販売・セールス・サービス業	216	12.8			
	特殊技能（翻訳、通訳、プログラミング等）を要すること	36	2.1			
	コンピュータへの入力オペレータ	15	0.9			
	その他	94	5.6			
	無回答 314人	合計	1,691			
63. アルバイトに費やす時間と収入額はどれくらいでしたか。	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
	時間（単位：時間/月）	1,179	0時間	120時間	9.69時間	9.598
	収入額（単位：千円/月）	1,176	0千円	700千円	40.04千円	36.591
アルバイトに費やした時間は、往復時間を含め、一週間当たりの平均時間を記入してください。 収入額は1ヶ月当たりの平均金額を単位「千円」で記入してください。						
64. アルバイトをした目的はどれにあたりますか。どれか1つに○をつけてください。	生活費を稼ぐため	379人	31.7%			
	学費を稼ぐため	62	5.2			
	学生生活を楽しむため	413	34.6			
	社会経験のため	301	25.2			
	その他	40	3.3			
無回答 319人	合計	1,195				
設問61で「継続的アルバイトをした」または「継続的+臨時的アルバイトをした」と答えた方にお伺いします。 65. 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんでしたか。どちらか1つに○をつけてください。	かなり妨げになった	77人	7.7%			
	多少妨げになった	440	44.0			
	妨げにならなかった	484	48.4			
	無回答 513人	合計	1,001			
66. 現在の暮らし向きについてどうお考えですか。次の中からどれか1つに○をつけてください。	かなり楽な方	441人	29.2%			
	やや楽な方	373	24.7			
	普通	469	31.1			
	やや苦しい方	173	11.5			
	大変苦しい方	41	2.7			
	わからない	13	0.9			
	無回答 4人	合計	1,510			



## 資料 2

### クロス集計表

ここでは、「調査票」のそれぞれの設問項目と、所要な基本項目とのクロス集計を行ったものを一括して順次掲載した。また、前回調査との比較のため今回調査と同じ設定をしている調査項目の数値を、適宜、各集計表の中で（ ）内に示した。

#### 表の見方

1. 百分率（パーセント）表示については、小数点第一位までを有効数字として算出した。
2. 各項目の無回答を除いた百分率あるいは平均を示した。
3. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。

「全体」-----回答者全員の比率を示す。

「自宅」-----自宅通学者（親と同居）を示す。

「自宅外」-----賃貸マンション、アパート、下宿、学寮、他寮の居住者を一括して示す。

「その他の寮」-----地方公共団体等が設置した学生寮の居住者を示す。

「前期課程」-----1、2年生を示す。

「後期課程」-----3、4年生（医学部医学科・農学部獣医課程・薬学部薬学科は5、6年生を含む。）を示す。

「文科系」「理科系」---在籍する学部、学科等により二つの系に区分したものを示す。

1-1表 東大入学をどの程度希望していましたか（問8）

区 分	浪人しても東大に入りたい と思っていた	東大がだめなら他大学 でもよいと思った	他大学がだめなら東大でもよいと思った	事例数
2010年調査(60回)	% (58.2)	% (40.4)	% (1.3)	人 (1,444)
全 体	60.0	39.2	0.8	1,507
男 子	62.1	37.0	0.9	1,073
女 子	50.6	48.7	0.6	310
男子	前期課程	36.5	0.6	521
	後期課程	37.5	1.3	550
女子	前期課程	50.0	0.0	154
	後期課程	51.3	1.3	156
男子	文科系	35.6	1.1	441
	理科系	37.9	0.8	630
女子	文科系	50.9	0.6	167
	理科系	46.2	0.7	143

1-2表 東大入学の動機（問9）（3つまで選択） ※複数回答、回答者数を分母

区 分	社会的評価が 高いから	スタッフ・設 備が優れてい るから	将来の就職を 考えて	難関を突破し たかったから	私大に比べて 授業料が安い から	東大の伝統や 雰囲気憧れ て	入学後に学部 の選択が可能 だから	親・兄弟・姉 妹の勧めで	高校の先生や 友人などの勧 め	そ の 他	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (52.6)	% (26.3)	% (28.1)	% (27.7)	% (37.5)	% (22.0)	% (43.9)	% (5.6)	% (18.5)	% (8.9)	人 (1,443)
全 体	51.9	23.9	30.3	28.9	38.4	22.4	41.6	6.3	19.4	8.4	1,512
男 子	54.9	23.6	32.3	30.3	38.8	19.0	39.7	5.4	18.3	9.0	1,076
女 子	44.4	19.6	24.4	26.0	40.5	32.5	47.9	10.6	24.4	5.5	311
男子 前期課程	55.7	23.0	36.5	30.7	41.1	18.2	39.2	5.4	17.9	7.5	521
男子 後期課程	54.1	24.2	28.2	30.0	36.7	19.5	40.3	5.4	18.8	10.5	553
女子 前期課程	44.2	22.1	29.9	23.4	41.6	31.2	44.8	13.6	26.0	4.5	154
女子 後期課程	44.6	17.2	19.1	28.7	39.5	33.8	51.0	7.6	22.9	6.4	157
男子 文科系	59.3	15.6	41.2	35.5	36.0	24.4	26.2	5.0	19.0	9.5	442
男子 理科系	51.7	29.3	25.9	26.7	40.8	15.0	49.2	5.7	17.9	8.7	632
女子 文科系	48.8	11.9	23.2	31.0	35.1	35.7	47.6	10.1	25.6	5.4	168
女子 理科系	39.2	28.7	25.9	20.3	46.9	28.7	48.3	11.2	23.1	5.6	143

1-3表 入学時に進学する学部・学科等を決めていましたか（問10）

区 分	学科等まで 決めていた	学部のみを 決めていた	学部、学科等は 決めていなかった	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (24.2)	% (32.5)	% (43.3)	人 (1,444)
全 体	20.6	33.1	46.3	1,510
男 子	19.4	33.9	46.7	1,075
女 子	21.3	32.9	45.8	310
文科系	16.7	44.2	39.1	647
理科系	23.4	24.9	51.7	860

1-4表 現在在籍している学部・学科等(科類)に満足していますか(問11)

区分		満足 している	まあ満足 している	どちらとも 言えない	やや不満 である	不満 である	事例数
2010年調査(60回)		% (34.1)	% (42.6)	% (12.2)	% (6.9)	% (4.2)	人 (1,441)
全体		35.0	42.9	12.2	6.2	3.7	1,508
男子		33.6	43.4	12.5	6.3	4.2	1,073
女子		39.0	42.9	10.6	5.2	2.3	310
男子	前期課程	31.2	42.2	16.8	6.4	3.5	519
	後期課程	35.8	44.6	8.5	6.4	4.7	551
女子	前期課程	40.3	45.5	11.0	1.9	1.3	154
	後期課程	37.8	40.4	10.3	8.3	3.2	156
男子	文科系	35.8	41.7	11.3	7.0	4.1	441
	理科系	32.0	44.7	13.4	5.9	4.1	629
女子	文科系	37.1	41.9	12.0	5.4	3.6	167
	理科系	41.3	44.1	9.1	4.9	0.7	143

1-5表 教養学部前期課程の授業に満足していますか(問12)

区分		満足	まあ満足	どちらとも 言えない	やや不満	不満	事例数
2010年調査(60回)		% (10.2)	% (38.0)	% (23.7)	% (19.8)	% (8.4)	人 (1,445)
全体		8.1	37.5	25.8	18.2	10.5	1,509
男子		7.1	35.3	26.9	19.2	11.6	1,075
女子		12.0	46.6	23.0	13.3	5.2	309
前期課程	文科一類	14.6	39.8	22.3	18.4	4.9	103
	文科二類	7.1	35.7	25.0	17.9	14.3	84
	文科三類	8.8	45.6	20.8	16.8	8.0	125
	理科一類	4.6	37.6	30.4	18.6	8.7	263
	理科二類	6.5	39.1	33.3	10.1	10.9	138
	理科三類	5.3	36.8	21.1	21.1	15.8	19
後期課程	法学部	9.3	37.0	21.3	17.6	14.8	108
	経済学部	12.5	42.5	27.5	11.3	6.3	80
	文学部	7.0	31.4	33.7	16.3	11.6	86
	教育学部	3.8	30.8	30.8	19.2	15.4	26
	教養(文系)	5.9	50.0	23.5	17.6	2.9	34
	教養(理系)	7.7	38.5	30.8	7.7	15.4	13
	理学部	11.0	38.4	20.5	17.8	12.3	73
	工学部	6.0	29.8	24.8	28.0	11.5	218
	農学部	4.8	40.3	19.4	25.8	9.7	62
	薬学部	8.0	28.0	28.0	16.0	20.0	25
医学部	22.9	41.7	14.6	8.3	12.5	48	
文科系	9.4	39.3	24.8	16.7	9.8	646	
理科系	7.0	36.1	26.7	19.3	10.9	859	

1-6表 進学振分け制度についてどのように考えていますか（問13）

区 分		特に考えている ことはない	現行のままでよ い	入試時にもう少し 細かく進路を決め る制度の方がよい	点数以外の振り 分け基準を取り 入れた方がよい	事例数
2010年調査(60回)		% (24.0)	% (39.9)	% (14.3)	% (21.8)	人 (1,440)
全 体		19.0	34.8	15.8	30.4	1,501
男 子		19.3	34.0	16.5	30.2	1,070
女 子		19.8	38.3	12.7	29.2	308
前期課程	文科一類	10.9	32.7	23.8	32.7	101
	文科二類	11.9	17.9	32.1	38.1	84
	文科三類	12.0	28.0	14.4	45.6	125
	理科一類	17.5	29.7	14.4	38.4	263
	理科二類	17.3	30.9	15.1	36.7	139
	理科三類	36.8	15.8	26.3	21.1	19
後期課程	法学部	24.3	33.6	12.1	29.9	107
	経済学部	18.8	51.3	12.5	17.5	80
	文学部	23.5	34.1	9.4	32.9	85
	教育学部	11.5	19.2	11.5	57.7	26
	教養(文系)	17.6	41.2	2.9	38.2	34
	教養(理系)	23.1	23.1	0.0	53.8	13
	理学部	14.1	47.9	21.1	16.9	71
	工学部	24.5	44.9	14.8	15.7	216
	農学部	16.4	42.6	19.7	21.3	61
	薬学部	12.5	54.2	16.7	16.7	24
	医学部	42.9	34.7	10.2	12.2	49

1-7表 進学決定(内定)について（問14）

区 分		希望通り 決定した	ほぼ希望通り 決定した	希望通りで なかった	事 例 数
2010年調査(60回)		% (79.5)	% (14.9)	% (5.6)	人 (1,084)
全 体		83.2	11.8	5.0	1,106
男 子		82.4	12.3	5.3	791
女 子		84.1	12.3	3.6	220
前期課程 (進学内定者)	文科一類	95.8	4.2	0.0	48
	文科二類	89.7	2.6	7.7	39
	文科三類	76.3	22.0	1.7	59
	理科一類	79.2	15.8	5.0	120
	理科二類	72.5	20.3	7.2	69
	理科三類	100.0	0.0	0.0	9
後期課程	法学部	98.1	1.0	1.0	105
	経済学部	92.3	5.1	2.6	78
	文学部	67.1	18.8	14.1	85
	教育学部	84.6	11.5	3.8	26
	教養(文系)	76.5	11.8	11.8	34
	教養(理系)	69.2	15.4	15.4	13
	理学部	88.7	8.5	2.8	71
	工学部	80.6	15.2	4.1	217
	農学部	73.3	18.3	8.3	60
	薬学部	100.0	0.0	0.0	25
	医学部	93.3	4.4	2.2	45

1-8表 現在のカリキュラムに満足していますか(問15)

区分		満足 している	まあ満足 している	どちらとも 言えない	やや不満 である	不満 である	事例数
2010年調査(60回)		% (11.6)	% (45.1)	% (22.1)	% (15.7)	% (5.5)	人 (1,442)
全体		12.2	48.7	18.3	14.2	6.6	1,460
男子		11.3	47.4	19.8	13.9	7.6	1,037
女子		14.0	53.2	15.1	13.4	4.3	299
前期課程	文科一類	14.3	46.2	15.4	19.8	4.4	91
	文科二類	8.4	45.8	21.7	13.3	10.8	83
	文科三類	7.9	49.1	18.4	21.1	3.5	114
	理科一類	9.4	42.6	24.2	17.2	6.6	244
	理科二類	9.9	39.7	27.5	19.1	3.8	131
	理科三類	10.5	42.1	21.1	15.8	10.5	19
後期課程	法学部	11.1	40.7	21.3	16.7	10.2	108
	経済学部	15.0	60.0	10.0	7.5	7.5	80
	文学部	19.5	52.9	9.2	13.8	4.6	87
	教育学部	7.7	61.5	15.4	7.7	7.7	26
	教養(文系)	2.9	61.8	14.7	17.6	2.9	34
	教養(理系)	0.0	69.2	15.4	0.0	15.4	13
	理学部	28.8	41.1	13.7	6.8	9.6	73
	工学部	13.3	57.8	15.6	6.9	6.4	218
	農学部	8.1	59.7	9.7	17.7	4.8	62
	薬学部	4.0	68.0	12.0	8.0	8.0	25
医学部	20.8	33.3	22.9	14.6	8.3	48	
文科系		11.7	49.9	16.2	15.6	6.6	623
理科系		12.5	47.9	19.8	13.2	6.6	833
男子	前期課程	9.5	41.6	24.6	17.4	6.8	483
	後期課程	12.7	52.6	15.6	10.9	8.2	551
女子	前期課程	11.3	52.8	16.9	14.8	4.2	142
	後期課程	16.6	53.5	13.4	12.1	4.5	157

1-9表 現在のカリキュラムは消化できますか(問16)

区分		できる	まあできる	多少困難	できない	事例数
2010年調査(60回)		% (31.9)	% (46.9)	% (18.4)	% (2.8)	人 (1,442)
全体		33.5	47.0	17.0	2.5	1,461
男子		33.0	46.9	16.9	3.2	1,038
女子		32.1	50.8	16.4	0.7	299
前期課程	文科一類	35.9	50.0	14.1	0.0	92
	文科二類	25.3	50.6	20.5	3.6	83
	文科三類	31.6	50.9	15.8	1.8	114
	理科一類	20.9	50.0	24.6	4.5	244
	理科二類	26.7	42.0	29.0	2.3	131
	理科三類	10.5	78.9	10.5	0.0	19
後期課程	法学部	19.4	55.6	21.3	3.7	108
	経済学部	50.0	40.0	10.0	0.0	80
	文学部	52.9	40.2	5.7	1.1	87
	教育学部	38.5	53.8	3.8	3.8	26
	教養(文系)	58.8	35.3	2.9	2.9	34
	教養(理系)	38.5	53.8	7.7	0.0	13
	理学部	39.7	37.0	21.9	1.4	73
	工学部	38.5	46.3	11.5	3.7	218
	農学部	45.2	43.5	11.3	0.0	62
	薬学部	40.0	48.0	12.0	0.0	25
医学部	37.5	35.4	22.9	4.2	48	
文科系		36.4	47.9	13.8	1.9	624
理科系		31.5	46.0	19.6	3.0	833
男子	前期課程	26.4	48.8	21.1	3.7	484
	後期課程	39.0	45.0	13.2	2.7	551
女子	前期課程	21.8	56.3	21.1	0.7	142
	後期課程	41.4	45.9	12.1	0.6	157

1-10表 学部卒業後の進路予定（問17）

区 分	大学院 修士課程 に進学する	大学院 博士課程 に進学する	専門職 学位課程 に進学する	学士入学 をする	就職する	進学も就職も しない	起業する	まだ決めて いない	その他	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (42.6)	% (4.7)	% (4.3)	% (0.6)	% (31.4)	% (0.2)	% (0.2)	% (14.5)	% (1.5)	人 (1,453)
全 体	38.4	10.3	2.4	0.5	36.4	0.5	0.1	10.3	1.0	1,460
男 子	40.4	10.6	2.6	0.4	34.3	0.5	0.2	10.3	0.8	1,038
女 子	26.8	9.0	2.3	0.7	47.2	0.7	0.0	12.4	1.0	299
前期課程	34.0	13.3	1.6	0.4	31.8	0.1	0.1	18.2	0.3	682
後期課程	42.1	7.8	3.1	0.5	40.3	0.9	0.1	3.5	1.7	774
文 科 系	15.4	4.0	4.8	0.5	63.1	1.0	0.2	9.9	1.1	624
理 科 系	55.5	15.1	0.6	0.5	16.2	0.2	0.1	10.7	1.0	832
男子	文科系 15.0	3.8	5.4	0.2	64.3	0.7	0.2	9.9	0.5	426
女子	理科系 58.0	15.4	0.7	0.5	13.3	0.3	0.2	10.7	1.0	609
男子	文科系 16.0	4.3	3.7	0.6	61.7	1.2	0.0	11.1	1.2	162
女子	理科系 39.4	14.6	0.7	0.7	29.9	0.0	0.0	13.9	0.7	137

1-11表 大学院進学の原因（問18）

（2つまで）

区 分	より高度の知 識・技術を身に 付けるため	大学で教育・研 究職に就くた め	大学外で研 究職に就く ため	必要な資格を 得るため	良い就職先を 得るため	まだ社会に出 たくないから	就職先が決ま らないから	周囲に勧め られたから	大学院修了という ことの社会的評価 が高いから	学部での進 路指導に従 って	その他	事 例 数
2010年調査(60 回)	% (43.6)	% (10.4)	% (6.4)	% (8.5)	% (13.5)	% (8.2)	% (1.0)	% (1.3)	% (3.9)	% (1.9)	% (1.3)	人 (1,334)
全 体	41.8	12.0	7.7	5.6	13.6	10.2	1.2	1.4	3.2	1.7	1.7	1,389
男 子	42.0	11.8	7.0	6.0	14.6	10.1	1.4	1.5	3.8	1.9	1.9	1,017
女 子	42.4	12.9	11.4	7.6	11.0	11.4	1.0	0.5	0.5	1.4	0.5	210
男子	前期課程 41.4	15.0	7.7	4.6	17.2	5.1	0.7	1.5	5.1	1.8	0.7	454
女子	後期課程 42.6	9.3	6.4	7.2	12.3	14.1	1.8	1.4	2.9	2.0	3.0	559
男子	前期課程 42.3	17.3	10.6	8.7	11.5	7.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	104
女子	後期課程 42.5	8.5	12.3	6.6	10.4	15.1	1.9	0.9	0.9	0.9	0.9	106
男子	文科系 43.1	14.4	1.7	27.1	2.2	9.9	1.1	0.6	0.0	0.0	2.2	181
女子	理科系 41.8	11.3	8.2	1.4	17.2	10.1	1.3	1.7	4.7	2.3	1.9	832
男子	文科系 40.6	15.9	5.8	20.3	2.9	11.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	69
女子	理科系 43.3	11.3	14.2	1.4	14.9	11.3	0.0	0.7	0.7	2.1	0.7	141

1-12表 1週間の平均的な生活時間（問19）

1-12-1表 授業・実験への出席

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
全体	% 6.3	% 11.3	% 12.9	% 14.7	% 16.9	% 20.5	% 10.7	% 6.7	人 1,507
男子	6.0	10.5	13.4	15.0	17.3	19.7	11.7	6.4	1,072
女子	5.5	13.9	11.6	13.5	16.5	24.8	7.7	6.5	310
文科系	2.3	15.5	16.4	20.5	19.8	19.8	4.3	1.2	645
理科系	9.3	8.3	10.3	10.4	14.6	21.0	15.5	10.7	858
前期課程	0.4	5.7	9.4	15.6	21.1	31.6	12.6	3.6	731
後期課程	11.9	16.7	16.2	13.9	12.8	10.0	8.9	9.6	772

1-12-2表 授業・実験の課題、準備・復習

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
全体	% 12.2	% 42.7	% 25.8	% 10.2	% 3.9	% 2.4	% 1.3	% 1.5	人 1,499
男子	11.9	41.9	26.3	10.3	4.3	2.1	1.4	1.8	1,066
女子	12.9	45.3	23.9	9.7	3.9	2.9	0.6	0.6	309
文科系	10.0	46.7	27.3	8.1	3.9	1.9	1.2	0.9	642
理科系	13.8	39.7	24.6	11.8	3.8	2.8	1.4	2.0	853
前期課程	3.8	44.9	31.9	9.9	4.0	3.0	1.5	1.0	730
後期課程	20.1	40.7	19.9	10.6	3.7	1.8	1.2	2.1	765

1-12-3表 卒業研究・実験・卒論

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
全体	% 10.3	% 9.0	% 12.8	% 7.6	% 10.7	% 6.2	% 5.2	% 38.3	人 290
男子	11.4	7.6	14.2	7.1	10.4	5.2	3.3	40.8	211
女子	9.1	16.4	12.7	9.1	14.5	9.1	3.6	25.5	55
文科系	25.0	17.7	18.8	8.3	12.5	6.3	2.1	9.4	96
理科系	3.1	4.6	9.8	7.2	9.8	6.2	6.7	52.6	194

1-12-4表 授業とは関係ない学修

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
全体	% 34.0	% 40.5	% 12.5	% 4.9	% 2.7	% 1.8	% 0.8	% 2.7	人 1,465
男子	32.8	40.7	12.5	5.6	2.8	2.0	0.9	2.9	1,044
女子	40.1	41.4	10.6	3.0	1.7	1.3	1.0	1.0	302
文科系	25.3	43.3	14.0	5.8	4.3	2.4	0.8	4.0	621
理科系	40.4	38.6	11.3	4.3	1.5	1.3	0.7	1.8	841
前期課程	40.2	41.2	10.5	3.7	1.4	1.1	0.6	1.3	711
後期課程	28.1	40.1	14.2	6.1	4.0	2.4	0.9	4.1	751

1-12-5表 サークル・クラブ活動

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
全体	% 29.1	% 26.9	% 18.8	% 13.0	% 5.3	% 2.6	% 1.6	% 2.8	人 1,482
男子	27.7	27.7	18.6	12.6	5.1	2.9	1.9	3.5	1,056
女子	32.0	28.1	18.8	12.9	5.0	1.3	0.7	1.3	303
文科系	26.8	27.6	19.4	12.2	5.9	2.9	2.1	3.2	630
理科系	31.0	26.2	18.2	13.6	4.8	2.4	1.3	2.6	848
前期課程	18.8	26.4	22.2	18.2	5.7	2.9	2.4	3.5	720
後期課程	39.2	27.2	15.3	8.0	4.9	2.2	0.9	2.2	758

1-12-6表 アルバイト・仕事

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	32.9	29.7	21.7	9.5	3.6	1.6	0.3	0.7	1,482
男子	33.7	29.9	20.6	9.4	3.8	1.5	0.3	0.8	1,053
女子	27.1	32.0	24.8	9.5	3.6	2.0	0.3	0.7	306
文科系	29.7	29.3	21.3	11.4	4.8	2.2	0.2	1.1	629
理科系	35.3	30.2	22.0	8.1	2.5	1.1	0.5	0.4	849
前期課程	31.8	30.7	21.0	10.9	2.8	1.8	0.4	0.6	714
後期課程	34.0	28.9	22.4	8.2	4.1	1.3	0.3	0.8	764

1-12-7表 学修（休暇中の生活時間）

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	12.6	39.3	17.4	10.1	6.3	4.2	2.6	7.5	1,482
男子	12.7	38.3	17.1	10.6	6.8	4.1	2.7	7.7	1,060
女子	12.6	45.7	17.2	7.6	4.0	4.3	3.0	5.6	302
文科系	9.3	39.7	16.9	10.9	7.4	4.9	3.1	7.9	635
理科系	15.2	38.9	17.8	9.5	5.5	3.7	2.3	7.2	843
前期課程	13.6	42.1	19.9	9.9	5.7	3.4	1.8	3.6	715
後期課程	11.8	36.6	15.1	10.2	6.8	5.0	3.4	11.1	763

1-12-8表 サークル・クラブ活動（休暇中の生活時間）

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	29.9	22.0	16.7	12.5	8.1	4.0	1.8	5.1	1,489
男子	28.7	21.4	17.3	12.5	8.1	4.0	1.9	6.1	1,064
女子	33.8	24.3	15.7	11.8	7.9	3.0	1.3	2.3	305
文科系	27.7	22.6	18.1	11.5	8.8	4.1	1.6	5.7	636
理科系	31.7	21.4	15.4	13.3	7.7	3.9	2.0	4.6	849
前期課程	21.9	22.4	16.3	15.7	10.2	5.0	1.9	6.5	722
後期課程	37.6	21.5	16.8	9.6	6.2	3.0	1.7	3.7	763

1-12-9表 アルバイト・仕事（休暇中の生活時間）

区分	0時間	1～5時間	6～10時間	11～15時間	16～20時間	21～25時間	26～30時間	31時間以上	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	33.3	23.9	17.9	12.7	6.1	2.8	1.4	2.0	1,477
男子	35.0	23.8	16.5	12.6	6.0	2.4	1.6	2.0	1,053
女子	27.2	24.6	20.3	13.8	6.6	4.9	1.3	1.3	305
文科系	29.8	24.3	17.3	13.3	7.9	4.1	1.3	1.9	630
理科系	35.9	23.7	18.4	12.2	4.6	1.7	1.5	2.0	844
前期課程	32.8	25.2	16.3	13.0	6.2	3.7	1.0	1.8	710
後期課程	33.8	22.8	19.4	12.4	5.9	1.8	1.8	2.1	764



1-13表 平日の夜、遅くまでキャンパス内にいることがありますか (問20)

区 分	夜12時過ぎまで キャンパスに いることはある	夜11時過ぎまで キャンパスに いることはある	夜10時過ぎまで キャンパスに いることはある	夜9時過ぎまで キャンパスに いることはある	夜9時まで キャンパスに いることはない	事 例 数	
2010年調査 (60回)	% (10.8)	% (7.0)	% (19.5)	% (24.7)	% (38.0)	人 (1,449)	
全 体	10.3	5.7	14.6	29.6	39.8	1,509	
男 子	10.8	5.6	15.1	28.4	40.1	1,074	
女 子	7.1	4.8	13.2	33.4	41.5	311	
文 科 系	4.5	1.7	15.8	32.4	45.7	646	
理 科 系	14.6	8.7	13.7	27.6	35.4	859	
地 区	駒場 (教養)	4.5	2.4	10.5	39.1	43.4	778
	本郷 弥生	16.5	8.0	18.9	20.5	36.1	665
	(農学)	14.5	22.6	19.4	9.7	33.9	62
前期課程	4.1	2.5	10.1	39.8	43.5	731	
後期課程	16.0	8.8	18.9	20.0	36.3	774	

1-14表 この半年で夜9時すぎまでキャンパスにいた回数 (問21)

区 分	半年で1、2回	月に1、2回	週に1、2回	週に3、4回	ほぼ毎日	事 例 数	
2010年調査 (60回)	% (12.1)	% (26.1)	% (33.1)	% (21.2)	% (7.4)	人 (890)	
全 体	14.1	25.7	34.3	17.1	8.8	909	
男 子	14.3	26.6	34.1	16.6	8.4	643	
女 子	15.9	23.6	35.2	20.3	4.9	182	
文 科 系	19.4	26.5	29.9	17.1	7.1	351	
理 科 系	10.6	25.2	37.1	17.1	9.9	555	
地 区	駒場 (教養)	13.0	25.2	38.9	17.5	5.5	440
	本郷 弥生	15.1	25.9	29.6	16.9	12.5	425
	(農学)	14.6	29.3	34.1	14.6	7.3	41
前期課程	13.1	25.2	39.5	16.7	5.6	413	
後期課程	14.8	26.2	30.0	17.4	11.6	493	

1-15表 冬学期が始まってから、土・日・祝日にキャンパス内に  
いることがありますか(問22)

区 分	いたことはない	いたことがある	事例数
2010年調査 (60回)	% (23.3)	% (76.7)	人 (1,433)
全 体	20.8	79.2	1,481
男 子	21.4	78.6	1,061
女 子	21.7	78.3	300
文 科 系	23.9	76.1	636
理 科 系	18.5	81.5	841
前期課程	19.7	80.3	716
後期課程	21.9	78.1	761

1-16表 冬学期が始まってから、土・日・祝日にキャンパス内にいた回数(問23)

区 分	月に1回	月に2回	月に3回	週に1回	毎回	その他	事例数
全 体	% 20.2	% 18.5	% 13.3	% 33.8	% 12.6	% 1.5	人 1,170
男 子	19.3	19.1	14.8	32.5	13.0	1.3	831
女 子	23.8	15.7	10.6	36.6	10.6	2.6	235
文 科 系	20.1	19.5	14.3	31.1	13.5	1.7	483
理 科 系	20.4	17.6	12.6	35.9	12.2	1.5	683
前期課程	22.0	16.4	10.8	37.6	11.5	1.7	574
後期課程	18.6	20.3	15.7	30.2	13.9	1.4	592

1-17表 秋入学構想について、どう受け止めていますか。(問24)

区分	賛成	反対	どちらとも言えない	分からない	事例数
	%	%	%	%	人
全体	27.8	35.5	29.6	7.1	1,503
男子	28.8	34.2	28.9	8.1	1,071
女子	24.6	36.9	34.3	4.2	309
文科系	31.2	35.3	27.9	5.6	645
理科系	25.3	35.8	30.8	8.1	854
前期課程	28.9	34.3	28.9	8.0	727
後期課程	26.8	36.9	30.2	6.1	772

1-18表 秋入学に移行した場合に、期待できることに何がありますか(問25)

※複数回答、回答者数を分母

区分	日本人学生の海外留学が大きく増える	留学生が大きく増える	様々な活動のために夏休みが一層有効に使える	特にメリットはない	わからない	事例数
	%	%	%	%	%	人
全体	32.2	33.2	22.8	29.0	9.5	1,499
男子	31.2	33.6	23.1	28.7	10.1	1,067
女子	34.5	32.9	21.9	27.4	7.7	310
文科系	35.2	34.0	23.4	27.6	8.2	645
理科系	29.9	32.5	22.4	30.0	10.6	850
前期課程	33.5	35.8	22.6	25.6	9.2	726
後期課程	30.9	30.6	23.0	32.1	9.9	769

1-19表 「ギャップターム」期間中の自主的な体験活動等の問題点(問26)

※複数回答、回答者数を分母

区分	すぐに大学の授業を受けたいというニーズが満たされない	学力の低下が生じる	有意義な過ごし方を見つけにくい	学生としての身分がないことによる不利益が生じる	経済的な条件によって体験活動の機会等に格差が生じる	出身地域によって体験活動の機会等に格差が生じる	その他	特になし	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	34.4	45.6	75.5	25.6	53.5	38.2	7.0	2.2	1,506
男子	34.7	45.8	74.5	25.3	50.4	37.6	7.0	2.4	1,072
女子	31.1	45.0	77.7	27.5	62.8	40.5	6.1	1.3	309
文科系	34.1	39.2	72.9	24.9	60.1	40.4	7.6	2.2	646
理科系	34.6	50.4	77.5	26.1	48.5	36.4	6.5	2.2	856
前期課程	34.4	53.4	76.3	27.0	50.6	38.0	5.8	2.2	729
後期課程	34.3	38.2	74.8	24.2	56.1	38.3	8.2	2.2	773

2-1表 どのような「部門」の職業に就きたいと思いますか(問27)

区 分		公務員	非営利団体	民間企業	自営業	起 業	その他	事例数
2010年調査(60回)		% (33.7)	% (6.0)	% (46.9)	% (4.4)	% (5.4)	% (3.7)	人 (2,298)
全 体		31.9	2.7	55.7	2.6	1.3	5.7	1,496
男 子		30.6	2.6	56.8	3.0	1.5	5.4	1,066
女 子		35.8	2.6	54.1	1.6	0.7	5.2	307
前期課程	文科一類	59.2	1.0	29.1	7.8	1.0	1.9	103
	文科二類	25.0	0.0	71.4	1.2	1.2	1.2	84
	文科三類	43.1	1.6	48.0	0.0	1.6	5.7	123
	理科一類	25.6	2.7	63.2	1.6	1.9	5.0	258
	理科二類	35.5	7.2	51.4	0.7	0.0	5.1	138
	理科三類	21.1	0.0	21.1	5.3	5.3	47.4	19
後期課程	法学部	44.4	1.9	38.0	13.0	0.0	2.8	108
	経済学部	27.5	1.3	66.3	1.3	3.8	0.0	80
	文学部	27.3	3.4	58.0	2.3	2.3	6.8	88
	教育学部	46.2	3.8	42.3	3.8	0.0	3.8	26
	教養(文系)	34.4	9.4	53.1	0.0	0.0	3.1	32
	教養(理系)	41.7	0.0	41.7	0.0	0.0	16.7	12
	理学部	34.2	4.1	47.9	2.7	0.0	11.0	73
	工学部	16.5	1.4	76.6	0.9	2.3	2.3	218
	農学部	31.7	1.7	61.7	1.7	0.0	3.3	60
	薬学部	12.5	4.2	66.7	0.0	0.0	16.7	24
医学部	37.0	4.3	26.1	2.2	0.0	30.4	46	
文 科 系		39.1	2.0	50.0	4.2	1.4	3.3	644
理 科 系		26.4	3.2	60.1	1.4	1.3	7.5	848

2-2表 どのような「職種」に就きたいと思いますか(問28)

区 分	大学・公的機関の教育・研究職	企業等の研究職	技術職	事務職	販売職	教育職(大学を除く)	行政職	管理職(会社役員等)	マスコミ(新聞記者、放送記者、アナウンサー、プロデューサー等)	専門職(医師、法曹、公認会計士等)	その他	事例数
2010年調査(60回)	% (17.4)	% (18.2)	% (13.3)	% (9.0)	% (1.6)	% (3.8)	% (8.5)	% (8.3)	% (4.5)	% (13.3)	% (2.2)	人 (2,638)
全 体	18.2	16.9	13.7	7.4	2.7	2.3	9.2	8.4	4.8	12.9	3.6	1,504
男 子	18.4	17.8	14.2	6.6	2.8	2.2	8.8	10.0	3.6	12.0	3.6	1,070
女 子	14.5	14.5	10.3	11.3	2.9	2.6	11.3	4.8	9.4	14.8	3.5	310
男子	前期課程 後期課程	18.0 17.5	14.7 13.6	4.3 8.9	1.9 3.6	2.5 2.0	10.1 7.5	10.6 9.5	3.1 4.0	9.7 14.2	3.9 3.5	517 550
女子	前期課程 後期課程	15.7 13.4	7.8 12.7	5.2 17.2	2.6 3.2	3.3 1.9	13.7 8.9	3.3 6.4	11.8 7.0	13.7 15.9	3.9 3.2	153 157
男子	文科系 理科系	1.8 28.9	0.5 23.8	13.6 1.8	5.7 0.8	3.0 1.8	18.0 2.2	18.6 4.0	6.6 1.4	17.3 8.3	4.8 2.9	440 627
女子	文科系 理科系	2.4 28.7	2.4 19.6	18.0 3.5	5.4 0.0	4.8 0.0	16.8 4.9	6.6 2.8	15.0 2.8	16.2 13.3	2.4 4.9	167 143

2-3表 その職業に就きたい理由(問29)

区 分	人を助けたり社会に奉仕できる	安定した生活が保障されている	十分な収入が期待できる	自分の特技・能力や専門知識が活かせる	国際的な仕事ができる	社会的な地位・名声が得られる	組織にしがらみなく、自由な活動ができる	人や組織を動かすことができる	独創性や創造性を発揮できる	その他	事例数
2010年調査(60回)	% (18.9)	% (12.8)	% (12.7)	% (25.8)	% (5.8)	% (4.1)	% (5.1)	% (4.7)	% (8.4)	% (1.7)	人 (3,423)
全 体	20.4	10.5	7.0	38.1	3.4	1.5	3.1	4.1	8.0	3.8	1,490
男 子	18.8	10.2	8.5	38.4	3.1	1.5	3.2	4.2	8.3	3.8	1,060
女 子	26.0	12.7	3.6	35.1	4.5	1.6	2.6	4.2	6.2	3.6	308
男子	前期課程 後期課程	10.7 9.6	9.4 7.7	37.8 39.2	3.7 2.6	1.6 1.5	2.3 4.0	4.1 4.4	9.0 7.7	4.9 2.8	513 544
女子	前期課程 後期課程	15.2 10.2	4.6 2.5	34.4 35.7	4.0 5.1	2.0 1.3	2.0 3.2	3.3 5.1	6.6 5.7	4.6 2.5	151 157
男子	文科系 理科系	13.7 7.6	9.6 7.7	22.4 49.8	4.8 1.9	2.7 0.6	3.4 3.1	8.0 1.6	4.6 11.0	4.3 3.4	437 620
女子	文科系 理科系	16.2 8.5	3.6 3.5	25.1 46.8	4.8 4.3	2.4 0.7	3.0 2.1	6.6 1.4	4.8 7.8	5.4 1.4	167 141

3-1表 現在の学生生活の中で、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか  
(問30)

3-1-1表 勉学(成績・単位など)

区 分		よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数
2010年調査 (60回)		% (27.4)	% (41.0)	% (23.5)	% (8.1)	人 (1,452)
全 体		26.3	40.8	24.6	8.3	1,508
男 子		25.9	39.0	26.5	8.7	1,073
女 子		30.5	43.4	19.3	6.8	311
男 子	前期課程	28.5	42.6	23.7	5.2	519
	後期課程	23.4	35.4	29.2	12.0	551
女 子	前期課程	32.5	50.0	15.6	1.9	154
	後期課程	28.7	36.9	22.9	11.5	157
男 子	文科系	25.9	39.7	27.9	6.6	441
	理科系	25.9	38.3	25.6	10.2	629
女 子	文科系	30.4	40.5	23.2	6.0	168
	理科系	30.8	46.9	14.7	7.7	143
男 子	自宅	25.3	39.8	25.1	9.8	533
	自宅外	26.9	37.7	27.8	7.6	528
女 子	自宅	27.8	42.6	24.9	4.7	169
	自宅外	33.6	44.3	12.9	9.3	140

3-1-2表 学部進学や大学院進学

区 分		よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数
2010年調査 (60回)		% (26.7)	% (34.8)	% (25.5)	% (13.0)	人 (1,451)
全 体		24.0	33.4	25.9	16.7	1,507
男 子		24.1	32.3	27.1	16.5	1,072
女 子		24.8	37.9	21.5	15.8	311
男 子	前期課程	25.2	37.6	27.2	10.0	519
	後期課程	23.1	27.1	27.3	22.5	550
女 子	前期課程	26.0	46.8	20.1	7.1	154
	後期課程	23.6	29.3	22.9	24.2	157
男 子	文科系	22.0	29.5	27.7	20.7	440
	理科系	25.6	34.0	26.9	13.5	629
女 子	文科系	23.8	39.9	17.3	19.0	168
	理科系	25.9	35.7	26.6	11.9	143
男 子	自宅	24.8	31.0	29.1	15.2	533
	自宅外	23.7	33.4	24.9	18.0	527
女 子	自宅	23.7	40.2	24.3	11.8	169
	自宅外	25.7	35.7	17.9	20.7	140

3-1-3表 就職

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数
2010年調査 (60回)	% (34.7)	% (36.8)	% (20.1)	% (8.3)	人 (1,452)
全 体	32.6	35.8	20.7	10.9	1,508
男 子	32.0	34.5	22.2	11.3	1,072
女 子	36.0	42.1	13.8	8.0	311
男子	前期課程 26.3	35.3	27.6	10.8	518
	後期課程 37.4	33.8	17.1	11.8	551
女子	前期課程 27.9	47.4	16.2	8.4	154
	後期課程 43.9	36.9	11.5	7.6	157
男子	文科系 39.9	34.7	17.2	8.2	441
	理科系 26.4	34.4	25.6	13.5	628
女子	文科系 44.0	39.3	10.7	6.0	168
	理科系 26.6	45.5	17.5	10.5	143
男子	自宅 31.0	33.6	23.1	12.2	532
	自宅外 33.3	35.2	21.0	10.4	528
女子	自宅 33.1	44.4	16.6	5.9	169
	自宅外 38.6	40.0	10.7	10.7	140

3-1-4表 将来の進路や生き方

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数
2010年調査 (60回)	% (46.3)	% (36.5)	% (12.7)	% (4.5)	人 (1,453)
全 体	46.2	37.6	12.3	3.9	1,505
男 子	45.0	37.1	14.0	3.8	1070
女 子	51.4	40.5	6.4	1.6	311
男子	前期課程 42.5	37.1	16.6	3.9	518
	後期課程 47.5	37.2	11.5	3.8	549
女子	前期課程 46.1	43.5	8.4	1.9	154
	後期課程 56.7	37.6	4.5	1.3	157
男子	文科系 51.1	34.3	11.1	3.4	440
	理科系 40.8	39.1	15.9	4.1	627
女子	文科系 57.1	37.5	4.8	0.6	168
	理科系 44.8	44.1	8.4	2.8	143
男子	自宅 45.4	35.5	14.3	4.9	533
	自宅外 44.8	38.9	13.5	2.9	525
女子	自宅 47.3	42.6	8.3	1.8	169
	自宅外 55.7	38.6	4.3	1.4	140

3-1-5表 友人との対人関係

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数
2010年調査 (60回)	% (12.9)	% (28.1)	% (41.3)	% (17.6)	人 (1,454)
全 体	12.3	28.2	43.8	15.6	1,508
男 子	12.0	27.6	45.2	15.2	1,073
女 子	12.2	32.5	41.5	13.8	311
男子	前期課程 11.9	28.7	46.1	13.3	519
	後期課程 12.2	26.5	44.6	16.7	551
女子	前期課程 13.0	37.7	37.7	11.7	154
	後期課程 11.5	27.4	45.2	15.9	157
男子	文科系 13.6	27.4	44.9	14.1	441
	理科系 11.0	27.7	45.6	15.7	629
女子	文科系 11.9	28.0	46.4	13.7	168
	理科系 12.6	37.8	35.7	14.0	143
男子	自宅 11.8	26.3	45.0	16.9	533
	自宅外 12.3	28.8	45.3	13.6	528
女子	自宅 14.2	30.2	40.2	15.4	169
	自宅外 10.0	35.0	42.9	12.1	140

3-1-6表 教職員との対人関係

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数	
2010年調査 (60回)	% (2.5)	% (7.8)	% (37.7)	% (52.1)	人 (1,450)	
全 体	2.3	7.9	40.2	49.6	1,506	
男 子	2.6	7.9	40.9	48.6	1,070	
女 子	1.0	8.0	37.6	53.4	311	
男子	前期課程 後期課程	1.4 3.8	3.7 11.8	38.1 43.8	56.9 40.5	517 550
女子	前期課程 後期課程	0.0 1.9	5.2 10.8	33.8 41.4	61.0 45.9	154 157
男子	文科系 理科系	0.9 3.8	6.8 8.6	37.4 43.6	54.9 43.9	441 626
女子	文科系 理科系	0.6 1.4	6.0 10.5	31.0 45.5	62.5 42.7	168 143
男子	自宅 自宅外	3.2 1.9	7.0 8.9	36.7 44.9	53.2 44.3	532 526
女子	自宅 自宅外	0.6 1.4	6.5 9.3	35.5 40.7	57.4 48.6	169 140

3-1-7表 性・異性・恋愛・結婚

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数	
2010年調査 (60回)	% (20.4)	% (35.1)	% (31.7)	% (12.8)	人 (1,453)	
全 体	20.3	41.0	25.9	12.9	1,509	
男 子	20.8	40.0	26.7	12.5	1,073	
女 子	19.9	45.3	22.8	11.9	311	
男子	前期課程 後期課程	21.6 20.1	40.1 39.9	27.4 26.1	11.0 13.8	519 551
女子	前期課程 後期課程	16.2 23.6	46.8 43.9	25.3 20.4	11.7 12.1	154 157
男子	文科系 理科系	21.3 20.5	39.7 40.2	26.3 27.0	12.7 12.2	441 629
女子	文科系 理科系	18.5 21.7	44.6 46.2	25.6 19.6	11.3 12.6	168 143
男子	自宅 自宅外	20.8 20.3	41.8 38.3	25.9 27.8	11.4 13.6	533 528
女子	自宅 自宅外	17.8 22.1	45.6 45.0	24.9 20.7	11.8 12.1	169 140

3-1-8表 経済的なことや経済的自立

区 分	よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事例数	
2010年調査 (60回)	% (22.3)	% (41.6)	% (26.5)	% (9.6)	人 (1,453)	
全 体	23.6	40.6	25.9	9.9	1,508	
男 子	24.8	39.9	26.0	9.2	1,072	
女 子	20.9	42.4	27.3	9.3	311	
男子	前期課程 後期課程	23.2 26.5	41.3 38.5	27.6 24.7	7.9 10.3	518 551
女子	前期課程 後期課程	23.4 18.5	38.3 46.5	29.9 24.8	8.4 10.2	154 157
男子	文科系 理科系	24.0 25.5	40.8 39.2	24.3 27.4	10.9 8.0	441 628
女子	文科系 理科系	21.4 20.3	39.9 45.5	29.2 25.2	9.5 9.1	168 143
男子	自宅 自宅外	23.8 25.8	37.1 43.6	28.1 23.3	10.9 7.4	533 528
女子	自宅 自宅外	18.9 22.9	38.5 47.9	33.7 19.3	8.9 10.0	169 140

3-1-9表 自分の性格

区 分		よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事 例 数
2010年調査 (60回)		% (21.7)	% (32.7)	% (31.4)	% (14.2)	人 (1,454)
全 体		21.2	33.8	31.3	13.7	1,508
男 子		19.7	33.3	32.5	14.6	1,072
女 子		26.4	37.3	28.0	8.4	311
男子	前期課程	21.0	34.1	32.6	12.3	519
	後期課程	18.5	32.5	32.4	16.5	550
女子	前期課程	26.0	38.3	30.5	5.2	154
	後期課程	26.8	36.3	25.5	11.5	157
男子	文科系	18.4	37.2	27.9	16.6	441
	理科系	20.7	30.6	35.7	13.1	628
女子	文科系	24.4	38.1	29.2	8.3	168
	理科系	28.7	36.4	26.6	8.4	143
男子	自宅	18.6	34.4	29.9	17.1	532
	自宅外	20.6	32.6	34.8	11.9	528
女子	自宅	28.4	32.0	33.1	6.5	169
	自宅外	24.3	42.9	22.1	10.7	140

3-1-10表 自分の体調や健康

区 分		よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事 例 数
2010年調査 (60回)		% (9.8)	% (24.7)	% (41.8)	% (23.7)	人 (1,454)
全 体		11.6	25.9	39.4	23.0	1,507
男 子		11.2	26.2	39.6	22.9	1,072
女 子		13.5	27.0	39.2	20.3	311
男子	前期課程	11.2	25.6	42.6	20.6	519
	後期課程	11.3	26.7	36.9	25.1	550
女子	前期課程	15.6	29.2	33.1	22.1	154
	後期課程	11.5	24.8	45.2	18.5	157
男子	文科系	9.8	24.5	41.7	24.0	441
	理科系	12.3	27.4	38.2	22.1	628
女子	文科系	13.1	29.2	39.9	17.9	168
	理科系	14.0	24.5	38.5	23.1	143
男子	自宅	11.3	23.5	39.7	25.6	532
	自宅外	10.8	29.0	39.8	20.5	528
女子	自宅	16.6	23.7	40.2	19.5	169
	自宅外	10.0	30.7	38.6	20.7	140

3-1-11表 人生の意義・目標

区 分		よく 悩む	ときどき 悩む	あまり 悩まない	全く 悩まない	事 例 数
2010年調査 (60回)		% (24.8)	% (36.6)	% (25.8)	% (12.7)	人 (1,429)
全 体		25.5	35.7	27.0	11.8	1,508
男 子		25.6	35.4	27.1	12.0	1,072
女 子		26.4	39.2	26.4	8.0	311
男子	前期課程	26.4	35.8	26.0	11.8	519
	後期課程	24.9	34.9	27.8	12.4	550
女子	前期課程	25.3	37.0	29.2	8.4	154
	後期課程	27.4	41.4	23.6	7.6	157
男子	文科系	25.6	35.1	27.2	12.0	441
	理科系	25.6	35.5	26.8	12.1	628
女子	文科系	29.2	39.9	24.4	6.5	168
	理科系	23.1	38.5	28.7	9.8	143
男子	自宅	23.7	34.0	28.2	14.1	532
	自宅外	27.3	36.9	25.8	10.0	528
女子	自宅	22.5	40.8	29.6	7.1	169
	自宅外	30.7	37.9	22.1	9.3	140



3-2表 あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか  
3-2-1表 父・母 (問31)

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (18.5)	% (24.6)	% (35.4)	% (21.5)	人 (1,451)
全 体	18.7	22.7	34.2	24.5	1,505
男 子	14.7	22.3	36.1	26.9	1,070
女 子	32.2	24.1	31.8	11.9	311
男子 前期課程	16.0	23.4	32.0	28.6	518
後期課程	13.5	21.5	39.7	25.3	549
女子 前期課程	31.8	25.3	26.0	16.9	154
後期課程	32.5	22.9	37.6	7.0	157
男子 文科系	15.2	21.6	35.0	28.2	440
理科系	14.4	23.0	36.7	26.0	627
女子 文科系	39.3	20.2	28.6	11.9	168
理科系	23.8	28.7	35.7	11.9	143
男子 自宅	14.7	23.0	36.5	25.8	531
自宅外	15.0	21.4	35.7	27.9	527
女子 自宅	32.0	24.3	30.8	13.0	169
自宅外	32.1	24.3	32.9	10.7	140

3-2-2表 兄弟・姉妹

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (4.1)	% (8.0)	% (19.1)	% (68.8)	人 (1,431)
全 体	3.4	6.6	20.4	69.7	1,484
男 子	2.6	5.5	20.9	71.0	1,058
女 子	6.3	10.6	20.8	62.4	303
男子 前期課程	2.9	5.1	18.4	73.6	511
後期課程	2.4	5.9	23.3	68.4	544
女子 前期課程	5.4	11.4	17.4	65.8	149
後期課程	7.1	9.7	24.0	59.1	154
男子 文科系	2.7	5.5	20.8	70.9	437
理科系	2.6	5.5	21.0	70.9	618
女子 文科系	6.7	11.7	20.2	61.3	163
理科系	5.7	9.3	21.4	63.6	140
男子 自宅	3.0	5.5	20.0	71.4	525
自宅外	2.3	5.2	22.0	70.6	523
女子 自宅	6.7	10.9	19.4	63.0	165
自宅外	5.9	10.3	22.1	61.8	136

3-2-3表 なんでも相談コーナー・学生相談所等

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまに 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (1.1)	% (1.4)	% (5.6)	% (91.9)	人 (1,448)
全 体	1.1	1.0	5.3	92.6	1,506
男 子	1.1	1.1	5.2	92.5	1,071
女 子	1.6	0.6	6.1	91.6	311
男子 前期課程	0.4	0.8	2.7	96.1	518
後期課程	1.8	1.5	7.6	89.1	550
女子 前期課程	0.6	0.6	2.6	96.1	154
後期課程	2.5	0.6	9.6	87.3	157
男子 文科系	1.1	1.6	6.6	90.7	441
理科系	1.1	0.8	4.3	93.8	627
女子 文科系	1.2	1.2	5.4	92.3	168
理科系	2.1	0.0	7.0	90.9	143
男子 自宅	1.5	1.3	5.1	92.1	532
自宅外	0.8	0.9	5.3	93.0	527
女子 自宅	1.2	1.2	7.7	89.9	169
自宅外	2.1	0.0	3.6	94.3	140

3-2-4表 大学の教職員

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (0.6)	% (2.1)	% (13.5)	% (83.8)	人 (1,448)
全 体	0.3	3.3	11.4	85.0	1,504
男 子	0.2	3.6	11.4	84.8	1,069
女 子	0.3	1.6	11.9	86.2	311
男子 前期課程	0.0	1.5	3.9	94.6	518
男子 後期課程	0.4	5.7	18.6	75.4	548
女子 前期課程	0.0	0.0	3.2	96.8	154
女子 後期課程	0.6	3.2	20.4	75.8	157
男子 文科系	0.0	5.0	9.1	85.9	440
男子 理科系	0.3	2.7	13.1	83.9	626
女子 文科系	0.0	0.6	9.5	89.9	168
女子 理科系	0.7	2.8	14.7	81.8	143
男子 自宅	0.0	4.0	10.9	85.1	531
男子 自宅外	0.4	3.4	11.8	84.4	527
女子 自宅	0.0	0.6	14.2	85.2	169
女子 自宅外	0.7	2.9	8.6	87.9	140

3-2-5表 大学内の同じ学科や研究室の友人

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (10.3)	% (25.0)	% (35.7)	% (29.0)	人 (1,450)
全 体	8.7	24.5	33.3	33.5	1,503
男 子	8.1	23.1	34.3	34.6	1,068
女 子	12.2	30.2	30.9	26.7	311
男子 前期課程	6.0	19.5	33.3	41.2	517
男子 後期課程	10.0	26.6	35.2	28.1	548
女子 前期課程	11.7	30.5	30.5	27.3	154
女子 後期課程	12.7	29.9	31.2	26.1	157
男子 文科系	9.8	22.3	32.5	35.5	440
男子 理科系	6.9	23.8	35.5	33.8	625
女子 文科系	12.5	32.1	29.8	25.6	168
女子 理科系	11.9	28.0	32.2	28.0	143
男子 自宅	9.1	21.2	34.8	35.0	529
男子 自宅外	6.8	25.2	33.8	34.2	527
女子 自宅	11.8	33.7	29.6	24.9	169
女子 自宅外	12.9	25.7	32.9	28.6	140

3-2-6表 大学内のサークルや団体の友人

区 分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (13.6)	% (25.2)	% (29.7)	% (31.5)	人 (1,446)
全 体	12.7	27.2	28.8	31.4	1,499
男 子	11.9	26.2	30.6	31.3	1,067
女 子	17.5	28.2	25.6	28.6	308
男子 前期課程	10.9	26.2	30.8	32.2	516
男子 後期課程	13.0	26.3	30.5	30.3	548
女子 前期課程	17.8	29.6	26.3	26.3	152
女子 後期課程	17.3	26.9	25.0	30.8	156
男子 文科系	14.4	27.1	28.9	29.6	439
男子 理科系	10.2	25.6	31.8	32.3	625
女子 文科系	19.2	28.7	29.9	22.2	167
女子 理科系	15.6	27.7	20.6	36.2	141
男子 自宅	13.8	25.3	30.4	30.6	530
男子 自宅外	10.1	27.4	30.7	31.8	525
女子 自宅	16.9	29.5	26.5	27.1	166
女子 自宅外	17.1	27.1	25.0	30.7	140

3-2-7表 大学外の友人

区分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (10.5)	% (24.1)	% (33.9)	% (31.5)	人 (1,452)
全 体	10.4	25.1	32.6	31.9	1,505
男 子	9.0	23.0	31.8	36.3	1,070
女 子	13.2	34.1	35.4	17.4	311
男子 前期課程	6.0	24.5	30.7	38.8	518
男子 後期課程	11.8	21.5	33.0	33.7	549
女子 前期課程	12.3	37.7	35.7	14.3	154
女子 後期課程	14.0	30.6	35.0	20.4	157
男子 文科系	10.7	24.3	30.5	34.5	440
男子 理科系	7.8	22.0	32.9	37.3	627
女子 文科系	13.1	34.5	40.5	11.9	168
女子 理科系	13.3	33.6	29.4	23.8	143
男子 自宅	9.6	22.2	33.3	34.8	531
男子 自宅外	8.5	23.9	30.0	37.6	527
女子 自宅	13.0	36.1	36.1	14.8	169
女子 自宅外	13.6	31.4	34.3	20.7	140

3-2-8表 先輩

区分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (5.5)	% (19.0)	% (31.9)	% (43.6)	人 (1,449)
全 体	4.5	20.1	31.9	43.5	1,505
男 子	4.2	20.8	30.5	44.5	1,069
女 子	6.1	19.6	34.4	39.9	311
男子 前期課程	2.9	16.6	30.6	49.9	517
男子 後期課程	5.5	24.8	30.6	39.2	549
女子 前期課程	6.5	21.4	32.5	39.6	154
女子 後期課程	5.7	17.8	36.3	40.1	157
男子 文科系	5.2	22.3	30.0	42.5	440
男子 理科系	3.5	19.8	31.0	45.7	626
女子 文科系	6.0	23.2	38.1	32.7	168
女子 理科系	6.3	15.4	30.1	48.3	143
男子 自宅	5.3	22.8	26.0	46.0	531
男子 自宅外	3.2	18.6	34.6	43.5	526
女子 自宅	4.7	20.7	32.5	42.0	169
女子 自宅外	7.9	18.6	35.7	37.9	140

3-2-9表 恋人

区分	よく 相談する	ときどき 相談する	たまたま 相談する	全く 相談しない	事例数
2010年調査 (60回)	% (11.1)	% (12.9)	% (14.3)	% (61.8)	人 (1,407)
全 体	11.8	12.5	12.5	63.2	1,493
男 子	8.0	11.9	12.2	68.0	1,061
女 子	23.7	15.3	13.0	48.1	308
男子 前期課程	6.3	9.4	8.6	75.7	511
男子 後期課程	9.7	14.1	15.5	60.7	547
女子 前期課程	15.1	11.2	11.2	62.5	152
女子 後期課程	32.1	19.2	14.7	34.0	156
男子 文科系	10.0	12.6	13.0	64.4	438
男子 理科系	6.6	11.3	11.6	70.5	620
女子 文科系	23.0	18.2	12.7	46.1	165
女子 理科系	24.5	11.9	13.3	50.3	143
男子 自宅	9.1	10.1	12.4	68.4	526
男子 自宅外	7.1	13.9	11.8	67.2	524
女子 自宅	23.2	15.5	11.9	49.4	168
女子 自宅外	23.2	15.2	14.5	47.1	138

3-3表 最近6ヶ月の間に、次の項目について、体験したり悩んだりしましたか(問32)

3-3-1表 強い不安に襲われた

区分	しばしば体験した	ときどき体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数	
2010年調査(60回)	% (15.4)	% (33.8)	% (24.6)	% (26.2)	人 (1,436)	
全体	17.0	29.5	27.0	26.5	1,508	
男子	16.1	28.6	27.6	27.7	1,704	
女子	21.3	33.9	25.8	19.0	310	
男子	前期課程 後期課程	12.9 19.2	29.2 28.1	26.9 27.9	31.0 24.7	520 551
女子	前期課程 後期課程	14.4 28.0	39.9 28.0	26.8 24.8	19.0 19.1	153 157
男子	文科系 理科系	17.7 15.1	31.7 26.5	25.9 28.6	24.7 29.8	441 630
女子	文科系 理科系	23.4 18.9	34.7 32.9	28.7 22.4	13.2 25.9	167 143
男子	自宅 自宅外	16.5 15.7	27.2 29.9	24.6 30.3	31.7 24.1	533 528
女子	自宅 自宅外	20.8 20.7	29.2 40.0	27.4 24.3	22.6 15.0	168 140

3-3-2表 自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを何度も確かめてみなければならなかった

区分	しばしば体験した	ときどき体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数	
2010年調査(60回)	% (8.8)	% (21.3)	% (29.2)	% (40.6)	人 (1,436)	
全体	9.7	18.3	28.3	43.7	1,507	
男子	9.5	18.7	29.2	42.6	1,075	
女子	11.0	19.5	26.6	42.9	308	
男子	前期課程 後期課程	10.0 9.1	19.0 18.5	30.0 28.4	41.0 44.0	520 552
女子	前期課程 後期課程	11.8 10.3	24.3 14.7	21.7 31.4	42.1 43.6	152 156
男子	文科系 理科系	8.6 10.1	20.0 17.9	31.1 27.9	40.4 44.1	441 631
女子	文科系 理科系	12.0 9.9	22.9 15.5	24.7 28.9	40.4 45.8	166 142
男子	自宅 自宅外	10.5 8.5	18.2 18.9	26.4 32.0	44.9 40.5	534 528
女子	自宅 自宅外	10.8 10.8	17.4 21.6	25.1 28.8	46.7 38.8	167 139

3-3-3表 人と話していても緊張したり、不安を感じた

区分	しばしば体験した	ときどき体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数	
2010年調査(60回)	% (8.1)	% (27.2)	% (33.4)	% (31.3)	人 (1,436)	
全体	9.6	25.2	31.3	33.9	1,504	
男子	9.2	25.5	31.8	33.6	1,070	
女子	11.3	25.2	32.9	30.6	310	
男子	前期課程 後期課程	8.9 9.5	24.6 26.5	33.7 30.0	32.9 34.0	517 550
女子	前期課程 後期課程	9.8 12.7	29.4 21.0	33.3 32.5	27.5 33.8	153 157
男子	文科系 理科系	7.3 10.5	28.4 23.7	31.6 31.9	32.7 34.0	437 630
女子	文科系 理科系	12.6 9.8	27.5 22.4	32.3 33.6	27.5 34.3	167 143
男子	自宅 自宅外	9.2 9.1	23.0 27.1	32.1 31.9	35.7 31.9	530 527
女子	自宅 自宅外	13.1 8.6	21.4 29.3	33.9 32.1	31.5 30.0	168 140

3-3-4表 他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (3.6)	% (10.5)	% (25.7)	% (60.2)	人 (1,436)
全 体	3.8	9.0	21.8	65.3	1,507
男 子	3.5	10.0	21.1	65.4	1,074
女 子	4.8	7.1	22.3	65.8	310
男子 前期課程	3.3	10.2	23.7	62.8	519
男子 後期課程	3.8	9.8	18.7	67.8	552
女子 前期課程	5.2	3.9	26.8	64.1	153
女子 後期課程	4.5	10.2	17.8	67.5	157
男子 文科系	3.0	11.1	21.8	64.1	440
男子 理科系	4.0	9.2	20.6	66.2	631
女子 文科系	4.8	7.2	25.7	62.3	167
女子 理科系	4.9	7.0	18.2	69.9	143
男子 自宅	3.7	9.4	20.8	66.1	534
男子 自宅外	3.2	10.6	21.3	64.9	527
女子 自宅	4.8	8.3	25.0	61.9	168
女子 自宅外	5.0	5.0	18.6	71.4	140

3-3-5表 バス・地下鉄・電車などの乗り物に乗るのがこわかった

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (1.1)	% (2.4)	% (9.5)	% (86.9)	人 (1,437)
全 体	2.0	2.4	10.7	84.9	1,506
男 子	1.7	2.8	10.4	85.2	1,072
女 子	3.2	1.3	10.3	85.2	310
男子 前期課程	1.7	2.7	10.8	84.8	519
男子 後期課程	1.6	2.7	10.2	85.5	550
女子 前期課程	3.9	1.3	9.2	85.6	153
女子 後期課程	2.5	1.3	11.5	84.7	157
男子 文科系	1.4	4.6	10.9	83.1	439
男子 理科系	1.9	1.4	10.2	86.5	630
女子 文科系	3.6	1.8	9.0	85.6	167
女子 理科系	2.8	0.7	11.9	84.6	143
男子 自宅	1.3	3.0	9.8	85.9	531
男子 自宅外	2.1	2.1	11.2	84.7	528
女子 自宅	3.6	1.2	11.9	83.3	168
女子 自宅外	2.9	1.4	8.6	87.1	140

3-3-6表 気分が落ち込んだり、何にも興味が持てなくなった

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (9.6)	% (27.8)	% (26.3)	% (36.3)	人 (1,436)
全 体	10.3	22.2	26.6	40.9	1,508
男 子	9.3	21.9	27.1	41.8	1,075
女 子	12.9	24.3	28.2	34.6	309
男子 前期課程	8.7	23.1	24.0	44.2	520
男子 後期課程	10.0	20.8	29.9	39.3	552
女子 前期課程	11.8	27.5	26.8	34.0	153
女子 後期課程	14.1	21.2	29.5	35.3	156
男子 文科系	7.7	21.8	28.8	41.7	441
男子 理科系	10.5	22.0	25.8	41.7	631
女子 文科系	14.4	28.7	29.3	27.5	167
女子 理科系	11.3	19.0	26.8	43.0	142
男子 自宅	7.9	21.5	24.5	46.1	534
男子 自宅外	10.6	22.0	29.5	37.9	528
女子 自宅	11.9	19.6	31.5	36.9	168
女子 自宅外	13.7	29.5	24.5	32.4	139

3-3-7表 人と一緒にいてもさびしい感じがした

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (6.1)	% (22.7)	% (27.1)	% (44.1)	人 (1,436)
全 体	7.2	19.9	26.4	46.5	1,509
男 子	6.9	17.5	27.3	48.4	1,075
女 子	9.0	29.0	27.1	34.8	310
男子 前期課程	6.7	18.1	27.1	48.1	520
後期課程	7.1	16.8	27.5	48.6	552
女子 前期課程	8.5	32.7	26.8	32.0	153
後期課程	9.6	25.5	27.4	37.6	157
男子 文科系	7.0	21.8	27.2	44.0	441
理科系	6.8	14.4	27.4	51.3	631
女子 文科系	12.0	27.5	29.3	31.1	167
理科系	5.6	30.8	24.5	39.2	143
男子 自宅	5.8	17.4	26.0	50.7	534
自宅外	8.0	17.2	28.0	46.8	528
女子 自宅	8.3	29.8	25.0	36.9	168
自宅外	9.3	27.9	30.0	32.9	140

3-3-8表 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (2.1)	% (5.6)	% (16.4)	% (76.0)	人 (1,436)
全 体	2.8	7.0	14.1	76.1	1,509
男 子	2.1	6.8	13.4	77.7	1,075
女 子	5.2	9.0	16.1	69.7	310
男子 前期課程	1.7	6.7	13.5	78.1	520
後期課程	2.5	6.9	13.2	77.4	552
女子 前期課程	3.9	9.2	15.7	71.2	153
後期課程	6.4	8.9	16.6	68.2	157
男子 文科系	2.5	6.8	15.4	75.3	441
理科系	1.9	6.8	11.9	79.4	631
女子 文科系	5.4	10.2	15.6	68.9	167
理科系	4.9	7.7	16.8	70.6	143
男子 自宅	2.6	5.4	13.7	78.3	534
自宅外	1.7	8.1	12.9	77.3	528
女子 自宅	7.7	10.7	19.0	62.5	168
自宅外	2.1	6.4	12.9	78.6	140

3-3-9表 イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (5.6)	% (18.0)	% (25.2)	% (51.2)	人 (1,435)
全 体	4.8	14.0	23.1	58.1	1,506
男 子	4.9	13.1	22.6	59.4	1,073
女 子	4.9	16.8	25.2	53.1	309
男子 前期課程	4.2	13.5	21.8	60.5	519
後期課程	5.6	12.9	23.4	58.1	551
女子 前期課程	4.6	16.3	26.8	52.3	153
後期課程	5.1	17.3	23.7	53.8	156
男子 文科系	5.7	13.9	22.5	58.0	440
理科系	4.4	12.7	22.7	60.2	630
女子 文科系	5.4	18.6	26.3	49.7	167
理科系	4.2	14.8	23.9	57.0	142
男子 自宅	6.2	12.6	21.4	59.8	532
自宅外	3.6	13.8	23.7	58.9	528
女子 自宅	4.8	13.1	31.0	51.2	168
自宅外	4.3	20.9	18.7	56.1	139

3-3-10表 やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (11.1)	% (26.1)	% (26.3)	% (36.5)	人 (1,436)
全 体	10.6	22.6	25.2	41.7	1,507
男 子	10.3	21.2	25.0	43.4	1,074
女 子	11.7	26.9	26.9	34.6	309
男子 前期課程	10.0	22.7	23.7	43.7	520
男子 後期課程	10.7	19.8	26.5	43.0	551
女子 前期課程	11.8	27.5	29.4	31.4	153
女子 後期課程	11.5	26.3	24.4	37.8	156
男子 文科系	8.2	21.4	26.6	43.9	440
男子 理科系	11.9	21.1	24.1	42.9	631
女子 文科系	13.3	29.5	27.1	30.1	166
女子 理科系	9.8	23.8	26.6	39.9	143
男子 自宅	9.7	18.4	24.5	47.4	534
男子 自宅外	10.8	24.3	25.2	39.7	527
女子 自宅	9.5	26.8	26.8	36.9	168
女子 自宅外	14.4	26.6	26.6	32.4	139

3-3-11表 ついつい過食してしまう傾向があった

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (7.8)	% (19.1)	% (23.5)	% (49.6)	人 (1,436)
全 体	7.6	16.6	21.4	54.4	1,509
男 子	5.9	14.2	20.7	59.3	1,075
女 子	13.5	25.2	25.2	36.1	310
男子 前期課程	5.2	12.9	22.9	59.0	520
男子 後期課程	6.5	15.4	18.7	59.4	552
女子 前期課程	17.6	25.5	24.8	32.0	153
女子 後期課程	9.6	24.8	25.5	40.1	157
男子 文科系	5.7	13.8	20.6	59.9	441
男子 理科系	6.0	14.4	20.8	58.8	631
女子 文科系	13.8	25.7	25.7	34.7	167
女子 理科系	13.3	24.5	24.5	37.8	143
男子 自宅	5.2	12.4	20.8	61.6	534
男子 自宅外	6.4	16.1	20.5	57.0	528
女子 自宅	12.5	20.2	28.0	39.3	168
女子 自宅外	15.0	30.7	22.1	32.1	140

3-3-12表 食欲がなくなり、食べ物を口にしたいと思わなかった

区分	しばしば 体験した	ときどき 体験した	あまり 体験しなかった	全く 体験しなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (2.0)	% (9.3)	% (18.7)	% (70.0)	人 (1,433)
全 体	3.0	9.1	18.6	69.3	1,509
男 子	2.5	8.0	18.0	71.5	1,075
女 子	4.8	14.2	21.0	60.0	310
男子 前期課程	2.1	7.1	19.8	71.0	520
男子 後期課程	2.9	8.9	16.3	71.9	552
女子 前期課程	5.9	8.5	20.9	64.7	153
女子 後期課程	3.8	19.7	21.0	55.4	157
男子 文科系	2.3	9.1	15.4	73.2	441
男子 理科系	2.7	7.3	19.8	70.2	631
女子 文科系	5.4	16.2	22.8	55.7	167
女子 理科系	4.2	11.9	18.9	65.0	143
男子 自宅	2.8	7.3	16.5	73.4	534
男子 自宅外	2.1	8.5	18.9	70.5	528
女子 自宅	6.0	11.9	22.0	60.1	168
女子 自宅外	3.6	15.7	20.0	60.7	140

3-4表 過去一年間に体の不調はありましたか(問33)

区 分	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	全くなかった	事例数	
2010年調査 (60回)	% (6.7)	% (36.4)	% (31.8)	% (25.2)	人 (1,436)	
全 体	6.1	27.4	34.7	31.8	1,502	
男 子	5.4	26.1	34.2	34.3	1,071	
女 子	8.4	34.1	34.4	23.1	308	
前期課程	文科一類	5.8	34.0	41.7	18.4	103
	文科二類	2.4	31.0	32.1	34.5	84
	文科三類	6.5	31.7	29.3	32.5	123
	理科一類	7.6	25.5	37.3	29.7	263
	理科二類	5.1	23.2	34.1	37.7	138
	理科三類	0.0	31.6	36.8	31.6	19
後期課程	法学部	8.3	27.8	30.6	33.3	108
	経済学部	2.5	17.5	40.0	40.0	80
	文学部	9.2	28.7	36.8	25.3	87
	教育学部	15.4	50.0	26.9	7.7	26
	教養(文系)	9.1	18.2	36.4	36.4	33
	教養(理系)	0.0	30.8	53.8	15.4	13
	理学部	12.7	19.7	35.2	32.4	71
	工学部	3.2	28.1	33.6	35.0	217
	農学部	5.0	30.0	36.7	28.3	60
	薬学部	8.0	32.0	16.0	44.0	25
医学部	4.2	27.1	31.3	37.5	48	

3-5表 過去一年間に体の不調があったとき、どのように対処しましたか(問34) (複数回答)

区 分	家族に 相談	大学内の 同じ学科 やサークルの友人・ 先輩に 相談	大学外の 友人・先 輩に相談	大学の教 職員に 相談	保健セン ターの診 療部を 受診	東大病院 を受診	保健セン ターの健 康管理室 に相談	地域のク リニック や病院を 受診	その他	事例数	
2010年調査 (60回)	% (28.3)	% (9.4)	% (2.7)	% (0.4)	% (17.1)	% (1.7)	% (3.6)	% (31.1)	% (5.9)	人 (1,880)	
全 体	28.7	8.4	3.0	0.5	15.6	1.5	1.1	31.9	9.3	1,553	
男 子	27.7	8.2	2.9	0.4	15.3	1.4	1.1	32.8	10.3	1,015	
女 子	32.8	9.4	3.6	1.0	16.1	1.9	1.2	28.7	5.3	415	
前期課程	文科一類	29.6	8.1	3.7	0.0	14.1	0.0	2.2	37.8	4.4	135
	文科二類	34.7	5.3	2.7	1.3	10.7	0.0	0.0	38.7	6.7	75
	文科三類	34.1	5.7	5.7	0.0	15.4	0.8	0.8	30.9	6.5	123
	理科一類	30.3	10.0	3.0	0.4	11.8	1.1	1.1	28.4	14.0	271
	理科二類	31.6	7.9	3.5	0.0	15.8	0.0	0.0	28.9	12.3	114
	理科三類	29.4	0.0	0.0	0.0	29.4	0.0	0.0	29.4	11.8	17
後期課程	法学部	33.9	5.4	2.7	0.0	17.0	3.6	0.0	34.8	2.7	112
	経済学部	21.6	8.1	1.4	0.0	10.8	4.1	1.4	33.8	18.9	74
	文学部	23.1	10.2	3.7	1.9	17.6	3.7	2.8	31.5	5.6	108
	教育学部	23.3	14.0	4.7	2.3	16.3	0.0	2.3	23.3	14.0	43
	教養(文系)	27.8	8.3	5.6	0.0	25.0	0.0	0.0	30.6	2.8	36
	教養(理系)	21.1	5.3	5.3	0.0	21.1	0.0	0.0	42.1	5.3	19
	理学部	27.0	3.2	0.0	0.0	27.0	0.0	0.0	30.2	12.7	63
	工学部	27.1	8.3	1.8	0.5	17.0	2.3	1.4	33.5	8.3	218
	農学部	26.4	16.7	2.8	2.8	12.5	1.4	1.4	25.0	11.1	72
	薬学部	29.2	8.3	0.0	0.0	29.2	0.0	4.2	29.2	0.0	24
医学部	19.1	12.8	4.3	0.0	10.6	4.3	0.0	38.3	10.6	47	



3-6表 過去一年間に、大学が行っている保健サービスを利用しましたか(問35) (複数回答)

区 分	大学のホームページや 掲示板に掲載された健康 情報や通知にアクセス	保健センターのホーム ページや掲示板に掲載 された健康情報や通知 にアクセス	保健センタ ーの定期健 康診断の受 診	保健センタ ーの健康診 断書や健康 診断証明書 の発行	病気やケガ 等で保健セ ンターを受 診	利用したこ とがない	その他	事例数	
2010年調査 (60回)	% (8.6)	% (11.9)	% (64.5)	% (11.5)	% (一)	% (一)	% (3.5)	人 (1,383)	
全 体	3.1	5.0	39.1	6.1	20.2	25.5	1.0	2,042	
男 子	2.7	4.8	37.6	6.6	19.0	28.3	0.9	1,429	
女 子	4.4	6.8	40.9	5.3	23.7	17.4	1.5	455	
前期課程	文科一類	5.2	5.9	28.9	4.4	22.2	32.6	0.7	135
	文科二類	3.4	1.1	23.6	1.1	16.9	52.8	1.1	89
	文科三類	0.7	4.0	30.7	2.7	24.0	36.7	1.3	150
	理科一類	2.9	2.6	31.3	3.2	17.7	41.0	1.3	310
	理科二類	2.9	3.5	29.5	5.2	20.2	37.6	1.2	173
	理科三類	0.0	4.3	34.8	0.0	26.1	34.8	0.0	23
後期課程	法学部	3.2	5.1	44.3	8.2	20.3	17.7	1.3	158
	経済学部	1.8	6.3	42.9	8.9	17.9	22.3	0.0	112
	文学部	4.4	8.0	42.3	10.2	20.4	13.1	1.5	137
	教育学部	2.4	14.3	40.5	7.1	19.0	14.3	2.4	42
	教養(文系)	5.4	5.4	46.4	7.1	21.4	14.3	0.0	56
	教養(理系)	4.8	4.8	42.9	14.3	19.0	14.3	0.0	21
	理学部	4.3	9.4	45.3	5.1	23.1	12.0	0.9	117
	工学部	1.7	3.8	51.7	4.5	19.6	18.5	0.0	286
	農学部	5.2	7.2	46.4	9.3	18.6	12.4	1.0	97
	薬学部	6.5	4.3	50.0	4.3	30.4	4.3	0.0	46
医学部	2.4	7.1	43.5	20.0	17.6	4.7	4.7	85	

3-7表 大学が行っている保健サービスに満足していますか(問36)

区 分	満 足	どちらとも言えない	不 満	事 例 数	
2010年調査 (60回)	% (39.0)	% (51.6)	% (9.4)	人 (1,428)	
全 体	35.9	55.6	8.5	1,508	
男 子	34.9	57.8	7.3	1,076	
女 子	38.6	48.7	12.7	308	
前期課程	文科一類	39.8	49.5	10.7	103
	文科二類	21.4	69.0	9.5	84
	文科三類	30.6	62.1	7.3	124
	理科一類	24.0	70.2	5.7	262
	理科二類	34.5	57.6	7.9	139
	理科三類	26.3	68.4	5.3	19
後期課程	法学部	41.7	50.0	8.3	108
	経済学部	42.5	52.5	5.0	80
	文学部	42.0	47.7	10.2	88
	教育学部	23.1	50.0	26.9	26
	教養(文系)	38.2	50.0	11.8	34
	教養(理系)	23.1	61.5	15.4	13
	理学部	55.6	36.1	8.3	72
	工学部	40.8	50.9	8.3	218
	農学部	47.5	44.3	8.2	61
	薬学部	40.0	48.0	12.0	25
医学部	41.7	45.8	12.5	48	

#### 4-1表 大学への要望や期待(問37)

##### 4-1-1表 カリキュラムの改革

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (24.8)	% (42.2)	% (25.0)	% (5.8)	% (2.3)	人 (1,441)
全 体	24.6	39.6	26.5	6.8	2.5	1,504
男 子	26.9	39.5	26.0	5.4	2.1	1,073
女 子	15.9	41.2	29.9	11.4	1.6	308
文 科 系	28.0	39.5	24.0	7.0	1.5	646
理 科 系	21.9	39.9	28.5	6.6	3.2	854
前 期 課 程	27.0	40.9	24.0	5.8	2.3	729
後 期 課 程	22.2	38.7	28.9	7.7	2.6	771

##### 4-1-2表 実験室や実習室の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (18.1)	% (34.2)	% (34.2)	% (8.9)	% (4.6)	人 (1,444)
全 体	18.8	29.2	36.6	9.7	5.7	1,502
男 子	19.7	28.3	36.7	8.9	6.3	1,073
女 子	15.0	31.9	38.8	11.1	3.3	307
文 科 系	13.2	22.4	43.8	12.6	8.1	644
理 科 系	23.0	34.5	30.9	7.6	4.0	854
前 期 課 程	17.2	26.8	41.1	9.6	5.2	727
後 期 課 程	20.2	31.6	32.0	9.9	6.2	771

##### 4-1-3表 進学振分け制度の改善

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (21.7)	% (28.6)	% (33.3)	% (11.2)	% (5.2)	人 (1,442)
全 体	21.3	32.0	31.8	11.5	3.3	1,505
男 子	23.2	29.9	32.3	11.2	3.4	1,074
女 子	17.2	38.3	30.8	11.7	1.9	308
文 科 系	24.0	34.6	26.0	12.5	2.9	647
理 科 系	19.3	30.1	36.4	10.8	3.4	854
前 期 課 程	27.7	37.6	26.8	6.3	1.5	728
後 期 課 程	15.3	26.8	36.7	16.4	4.8	773

##### 4-1-4表 授業の方法の工夫・改善

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (32.3)	% (43.5)	% (17.4)	% (4.7)	% (2.1)	人 (1,443)
全 体	31.3	44.1	17.5	4.9	2.1	1,502
男 子	30.9	43.5	18.5	4.9	2.2	1,071
女 子	27.6	50.6	15.3	5.8	0.6	308
文 科 系	34.7	42.6	14.9	5.4	2.3	645
理 科 系	28.5	45.4	19.6	4.6	2.0	853
前 期 課 程	32.6	46.6	15.8	3.7	1.2	726
後 期 課 程	29.8	42.0	19.2	6.1	3.0	772

##### 4-1-5表 少人数教育の実施

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (19.1)	% (29.6)	% (32.3)	% (13.4)	% (5.6)	人 (1,444)
全 体	20.3	27.6	32.7	14.9	4.5	1,506
男 子	19.8	25.7	34.1	15.8	4.6	1,075
女 子	19.5	32.5	31.2	14.3	2.6	308
文 科 系	27.8	32.1	26.0	10.8	3.2	647
理 科 系	14.5	24.0	38.0	18.0	5.5	855
前 期 課 程	19.9	28.9	32.6	13.9	4.7	729
後 期 課 程	20.6	26.1	33.0	15.9	4.4	773

4-1-6表 単位認定や学年試験を厳しく

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (3.7)	% (8.6)	% (28.4)	% (28.1)	% (31.1)	人 (1,443)
全 体	3.9	8.7	37.0	27.4	23.0	1,506
男 子	4.1	8.3	38.5	26.5	22.6	1,075
女 子	2.3	9.7	32.1	33.4	22.4	308
文 科 系	3.7	8.8	33.2	27.2	27.0	647
理 科 系	4.0	8.7	39.9	27.6	19.9	855
前 期 課 程	3.6	8.4	37.2	26.1	24.8	729
後 期 課 程	4.1	9.1	36.9	28.7	21.2	773

4-1-7表 単位認定や学年試験を緩やかに

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (19.0)	% (19.3)	% (38.6)	% (15.9)	% (7.1)	人 (1,444)
全 体	11.6	15.6	44.0	18.7	10.1	1,506
男 子	11.7	16.2	45.8	16.2	10.1	1,075
女 子	9.4	15.3	39.0	28.2	8.1	308
文 科 系	14.1	17.3	38.6	20.9	9.1	647
理 科 系	9.5	14.4	48.1	17.2	10.9	855
前 期 課 程	15.0	16.2	43.5	17.0	8.4	729
後 期 課 程	8.2	15.1	44.5	20.4	11.8	773

4-1-8表 教育スタッフの充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (21.7)	% (42.5)	% (26.9)	% (5.9)	% (3.1)	人 (1,444)
全 体	17.8	39.9	32.9	6.5	2.9	1,503
男 子	18.0	38.8	33.4	6.7	3.1	1,072
女 子	15.6	41.6	35.1	6.5	1.3	308
文 科 系	18.9	41.2	29.0	7.9	2.9	645
理 科 系	16.7	38.9	36.1	5.5	2.8	854
前 期 課 程	16.3	38.3	36.7	5.9	2.7	728
後 期 課 程	18.9	41.4	29.6	7.1	3.0	771

4-1-9表 海外留学の支援

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (33.1)	% (32.8)	% (23.0)	% (6.6)	% (4.5)	人 (1,445)
全 体	32.8	33.7	22.3	7.2	3.9	1,505
男 子	31.1	32.1	24.7	7.7	4.5	1,075
女 子	38.6	39.9	14.3	5.8	1.3	308
文 科 系	39.3	35.1	15.9	6.2	3.4	646
理 科 系	27.8	32.5	27.3	8.1	4.3	855
前 期 課 程	32.3	34.5	22.7	6.3	4.3	728
後 期 課 程	33.2	32.9	22.1	8.2	3.6	773

4-1-10表 国際化の推進

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (30.5)	% (34.9)	% (26.6)	% (4.2)	% (3.9)	人 (1,441)
全 体	26.4	31.6	27.3	9.2	5.6	1,504
男 子	25.5	30.2	28.4	9.9	6.0	1,075
女 子	28.7	37.8	23.8	7.2	2.6	307
文 科 系	29.6	33.7	23.2	8.5	5.0	646
理 科 系	23.7	30.1	30.4	9.7	6.1	854
前 期 課 程	24.5	35.0	27.5	7.6	5.5	728
後 期 課 程	27.8	28.5	27.2	10.8	5.7	772

4-1-11表 社会への貢献

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (19.3)	% (40.4)	% (28.8)	% (6.5)	% (5.0)	人 (1,443)
全 体	24.4	33.9	29.8	7.3	4.5	1,503
男 子	23.9	33.7	30.6	7.1	4.7	1,074
女 子	27.7	35.8	27.4	6.8	2.3	307
文 科 系	29.0	34.3	25.4	6.8	4.5	645
理 科 系	20.7	33.7	33.3	7.7	4.6	854
前 期 課 程	23.2	33.8	32.7	6.3	4.0	728
後 期 課 程	25.3	34.1	27.2	8.3	5.1	771

4-1-12表 カウンセリング・相談体制の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (5.5)	% (24.9)	% (39.1)	% (20.5)	% (9.9)	人 (1,444)
全 体	7.5	17.3	48.9	18.1	8.2	1,501
男 子	6.6	16.6	50.2	18.1	8.6	1,074
女 子	8.8	19.9	48.5	18.2	4.6	307
文 科 系	8.9	20.2	44.3	18.8	7.9	644
理 科 系	6.4	15.1	52.5	17.5	8.4	853
前 期 課 程	5.4	15.4	51.6	19.2	8.4	728
後 期 課 程	9.5	19.1	46.4	16.9	8.1	769

4-1-13表 健康相談や保健センター機能の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	% (-)	人 (-)
全 体	10.0	25.5	45.3	13.8	5.3	1,504
男 子	8.7	24.7	47.6	13.6	5.4	1,075
女 子	11.4	29.5	41.2	14.9	2.9	308
文 科 系	11.0	27.3	42.9	14.4	4.3	645
理 科 系	9.1	24.3	47.1	13.3	6.1	855
前 期 課 程	8.2	22.5	48.6	15.0	5.6	728
後 期 課 程	11.5	28.5	42.2	12.7	5.1	772

4-1-14表 就職対策や進路相談機能の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (28.9)	% (38.4)	% (22.0)	% (6.0)	% (4.6)	人 (1,445)
全 体	21.9	34.0	31.3	8.0	4.8	1,504
男 子	20.1	32.0	34.4	7.9	5.6	1,074
女 子	26.9	42.7	21.7	7.4	1.3	309
文 科 系	25.3	35.2	26.1	8.1	5.3	644
理 科 系	19.2	33.2	35.3	7.9	4.4	856
前 期 課 程	18.1	35.2	34.5	7.1	5.1	728
後 期 課 程	25.3	33.0	28.4	8.8	4.5	772

4-1-15表 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (32.6)	% (34.5)	% (21.5)	% (7.0)	% (4.4)	人 (1,443)
全 体	35.0	30.7	26.1	4.9	3.2	1,504
男 子	36.1	30.2	26.1	5.0	2.6	1,074
女 子	32.1	32.8	27.6	4.9	2.6	308
文 科 系	37.4	29.8	23.9	5.7	3.3	645
理 科 系	33.2	31.5	28.0	4.2	3.2	855
前 期 課 程	31.8	30.8	29.3	4.8	3.3	727
後 期 課 程	38.0	30.7	23.3	4.9	3.1	773

4-1-16表 施設設備の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (36.5)	% (42.8)	% (14.6)	% (3.4)	% (2.6)	人 (1,442)
全 体	36.5	37.2	20.2	3.9	2.3	1,502
男 子	36.4	37.2	20.6	3.3	2.5	1,073
女 子	34.9	40.4	18.9	4.6	1.3	307
文 科 系	39.0	37.9	16.3	4.2	2.6	644
理 科 系	34.4	36.7	23.3	3.6	2.0	854
前 期 課 程	35.5	37.6	21.1	3.9	1.9	726
後 期 課 程	37.2	36.8	19.6	3.9	2.6	772

4-1-17表 図書館の充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (39.1)	% (39.8)	% (15.9)	% (3.0)	% (2.3)	人 (1,444)
全 体	38.3	35.0	20.4	4.7	1.7	1,503
男 子	38.7	34.5	20.8	4.3	1.7	1,074
女 子	31.8	39.9	21.1	5.5	1.6	308
文 科 系	42.5	36.0	15.5	4.5	1.6	645
理 科 系	34.9	34.3	24.2	4.8	1.8	854
前 期 課 程	35.8	37.0	21.6	4.3	1.4	727
後 期 課 程	40.4	33.2	19.4	5.1	1.9	772

4-1-18表 学生自治の尊重

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (7.6)	% (19.8)	% (47.6)	% (15.8)	% (9.2)	人 (1,441)
全 体	5.1	15.8	52.6	17.4	9.1	1,503
男 子	6.0	15.8	51.7	17.6	8.9	1,073
女 子	2.9	15.3	56.5	17.9	7.5	308
文 科 系	6.4	18.6	47.8	18.0	9.3	645
理 科 系	4.2	13.7	56.1	17.0	9.0	854
前 期 課 程	5.6	16.4	55.2	15.2	7.6	726
後 期 課 程	4.7	15.3	49.9	19.5	10.6	773

4-1-19表 学生同士が支え合うネットワークの充実

区 分	とても期待する	期待する	どちらともいえない	期待しない	全く期待しない	事 例 数
2010年調査 (60回)	% (7.6)	% (19.8)	% (47.6)	% (15.8)	% (9.2)	人 (1,441)
全 体	6.7	21.8	48.8	14.5	8.3	1,501
男 子	7.4	20.1	49.1	15.4	8.0	1,072
女 子	5.8	25.3	49.4	13.0	6.5	308
文 科 系	7.8	23.7	45.0	16.0	7.6	645
理 科 系	5.8	20.3	51.8	13.3	8.9	852
前 期 課 程	6.5	22.8	50.8	12.7	7.3	725
後 期 課 程	6.7	20.9	47.0	16.1	9.3	772

5-1表 実家の所在地(地区)(問38)

区分	東京都	関東 (東京都を除く)	北海道	東北	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	日本 国外	事例数
2010年調査 (60回)	% (27.0)	% (31.5)	% (1.5)	% (2.9)	% (12.3)	% (11.0)	% (3.7)	% (2.3)	% (7.7)	% (0.1)	人 (1,449)
全体	26.7	31.5	2.1	2.3	12.4	10.5	4.4	2.6	7.3	0.2	1,511
男子	25.5	32.5	2.5	2.9	12.3	11.0	4.5	2.2	6.6	0.1	1,075
女子	31.4	29.5	1.3	1.0	11.9	8.3	4.2	3.5	8.7	0.3	312

5-2表 家族構成(問39) ※複数回答、回答者数を分母

区分	父	母	在学中 の兄弟 姉妹	それ以 外の兄 弟姉妹	祖父	祖母	配偶者	親類	その他	事例数
2010年調査 (60回)	% (93.2)	% (98.7)	% (49.6)	% (36.6)	% (10.7)	% (19.2)	% (-)	% (1.3)	% (0.6)	人 (1,447)
全体	90.4	98.4	44.5	39.6	9.3	18.1	0.3	1.0	0.4	1,508
男子	93.2	98.3	44.8	41.4	9.3	17.9	0.2	1.3	0.5	1,073
女子	93.9	98.4	44.6	33.3	9.0	17.6	0.6	0.3	0.0	312

5-3表 家計支持者(問40) ※複数回答、回答者数を分母

区分	父	母	本人	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	その他	事例数
2010年調査 (60回)	% (92.8)	% (41.7)	% (1.9)	% (0.8)	% (1.5)	% (0.1)	% (0.2)	人 (1,449)
全体	90.7	24.4	1.8	0.7	1.1	0.3	0.5	1,511
男子	90.9	24.3	1.9	0.7	1.1	0.1	0.7	1,075
女子	91.3	24.4	1.0	0.3	0.6	0.6	0.0	312

5-4表 親の職業は何ですか(問41)

5-4-1表 父親の職業

区分	専門的・ 技術的職 業	教育的 職業	管理的 職業	事務	農・林・ 漁業	生産工 程・採 掘作業	運輸・ 通信・ 保安・ サービ ス	非正規	その他	無職	事例数	
2010年調査 (60回)	% (24.2)	% (13.1)	% (42.3)	% (7.9)	% (0.5)	% (3.5)	% (4.7)	% (1.0)	% (1.1)	% (1.8)	人 (1,349)	
全体	22.6	12.2	43.4	7.0	0.3	2.4	5.3	-	3.3	3.5	1,443	
男子	21.0	11.1	44.4	7.6	0.2	2.7	6.1	-	3.4	3.4	1,023	
女子	25.7	15.3	41.3	6.0	0.7	1.3	4.0	-	2.7	3.0	300	
男子	文科系	18.7	11.5	45.5	9.8	0.0	2.4	5.5	-	2.9	3.8	418
	理科系	22.6	11.0	43.7	6.1	0.3	3.0	6.5	-	3.8	3.0	602
女子	文科系	24.8	13.0	41.6	6.8	1.2	1.9	4.3	-	2.5	3.7	161
	理科系	26.6	18.0	41.0	5.0	0.0	0.7	3.6	-	2.9	2.2	139
男子	自宅	19.0	7.8	53.2	6.8	0.2	1.8	5.1	-	2.9	3.1	511
	自宅外	23.4	14.6	34.8	8.6	0.2	3.8	7.2	-	3.6	3.8	500
女子	自宅	24.4	4.9	54.9	4.3	0.0	1.2	4.3	-	2.4	3.7	164
	自宅外	27.6	27.6	24.6	8.2	1.5	1.5	3.7	-	3.0	2.2	134

※「無職」には、不動産収入・金利・年金生活者などを含む。

5-4-2表 母親の職業

区分	専門的・ 技術的 職業	教育的 職業	管理的 職業	事務	農・林・ 漁業	生産工 程・採 掘作業	運輸・通 信・保安 ・サービ ス	非正規	その他	無職	事例数	
2010年調査 (60回)	% (16.7)	% (19.0)	% (3.2)	% (15.2)	% (0.6)	% (0.9)	% (4.2)	% (31.6)	% (1.3)	% (7.4)	人 (690)	
全体	10.3	13.1	2.5	15.5	0.3	1.0	7.9	-	9.9	39.5	1,448	
男子	9.3	12.9	2.7	16.0	0.3	1.2	8.5	-	10.8	38.4	1,026	
女子	14.6	14.2	2.6	13.2	0.3	0.3	6.6	-	7.0	41.1	302	
男子	文科系 理科系	7.4 10.6	12.4 13.3	3.8 2.0	15.7 16.3	0.0 0.5	0.7 1.5	6.4 9.8	- -	11.4 10.4	42.1 35.7	420 603
女子	文科系 理科系	13.4 15.9	14.6 13.8	0.6 5.1	11.6 15.2	0.6 0.0	0.0 0.7	6.7 6.5	- -	7.9 5.8	44.5 37.0	164 138
男子	自宅 自宅外	8.0 10.1	10.8 14.7	2.7 2.8	16.3 15.9	0.0 0.6	0.6 1.8	8.2 8.9	- -	12.0 9.5	41.4 35.7	510 504
女子	自宅 自宅外	14.9 14.4	8.1 21.6	2.5 2.9	13.0 13.7	0.0 0.7	0.0 0.7	7.5 5.8	- -	5.6 8.6	48.4 31.7	161 139

※「無職」には、不動産収入・金利・年金生活者などを含む。

5-5表 親の職業の雇用形態(問42)

5-5-1表 父親の職業の雇用形態

区分	自分一人	民間企業に勤務	官公庁に勤務	経営者・役員または 人を雇用している	事例数	
2010年調査(60回)	% (5.9)	% (60.2)	% (23.1)	% (10.9)	人 (1,305)	
全体	7.6	59.8	22.0	10.5	1,404	
男子	7.5	60.1	21.2	11.2	993	
女子	7.8	57.3	26.3	8.5	293	
男子	文科系 理科系	9.8 5.8	56.2 62.9	23.0 19.9	11.0 11.3	409 582
女子	文科系 理科系	9.6 5.9	53.5 61.8	27.4 25.0	9.6 7.4	157 136
男子	自宅 自宅外	7.4 7.4	65.9 54.3	15.5 27.3	11.2 11.0	498 484
女子	自宅 自宅外	7.5 8.4	66.3 47.3	18.1 35.1	8.1 9.2	160 131

5-5-2表 母親の職業の雇用形態

区分	自分一人	民間企業に勤務	官公庁に勤務	経営者・役員または 人を雇用している	事例数	
2010年調査(60回)	% (9.5)	% (60.0)	% (25.1)	% (5.4)	人 (613)	
全体	30.3	48.2	17.9	3.6	1,107	
男子	29.8	51.1	16.0	3.0	794	
女子	31.4	41.2	22.6	4.9	226	
男子	文科系 理科系	31.7 28.5	49.2 52.4	17.1 15.3	1.9 3.8	315 477
女子	文科系 理科系	35.8 26.4	39.2 43.4	20.8 24.5	4.2 5.7	120 106
男子	自宅 自宅外	32.3 27.5	51.7 50.6	13.9 17.9	2.1 4.0	381 403
女子	自宅 自宅外	36.8 24.5	45.6 37.3	14.9 30.9	2.6 7.3	114 110

5-6表 親の勤務先の規模(問43)

5-6-1表 父親の勤務先の規模

区 分		従業員が1,000人以上	従業員が100人以上1,000人未満	従業員が10人以上100人未満	従業員が10人未満	事例数
2010年調査(60回)		% (49.8)	% (22.7)	% (15.1)	% (12.3)	人 (1,143)
全 体		48.4	21.3	18.1	12.2	1,343
男 子		47.0	21.8	18.7	12.5	953
女 子		53.2	19.8	16.9	10.1	278
男子	文 科 系	44.8	23.5	17.2	14.4	395
	理 科 系	48.6	20.5	19.8	11.2	556
女子	文 科 系	49.3	22.6	16.4	11.6	146
	理 科 系	57.6	16.7	17.4	8.3	132
男子	自宅	58.1	17.3	12.8	11.8	475
	自宅外	35.3	26.7	24.8	13.2	468
女子	自宅	65.6	12.6	12.6	9.3	151
	自宅外	39.2	28.0	21.6	11.2	125

5-6-2表 母親の勤務先の規模

区 分		従業員が1,000人以上	従業員が100人以上1,000人未満	従業員が10人以上100人未満	従業員が10人未満	事例数
2010年調査(60回)		% (19.6)	% (21.6)	% (38.3)	% (20.6)	人 (491)
全 体		17.1	15.2	37.4	29.8	917
男 子		16.5	15.3	37.0	31.3	668
女 子		25.3	13.7	38.5	22.5	182
男子	文 科 系	16.8	15.3	37.0	30.9	262
	理 科 系	16.3	15.3	36.9	31.4	404
女子	文 科 系	21.3	13.5	41.6	23.6	89
	理 科 系	29.0	14.0	35.5	21.5	93
男子	自宅	21.0	15.5	30.7	32.7	309
	自宅外	12.3	15.1	42.5	30.2	351
女子	自宅	28.6	16.7	35.7	19.0	84
	自宅外	22.7	11.3	41.2	24.7	97



5-7表 親の年収分布(問44)

区 分		350万円 未満	350万円 ～ 450万円	450万円 ～ 550万円	550万円 ～ 650万円	650万円 ～ 750万円	750万円 ～ 850万円	850万円 ～ 950万円	950万円 ～ 1050万円	1050万円 ～ 1150万円	1150万円 ～ 1250万円	1250万円 ～ 1350万円	1350万円 ～ 1450万円	1450万円 ～ 1550万円	1550万円 以上	事例数
2010年調査(60回)		% (12.9)	% (3.7)	% (4.9)	% (5.1)	% (7.0)	% (8.5)	% (6.2)	% (16.7)	% (3.3)	% (7.4)	% (2.5)	% (2.2)	% (5.6)	% (14.1)	人 (789)
全 体		8.7	4.8	4.5	3.2	6.1	9.1	6.6	19.4	2.5	6.9	3.0	2.8	5.3	17.1	756
男 子		9.5	4.9	4.7	3.3	6.6	9.7	7.1	20.0	2.7	6.4	2.9	3.3	3.8	15.1	549
女 子		7.3	2.6	4.6	2.0	4.0	7.9	6.0	17.2	2.0	9.3	4.0	2.0	7.3	23.8	151
男 子	自宅	8.2	3.9	6.2	1.6	3.5	6.6	7.4	21.8	3.5	5.1	4.7	5.1	4.7	17.9	257
	自宅外	10.6	6.0	3.5	4.9	9.2	12.3	6.7	18.3	2.1	7.7	1.4	1.8	2.8	12.7	284
女 子	自宅	5.1	1.3	3.8	0.0	3.8	6.3	7.6	16.5	1.3	12.7	6.3	3.8	6.3	25.3	79
	自宅外	9.9	4.2	5.6	4.2	4.2	9.9	4.2	18.3	2.8	5.6	1.4	0.0	7.0	22.5	71

5-7-1表 父親の職業別にみた年収平均 (単位：十万円)

区 分	専門的・技術的 職業		教育的職業		管理的職業		事務		農・林・漁業		生産工程 採掘作業		運輸・通信・保 安・サービス		その他		無職	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2010年調査(60回)	(145.6)	(173)	(118.5)	(90)	(123.1)	(307)	(109.1)	(61)	(125.0)	(2)	(83.3)	(30)	(92.7)	(39)	(53.8)	(17)	(48.9)	(12)
全 体	156.40	157	142.86	81	154.01	324	100.52	50	156.67	3	68.17	18	78.65	46	57.64	14	43.71	24
男 子	151.33	103	157.09	53	153.66	237	106.35	40	300.00	1	67.31	16	81.76	38	61.92	13	29.53	19
女 子	160.23	39	91.95	19	159.93	70	89.57	7	70.00	1	90.00	1	66.60	5	2.00	1	58.50	2

区 分	事 例 数		主たる家計支持者の 年収中央値
	平均値	人数	
2010年調査(60回)	(121.0)	(718)	(100)
全 体	136.99	717	100.00
男 子	135.45	520	100.00
女 子	140.90	145	110.00

5-7-2表 母親の職業別にみた年収平均 (単位：十万円)

区 分	専門的・技術的 職業		教育的職業		管理的職業		事務		農・林・漁業		生産工程 採掘作業		運輸・通信・保 安・サービス		その他		無職	
	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2010年調査(60回)	(174.1)	(49)	(126.0)	(66)	(180.0)	(9)	(68.9)	(53)	(68.0)	(1)	(65.0)	(2)	(106.4)	(14)	(108.6)	(124)	(129.6)	(28)
全 体	167.45	78	194.12	100	134.00	17	110.90	111	156.67	3	49.78	9	88.98	58	125.09	65	121.63	280
男 子	144.40	53	216.97	69	133.69	13	106.30	84	85.00	2	49.78	9	92.02	44	130.62	50	118.93	196
女 子	252.21	19	122.67	24	135.00	4	96.30	20	0.00	0	0.00	0	74.82	11	109.42	12	134.84	58

区 分	事 例 数		主たる家計支持者の 年収中央値
	平均値	人数	
2010年調査(60回)	(118.0)	(277)	(94)
全 体	132.21	721	100.00
男 子	130.38	520	100.00
女 子	136.21	148	100.00

6-1表 生活費の推移(問45)

6-1-1表 生活費の状況の推移(支出総額・収入総額)

区 分	支 出 総 額				収 入 総 額			
	自宅	マンション・ アパート・ 下宿他	学寮	その他の寮	自宅	マンション・ アパート・ 下宿他	学寮	その他の寮
	円	円	円	円	円	円	円	円
1971年 (男子)	15,600	37,600	25,100	30,400	16,800	39,000	27,500	32,100
1972年 (男子)	20,100	40,900	27,600	31,400	21,100	42,200	29,900	32,200
1976年 (男子)	32,600	73,500	49,400	59,300	35,900	76,900	55,100	63,900
1977年 (女子)	31,000	76,700	51,000	85,300	36,200	82,000	56,900	92,000
1979年 (男子)	41,000	88,100	61,000	77,700	45,600	93,100	68,500	83,600
1980年 (男子)	41,100	92,900	62,600	78,300	48,100	100,200	66,800	84,400
1981年 (男子)	44,300	100,500	69,900	82,200	50,100	107,000	75,500	91,300
1982年 (女子)	41,700	105,400	64,900	108,700	49,600	115,400	75,500	119,200
1983年 (男子)	54,900	110,900	71,300	86,700	60,800	118,600	78,600	96,700
1984年 (男子)	61,300	116,100	77,700	85,500	67,600	124,200	86,100	95,300
〃 (女子)	56,500	114,900	64,700	107,200	56,700	125,400	78,300	112,800
1991年 (男子)	77,300	161,300	81,000	115,100	86,900	175,100	109,100	132,300
〃 (女子)	76,100	162,200	91,400	134,000	81,300	182,500	90,600	141,000
1993年 (男子)	77,600	163,800	97,700	108,500	82,300	176,000	103,000	126,400
〃 (女子)	77,400	157,800	133,000	147,500	77,000	172,600	151,500	168,300
1994年 (男子)	75,300	164,300	91,400	119,100	82,000	173,200	116,400	131,800
〃 (女子)	74,700	162,200	92,600	127,300	82,000	180,300	115,600	142,900
1995年 (男子)	74,000	161,600	96,400	130,300	80,500	176,200	109,500	156,200
〃 (女子)	65,700	166,000	94,800	143,000	74,900	187,000	130,100	156,800
1996年 (男子)	76,000	166,500	105,900	111,300	83,000	176,800	129,500	130,900
〃 (女子)	79,500	157,500	115,300	142,100	81,500	169,600	119,500	173,600
1997年 (男子)	71,500	162,300	96,800	126,500	78,400	175,200	117,300	149,200
〃 (女子)	74,500	155,200	94,000	148,300	83,900	177,100	116,400	161,900
1998年 (男子)	75,100	162,500	99,500	113,600	75,400	171,100	114,800	123,400
〃 (女子)	77,000	172,300	83,800	154,300	73,800	182,300	125,800	161,300
2000年 (男子)	69,400	159,600	65,900	108,200	76,500	172,000	100,100	129,000
〃 (女子)	69,900	167,300	79,500	158,300	72,300	182,800	104,300	175,000
2001年 (男子)	68,400	158,300	82,800	107,800	68,500	169,100	103,300	129,200
〃 (女子)	76,000	163,300	91,100	170,300	77,100	175,400	116,700	176,600
2002年 (男子)	67,500	158,100	95,200	119,200	69,700	168,800	114,700	130,900
〃 (女子)	74,500	164,800	86,500	142,800	73,900	168,400	129,900	140,200
2003年 (男子)	69,800	154,300	84,900	110,600	68,800	162,700	100,000	127,000
〃 (女子)	79,000	162,300	69,100	156,300	69,400	168,000	96,900	169,100
2005年 (男子)	72,500	160,500	85,300	117,500	65,650	157,400	109,100	132,600
〃 (女子)	76,200	162,900	88,000	133,500	67,860	158,100	112,500	128,800
2006年 (男子)	66,650	153,640	79,170	119,760	63,280	157,730	109,270	140,070
〃 (女子)	73,500	174,380	80,120	140,900	70,610	163,430	104,760	164,300
2007年 (男子)	72,110	151,380	79,500	118,160	67,370	155,720	110,470	126,650
〃 (女子)	69,660	157,600	73,440	141,710	62,650	165,190	91,110	138,810
2008年 (男子)	63,054	151,689	81,706	117,349	63,851	154,234	109,480	129,738
〃 (女子)	63,500	154,791	83,684	144,077	59,322	148,097	108,833	129,538
2010年 (男子)	65,000	154,000	81,000	118,000	62,000	151,000	91,000	117,000
〃 (女子)	66,000	158,000	68,000	126,000	64,000	153,000	47,000	103,000
2012年 (男子)	67,140	149,420	87,930	115,150	57,970	143,260	107,650	116,180
〃 (女子)	66,830	159,770	101,360	151,070	57,690	145,010	128,360	102,730

6-1-2表 支出額（1ヶ月平均、単位：千円）

区 分		衣料費		食 費		住居費		勉学費		教養・娯楽費		通学費		雑 費		預貯金		支出額合計	
		平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2010年調査(60回)		(6.79)	(1,380)	(23.83)	(1,393)	(62.79)	(814)	(6.89)	(1,376)	(14.27)	(1,382)	(6.07)	(1,370)	(11.50)	(1,370)	(43.09)	(1,287)	(107.71)	(1,327)
全 体		7.25	1,463	22.47	1,463	66.95	713	8.10	1,458	14.52	1,466	6.22	1,459	11.40	1,453	12.04	1,430	105.30	1,444
男 子		6.33	1,040	23.28	1,039	64.58	513	8.25	1,039	14.71	1,041	6.14	1,035	11.00	1,032	10.34	1,013	104.38	1,026
女 子		10.80	304	19.31	305	76.30	135	7.61	302	14.06	305	6.49	306	12.72	303	18.41	301	107.00	301
自 宅		7.31	731	15.02	732	0.00	0	8.18	725	14.21	734	8.78	728	8.52	723	11.54	708	66.86	720
自 宅 外		7.15	719	29.95	717	66.95	713	8.03	719	14.88	718	3.66	718	14.34	717	12.20	709	143.34	711
男 子	自 宅	6.65	513	15.70	514	0.00	0	8.58	512	14.42	515	8.96	510	8.41	507	11.12	496	67.14	508
	自 宅 外	5.99	516	30.75	514	64.58	513	7.94	516	15.04	515	3.35	515	13.57	515	9.13	507	140.51	508
女 子	自 宅	9.58	165	13.25	165	0.00	0	7.49	162	13.88	165	8.23	166	8.9	164	12.83	161	66.83	161
	自 宅 外	12.29	138	26.59	138	76.30	135	7.79	138	14.34	138	4.46	138	17.35	137	24.97	138	153.96	138

※平均値の算出は該当者平均を求めた(無回答を除く)

6-1-3表 収入額（1ヶ月平均、単位：千円）

区 分		家庭からの仕送り ・小遣い		奨 学 金		アルバイト・雑収入		ローン・クレジット ・借入金		その他の収入		収入額合計	
		平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数	平均値	人数
2010年調査(60回)		(64.23)	(1,362)	(15.08)	(1,215)	(31.91)	(1,332)	(0.86)	(1,169)	(-)	(-)	(104.02)	(1,342)
全 体		58.39	1,458	11.90	1,400	27.95	1,447	0.26	1,379	1.78	1,261	97.78	1,438
男 子		58.09	1,033	13.22	996	27.31	1,028	0.25	980	1.91	893	98.05	1,023
女 子		57.12	305	8.08	293	29.57	304	0.30	289	1.56	266	94.79	298
自 宅		23.92	732	3.94	688	31.15	725	0.20	678	0.87	595	57.87	720
自 宅 外		93.31	713	19.75	699	24.32	708	0.32	688	2.64	654	137.78	705
男 子	自 宅	25.01	511	4.10	480	30.21	508	0.24	472	0.93	411	57.97	505
	自 宅 外	90.86	511	21.98	505	24.00	509	0.28	497	2.81	471	137.31	507
女 子	自 宅	21.98	167	3.19	158	32.79	165	0.11	156	0.99	139	57.69	162
	自 宅 外	99.28	137	13.91	134	25.50	137	0.53	132	2.19	126	138.85	135

※平均値の算出は該当者平均を求めた(無回答を除く)

6-2表 授業料はどのように負担していますか(問46)

(複数回答)

区 分	家庭からの 仕送り	奨学金	全額授業料 免除	半額授業料 免除	アルバイト・ 雑収入	その他	事例数
2010年調査(60回)	% (81.0)	% (7.4)	% (5.2)	% (1.7)	% (3.1)	% (1.7)	人 (1,570)
全 体	87.1	5.0	5.0	1.3	0.7	0.9	1,515
男 子	85.6	5.7	5.1	1.7	0.7	1.1	1,079
女 子	90.9	2.6	5.2	0.3	0.7	0.3	307
自 宅	89.2	3.6	3.3	1.5	1.1	1.3	753
自 宅 外	84.9	6.4	6.8	0.9	0.4	0.5	747
男子 自宅	88.6	3.6	3.2	2.1	0.9	1.5	528
男子 自宅外	82.6	8.0	7.1	1.1	0.6	0.7	539
女子 自宅	90.9	2.4	4.8	0.0	1.2	0.6	165
女子 自宅外	90.7	2.9	5.7	0.7	0.0	0.0	140

7-1表 現在の居住地(問47)

区 分	東京 23区	東京都 (23区外)	横浜市	川崎市	神奈川県 (「横浜市 ・川崎市」 を除く)	さいた ま・川 口・蕨 の各市	埼玉県 (「さいた ま・川口・ 蕨の各市 」を除く)	千葉・船橋 ・市川・習 志野・松 戸の各市	千葉県 (千葉・船橋 ・市川・習志 野・松戸の 各市を除く)	その他 の県	事例数
2010年調査 (60回)	% (60.7)	% (12.3)	% (7.0)	% (3.4)	% (2.1)	% (3.2)	% (3.8)	% (2.6)	% (3.4)	% (1.5)	人 (1,444)
全 体	61.0	12.1	7.7	3.6	3.0	2.8	3.9	2.8	2.1	1.1	1,510
男 子	60.7	11.4	8.1	4.0	3.2	2.8	3.8	2.7	2.2	1.1	1,074
女 子	61.4	12.9	7.7	2.9	1.9	3.2	3.9	3.2	1.6	1.3	311
自 宅	39.2	11.4	14.9	5.8	5.7	5.0	7.0	5.3	3.9	1.8	760
自 宅 外	83.4	12.8	0.5	1.4	0.1	0.4	0.5	0.4	0.1	0.3	735
男子 自宅	38.4	10.1	15.5	6.4	6.0	5.4	6.6	5.2	4.3	2.1	534
男子 自宅外	83.1	12.7	0.8	1.7	0.2	0.2	0.8	0.2	0.2	0.2	528
女子 自宅	44.4	11.8	14.2	4.7	3.6	4.1	7.1	5.3	3.0	1.8	169
女子 自宅外	82.1	14.3	0.0	0.7	0.0	1.4	0.0	0.7	0.0	0.7	140
前期 課程	38.4	10.1	15.5	6.4	6.0	5.4	6.6	5.2	4.3	2.1	534
後期 課程	83.1	12.7	0.8	1.7	0.2	0.2	0.8	0.2	0.2	0.2	528
前期 課程	44.4	11.8	14.2	4.7	3.6	4.1	7.1	5.3	3.0	1.8	169
後期 課程	82.1	14.3	0.0	0.7	0.0	1.4	0.0	0.7	0.0	0.7	140

7-2表 現在の居住形態(問48)

区 分	自宅	自宅外	事例数
2010年調査 (60回)	% (48.1)	% (51.9)	人 (1,439)
全 体	50.9	49.1	1,498
男 子	50.3	49.7	1,064
女 子	54.8	45.2	310
男子 前期課程	55.3	44.7	515
男子 後期課程	45.6	54.4	546
女子 前期課程	60.6	39.4	155
女子 後期課程	49.0	51.0	155
男子 文科系	54.0	46.0	439
男子 理科系	47.7	52.3	622
女子 文科系	55.1	44.9	167
女子 理科系	54.5	45.5	143

7-3表 現在の住居区分(自宅外のみ) (問49)

区 分	分譲マンション	賃貸マンション・アパート(バスつき)	アパート(バスなし)・下宿	東大の寮	その他の寮	その他	事例数
2010年調査(60回)	% (3.6)	% (70.8)	% (5.9)	% (6.7)	% (11.7)	% (1.2)	人 (744)
全 体	2.2	69.3	7.5	8.2	11.2	1.6	734
男 子	2.3	68.6	9.1	8.3	10.6	1.1	529
女 子	1.4	72.7	3.6	7.9	10.8	3.6	139
男子 前期課程	2.6	58.3	13.0	13.0	12.2	0.9	230
男子 後期課程	2.0	76.8	6.1	4.4	9.4	1.3	297
女子 前期課程	1.6	62.3	6.6	11.5	14.8	3.3	61
女子 後期課程	1.3	80.8	1.3	5.1	7.7	3.8	78
男子 文科系	1.5	71.8	5.4	9.4	10.4	1.5	202
男子 理科系	2.8	66.8	11.4	7.4	10.8	0.9	325
女子 文科系	1.4	71.6	4.1	10.8	10.8	1.4	74
女子 理科系	1.5	73.8	3.1	4.6	10.8	6.2	65

7-4表 学寮・学生宿舎等を作れば、入居するか(問50)

区 分	する	しない	入居費による	わからない	事例数
2010年調査(60回)	% (13.9)	% (32.8)	% (38.1)	% (15.2)	人 (1,434)
全 体	19.2	34.2	34.8	11.8	1,508
男 子	19.1	33.8	35.9	11.2	1,073
女 子	19.6	37.0	29.3	14.1	311
男子 前期課程	16.6	37.2	35.8	10.4	519
男子 後期課程	21.1	30.9	36.1	12.0	551
女子 前期課程	17.5	37.0	32.5	13.0	154
女子 後期課程	21.7	36.9	26.1	15.3	157
男子 文科系	22.2	35.1	32.2	10.4	441
男子 理科系	16.5	33.1	38.6	11.8	629
女子 文科系	19.6	39.9	28.0	12.5	168
女子 理科系	19.6	33.6	30.8	16.1	143

7-5表 通学に利用している交通機関(問51)

区 分	電車	バス	自転車	徒歩のみ	バイク	自家用車	その他	事例数
2010年調査(60回)	% (71.7)	% (1.1)	% (20.7)	% (5.4)	% (0.5)	% (0.6)	% (0.1)	人 (1,489)
全 体	72.5	0.7	19.5	7.3	0.1	0.0	0.1	1,511
男 子	70.7	0.4	21.9	6.9	0.1	0.0	0.1	1,075
女 子	78.5	1.6	10.6	9.3	0.0	0.0	0.0	311
男子 前期課程	83.5	0.6	11.7	4.2	0.0	0.0	0.0	521
男子 後期課程	58.6	0.2	31.4	9.4	0.2	0.0	0.2	551
女子 前期課程	90.3	1.3	3.2	5.2	0.0	0.0	0.0	155
女子 後期課程	66.7	1.9	17.9	13.5	0.0	0.0	0.0	156

7-6表 通学所要時間(問52)

区 分	平均時間	事例数
2010年調査(60回)	分 (46.6)	人 (1,455)
全 体	46.6	1,509
男 子	46.45	1,073
女 子	47.14	311
自 宅	64.91	760
自 宅 外	27.94	734
男子 自 宅	65.47	534
男子 自 宅 外	27.34	527
女子 自 宅	62.34	169
女子 自 宅 外	28.96	140

8-1表 日本学生支援機構から定期的な奨学金を受けていますか(問53)

区分	第一種奨学金 (無利子奨学金)	第二種奨学金 (利子付奨学金)	受けていない	事例数
	%	%	%	人
全体	9.0	7.3	83.7	1,500
男子	10.3	8.3	81.4	1,065
女子	6.1	4.5	89.4	310

8-2表 日本学生支援機構の奨学金を受けていない理由(問54)

区分	出願したが採用されなかった	事務手続きが煩雑だから申請しなかった	掲示等気がつかなかった	出願資格がない	書類を期限までに整えられなかった	貸与なので申請しなかった	受ける必要が無い	その他	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	1.6	4.2	4.0	13.0	1.2	15.9	58.5	1.6	1,173
男子	1.9	3.1	4.5	13.2	1.2	16.9	57.7	1.6	806
女子	0.7	5.2	3.7	13.9	1.1	13.5	60.3	1.5	267

8-3表 これから日本学生支援機構の奨学金受けたいと思いますか(問55)

区分	受けたい	受けたくない	事例数
	%	%	人
全体	42.7	57.3	171
男子	44.4	55.6	124
女子	34.4	65.6	32

8-4表 日本学生支援機構の奨学金はどんな面で役立っていますか(問56) (2つまで選択)

区分	家庭の経済的な負担が軽減される	多少ともゆとりのある生活ができる	アルバイトが軽減される	奨学金があるので生活が成り立っている	定期的な収入になるので助かる	その他	事例数
	%	%	%	%	%	%	人
全体	44.7	13.9	10.9	21.7	8.0	0.7	423
男子	44.3	14.8	10.7	21.7	7.8	0.6	345
女子	47.2	11.3	11.3	22.6	5.7	1.9	53

8-5表 他の財団から定期的な奨学金を受けていますか(問57)

区分	公益法人等・地方公共団体等の奨学金	大学独自の奨学金 (学内奨学金)	受けていない	事例数
	%	%	%	人
全体	5.3	0.5	94.3	1,500
男子	5.2	0.6	94.2	1,068
女子	5.5	0.3	94.1	307

8-6表 他の財団の奨学金を受けていない理由(問58)

区分	出願したが採用されなかった	事務手続きが煩雑だから申請しなかった	掲示等気がつかなかった	出願資格がない	書類を期限までに整えられなかった	貸与なので申請しなかった	受ける必要が無い	その他	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	人
全体	2.9	4.7	5.7	12.9	0.8	11.5	60.5	0.9	1,309
男子	3.8	4.3	5.7	12.6	1.0	12.0	59.4	1.2	926
女子	1.1	4.7	6.2	14.6	0.7	9.9	62.8	0.0	274

8-7表 これから他の財団の奨学金受けたいと思いますか(問59)

区分	受けたい	受けたくない	事例数
	%	%	人
全体	42.4	57.6	132
男子	41.8	58.2	98
女子	34.8	65.2	23

8-8表 他の財団の奨学金はどんな面で役立っていますか(問60) (2つまで選択)

区分	家庭の経済的な負担が軽減される	多少ともゆとりのある生活ができる	アルバイトが軽減される	奨学金があるので生活が成り立っている	定期的な収入になるので助かる	その他	事例数
全体	41.9%	12.2%	12.8%	23.0%	8.8%	1.4%	148人
男子	43.9%	9.3%	11.2%	26.2%	7.5%	1.9%	107
女子	40.6%	21.9%	12.5%	15.6%	9.4%	0.0%	32

9-1表 過去一年間にアルバイトをしましたか(問61)

区分	継続的(1ヶ月以上)アルバイトをした	臨時(1ヶ月未満)アルバイトをした	継続的+臨時アルバイトをした	しなかった	事例数
2010年調査(60回)	(53.8)%	(11.1)%	(15.2)%	(19.8)%	人(1,456)
全体	54.5	12.0	14.5	19.1	1,494
男子	53.1	12.2	13.4	21.4	1,061
女子	58.6	9.4	19.7	12.3	309
男子 前期課程	50.5	11.8	14.5	23.2	517
男子 後期課程	55.5	12.4	12.4	19.8	541
女子 前期課程	59.9	13.2	15.1	11.8	152
女子 後期課程	57.3	5.7	24.2	12.7	157
男子 自宅	57.4	9.0	15.6	17.9	531
男子 自宅外	48.6	15.1	11.0	25.3	518
女子 自宅	63.5	8.4	18.6	9.6	167
女子 自宅外	52.1	10.7	21.4	15.7	140
男子 分譲マンション	50.0	12.5	12.5	25.0	8
男子 賃貸マンション(バスつき)	50.7	14.8	11.1	23.4	359
男子 アパート(バスなし)・下宿	47.8	10.9	8.7	32.6	46
男子 東大の寮	45.5	15.9	11.4	27.3	44
男子 その他の寮	41.8	20.0	9.1	29.1	55
男子 その他	16.7	16.7	33.3	33.3	6
女子 分譲マンション	50.0	50.0	0.0	0.0	2
女子 賃貸マンション(バスつき)	52.5	11.9	20.8	14.9	101
女子 アパート(バスなし)・下宿	40.0	20.0	20.0	20.0	5
女子 東大の寮	54.5	0.0	36.4	9.1	11
女子 その他の寮	53.3	6.7	13.3	26.7	15
女子 その他	60.0	0.0	20.0	20.0	5

9-2表 アルバイトの種類(問62) (2つまで選択)

区分	家庭教師	塾講師	試験監督・採点	一般事務	単純労働	販売・セールス・サービス業	特殊技能を要すること	コンピュータへの入力オペレーター	その他	事例数
2010年調査(60回)	(23.5)%	(27.8)%	(11.7)%	(6.8)%	(7.8)%	(13.3)%	(2.6)%	(1.1)%	(5.4)%	人(1,711)
全体	18.9	30.3	15.8	6.2	7.4	12.8	2.1	0.9	5.6	1,691
男子	17.9	30.9	16.8	6.4	8.2	11.3	2.0	1.0	5.6	1,153
女子	21.0	28.1	12.5	6.1	4.9	18.9	2.0	0.3	6.1	391

9-3表 アルバイト所要時間と収入金額(問63)

区分	アルバイト所要時間		アルバイト収入金額	
	1週間当りの平均時間	人数	1ヶ月当りの平均収入	人数
2010年調査(60回)	時間(11.42)	人(1,455)	千円(43.10)	人(1,455)
全体	9.69	1,179	40.04	1,176
男子	9.63	817	40.35	815
女子	10.24	262	38.72	261



9-4表 アルバイトの目的(問64)

区 分	生活費を稼ぐため	勉学費を稼ぐため	学生生活を 楽しむため	社会経験 のため	その他	事例数
2010年調査 (60回)	% (37.8)	% (2.2)	% (33.0)	% (23.4)	% (3.7)	人 (1,201)
全 体	31.7	5.2	34.6	25.2	3.3	1,195
男 子	32.4	5.5	35.5	23.6	3.0	825
女 子	28.7	4.1	31.7	32.5	3.0	268

9-5表 継続的アルバイトは勉強の妨げになりませんでしたか(問65)

区 分	かなり妨げになった	多少妨げになった	妨げにならなかった	事例数
2010年調査 (60回)	% (8.0)	% (49.3)	% (42.7)	人 (986)
全 体	7.7	44.0	48.4	1,001
男 子	8.5	43.6	48.0	686
女 子	5.9	45.3	48.7	236

9-6表 現在の暮らし向きについてどうお考えですか(問66)

区 分	かなり 楽な方	や や 楽な方	普 通	や や 苦しい方	大 変 苦しい方	分からない	事例数
2010年調査 (60回)	% (27.5)	% (25.5)	% (33.0)	% (10.1)	% (2.9)	% (1.0)	人 (1,448)
全 体	29.2	24.7	31.1	11.5	2.7	0.9	1,510
男 子	26.9	24.8	33.1	11.8	2.8	0.7	1,076
女 子	37.7	23.9	25.2	10.3	1.9	1.0	310

## 学生委員会 学生生活調査室

平成25年11月現在

調査室長	柳川 範之 (大学院経済学研究科・経済学部)
副調査室長	藤村 宣之 (大学院教育学研究科・教育学部)
室員	森田 修 (大学院法学政治学研究科・法学部)
〃	吉川 雅英 (大学院医学系研究科・医学部)
〃	大久保 達也 (大学院工学系研究科・工学部)
〃	祐成 保志 (大学院人文社会系研究科・文学部)
〃	永原 裕子 (大学院理学系研究科・理学部)
〃	吉田 薫 (大学院農学生命科学研究科・農学部)
〃	山口 泰 (大学院総合文化研究科・教養学部)
〃	村田 茂穂 (大学院薬学系研究科・薬学部)
〃	高野 明 (学生相談ネットワーク本部)
〃	小林 雅之 (大学総合教育研究センター)
〃	佐藤 香 (社会科学研究所)
〃	富田 靖博 (本部部長 (教育・学生支援部))
〃	蔭山 達矢 (本部課長 (教育・学生支援部))

担当部署 本部学務課総務・企画チーム (教育・学生支援部)

2013年12月11日

東京大学学生委員会学生生活調査室

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号